



資料編



ヨロズグループ行動憲章

- 【定 義】 1. ヨロズグループとは株式会社ヨロズ及び株式会社ヨロズの連結子会社をいう。
2. 役員及び社員とはヨロズグループ各社の取締役、監査役、執行役員、理事、各社の就業規則の適用を受ける者、その他各社と雇用関係にある者(含む嘱託、契約社員、パートタイマー、派遣社員等)
3. ステークホルダー：株主、社員、顧客、取引先、地域社会等
- 【適用範囲】 ヨロズの役員及び社員

ヨロズグループ行動憲章

●基本理念

ヨロズグループの経営姿勢は、「高い倫理観と遵法精神により、公正で透明度の高い企業活動を推進すること」を基本としている。このためには、関連法令の遵守はもちろんのこと、良き企業市民として社会的責任を果たし、全てのステークホルダーからの信頼を得て、企業価値を高めることが必要であると認識し、ここにヨロズグループの企業行動憲章を定める。

1. お客様の満足と技術革新

有用で信頼性の高い製品やサービスを、安全に十分配慮して開発、提供し、お客様の満足と信頼を獲得する。

2. 法令等の遵守

日本及び海外におけるあらゆる法令、社内規定を遵守し、社会的良識をもって行動する。

3. 環境問題への取り組み

世界環境保全への取り組みを重要課題の一つとして位置付け、積極的に行動し、世界の人々の豊かな暮らしに貢献する。

4. グローバル企業としての発展

国際社会における企業市民としての責任を自覚し、各国、各地域の文化及び習慣を尊重し、企業活動を通じて地域経済の繁栄に貢献してゆく。

5. 企業情報の開示

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、積極的に企業情報を正確かつ公正に、適時適切に開示する。

6. 人権の尊重

社員の人権を尊重し、差別を行わない。また人材育成を通じて企業活力の維持、向上を図るとともに社員の人格、個性を尊重する。

7. 公正な取引

公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。

8. 経営幹部の責任

経営者は、自ら率先垂範し「ヨロズ行動憲章」の精神の実現に努める。万一本憲章に反するような事態が発生した場合には、経営者自ら問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努める。また、社会にも迅速かつ的確な情報公開を行うとともに、権限と責任を明確にした上で、自らも含めて厳正な処分を行う。

ヨロズ社員行動規範

ヨロズグループの役員及び社員は、業務遂行にあたり、諸法規、国際的な取り決め及び社内諸規定を遵守するとともに、会社の利益に相反するような状況を引き起こすことなく、誠実に勤務する。また、社会規範に沿った責任ある行動を取り、社会貢献活動を行う。

1. 人権の尊重と差別・セクシャルハラスメント等の禁止

個人の基本的人権を尊重し、いかなる差別・セクシャルハラスメント等を行わない。

2. 環境保全・保護

環境保全に関する法令等を遵守し、良き企業市民としての責任を自覚し、地球環境に配慮した活動を行う。

3. 公平・公正な関係の構築

顧客・取引先と公平かつ公正な関係を保ち、法令を遵守し適切な条件に基づき、取引引きを行う。

4. インサイダー取引の禁止

会社や子会社、関連会社または取引先との重要事実を知ったとき、それらの事実が公表されるまで、その会社の株式の売買等(インサイダー取引)を行わない。

5. 企業秘密の保護

会社の機密情報管理には細心の注意を払う。第三者より開示を受けた情報についても同様に取り扱い扱う。また、会社の情報システムを不正に使用しない。

6. 資産・知的財産の保護

会社が保有する資産、知的財産を保護するとともに、他社が保有する資産、知的財産権を侵害しない。

7. 個人情報の保護

個人情報を適切に保護・管理し、本人の承諾なく業務目的外に使用したり第三者に漏洩したりしない。

8. 節度ある接待・贈答

贈答、接待等は法令に違反することなく、かつ社会通念上妥当な範囲内で節度を持って行う。

9. 不正に対する毅然たる対応

反社会的な活動や勢力に対しては毅然として対応し、利益供与は一切行わない。

10. 安全の確保

〈職場の安全〉
安全はすべてに優先するとの認識のもと、労働災害ゼロを目指す。
〈交通安全〉
自動車部品製造業に携わる会社の一員としての自覚を常に持ち、交通ルールを遵守し、安全運転を励行する。

歴代会長・社長



志藤 六郎

社 長：1948年4月～1986年6月
会 長：1986年6月～1992年6月



三浦 昭

社 長：1986年6月～1998年6月
会 長：1998年6月～1999年10月



志藤 昭彦

社 長：1998年6月～2008年6月
会 長：2008年6月～現在



佐藤 和己

社 長：2008年6月～2016年6月
副会長：2016年6月～2020年3月



志藤 健

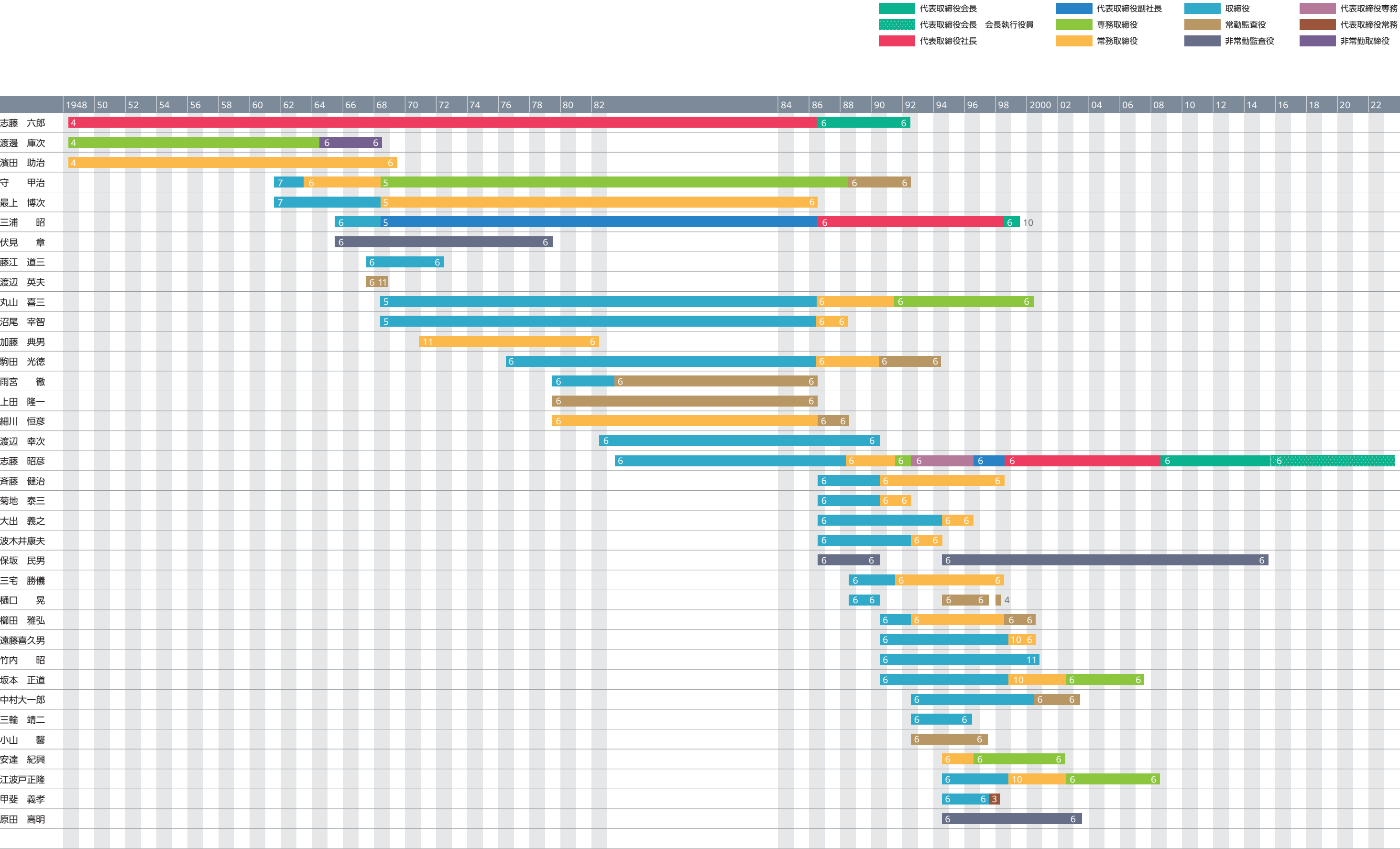
社 長：2016年6月～2021年4月
副会長：2021年4月～現在



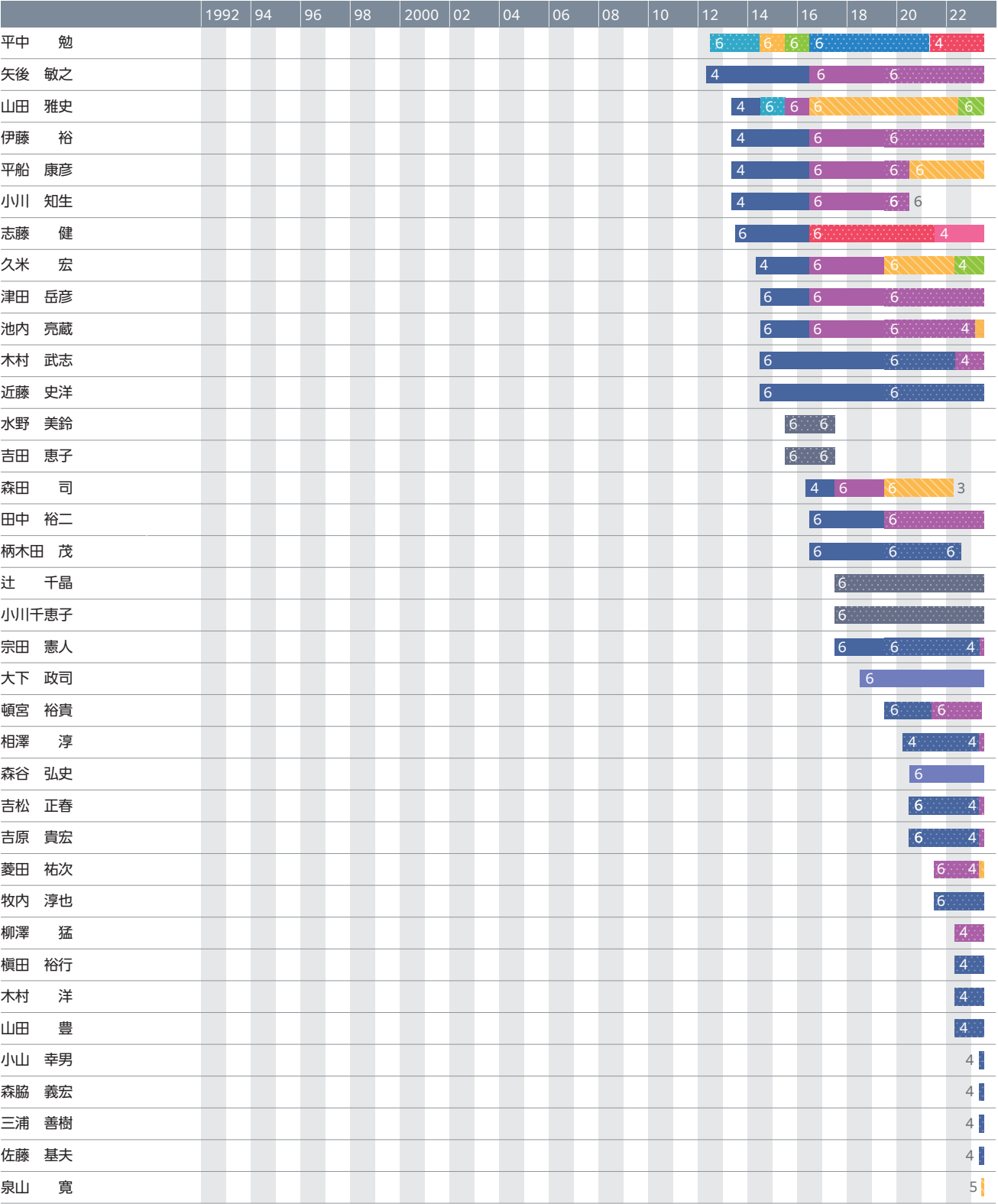
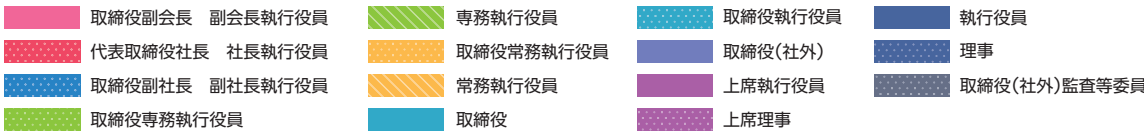
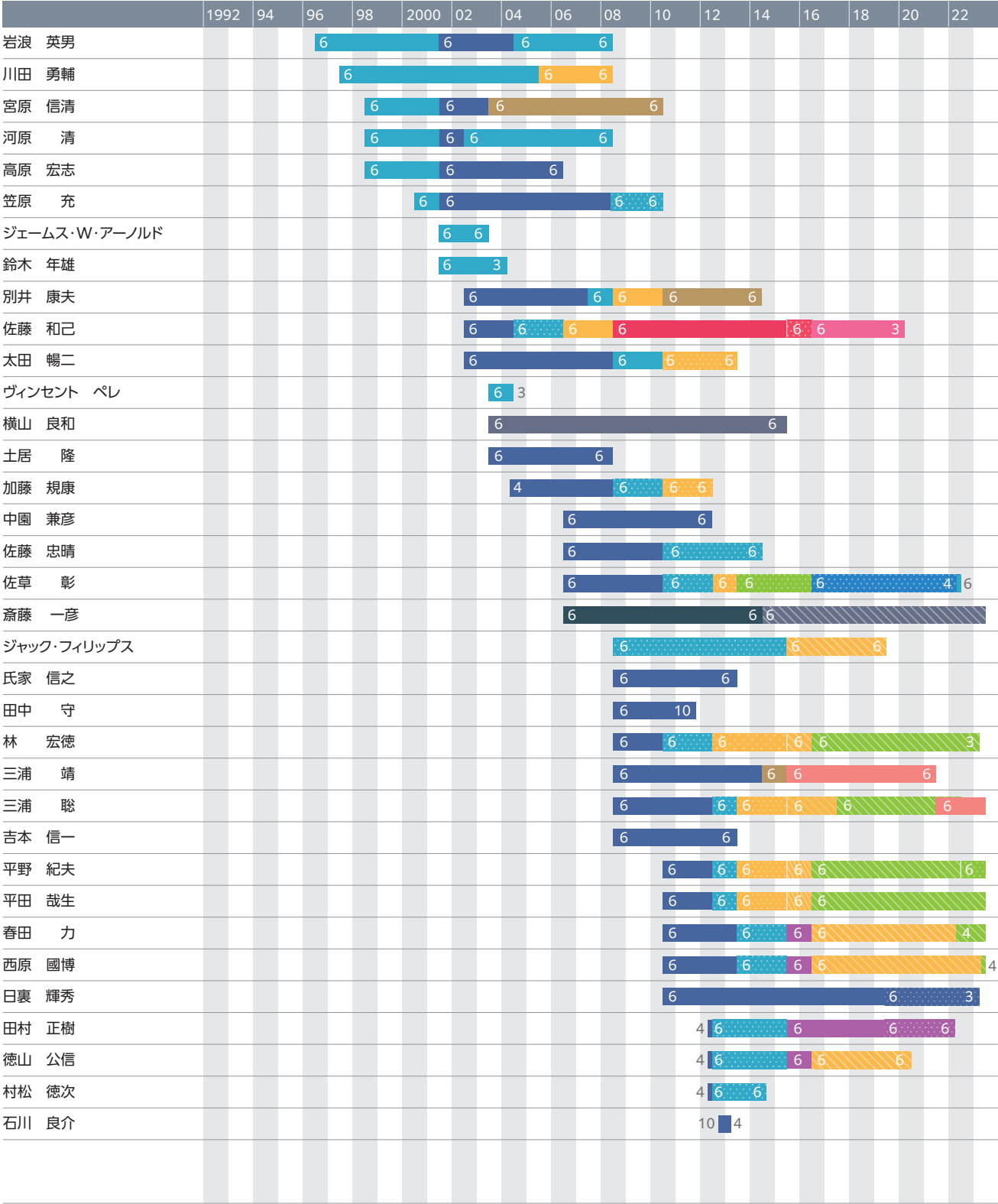
平中 勉

社 長：2021年4月～現在

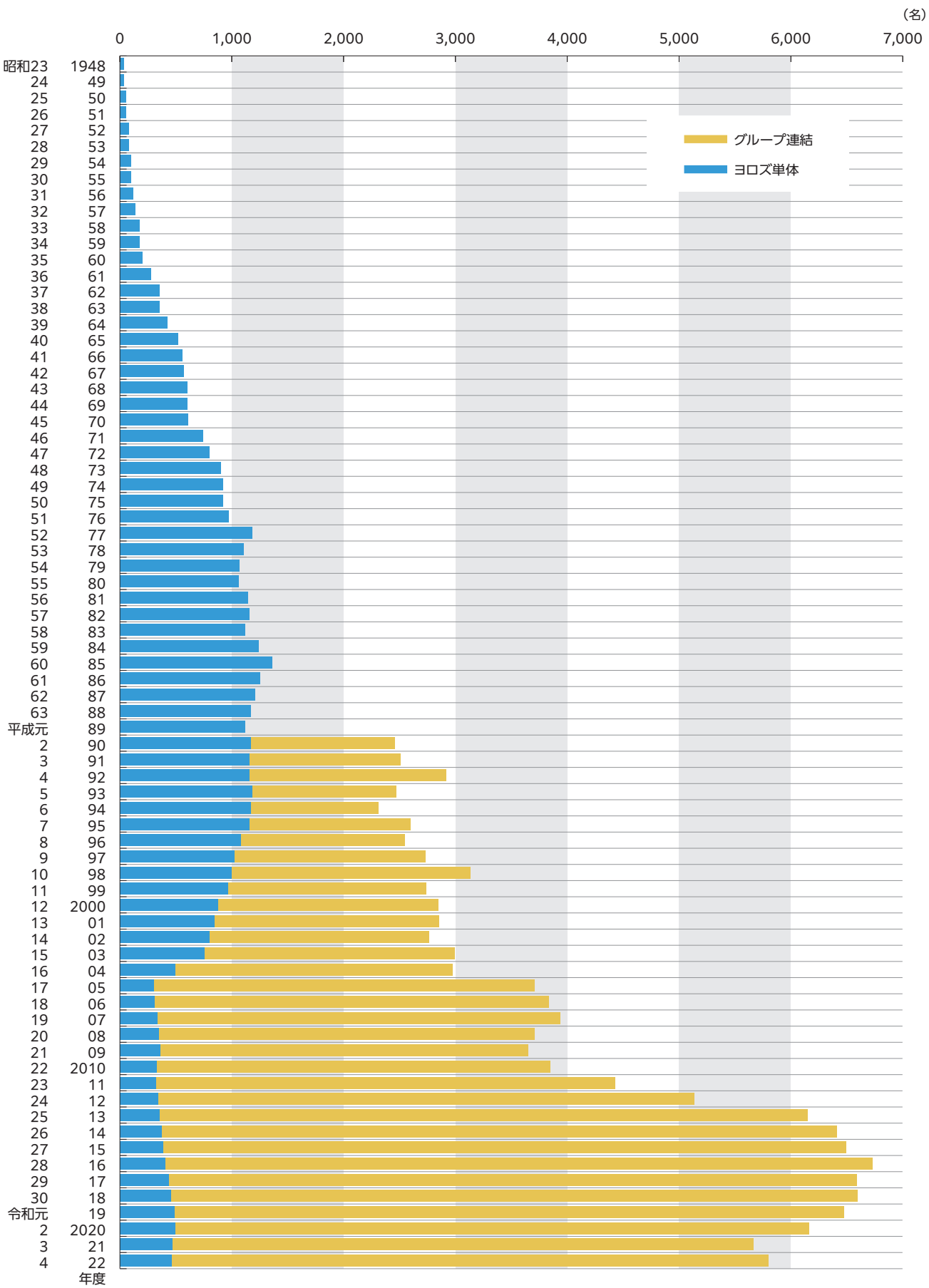
歴代役員・執行役員任期一覧表



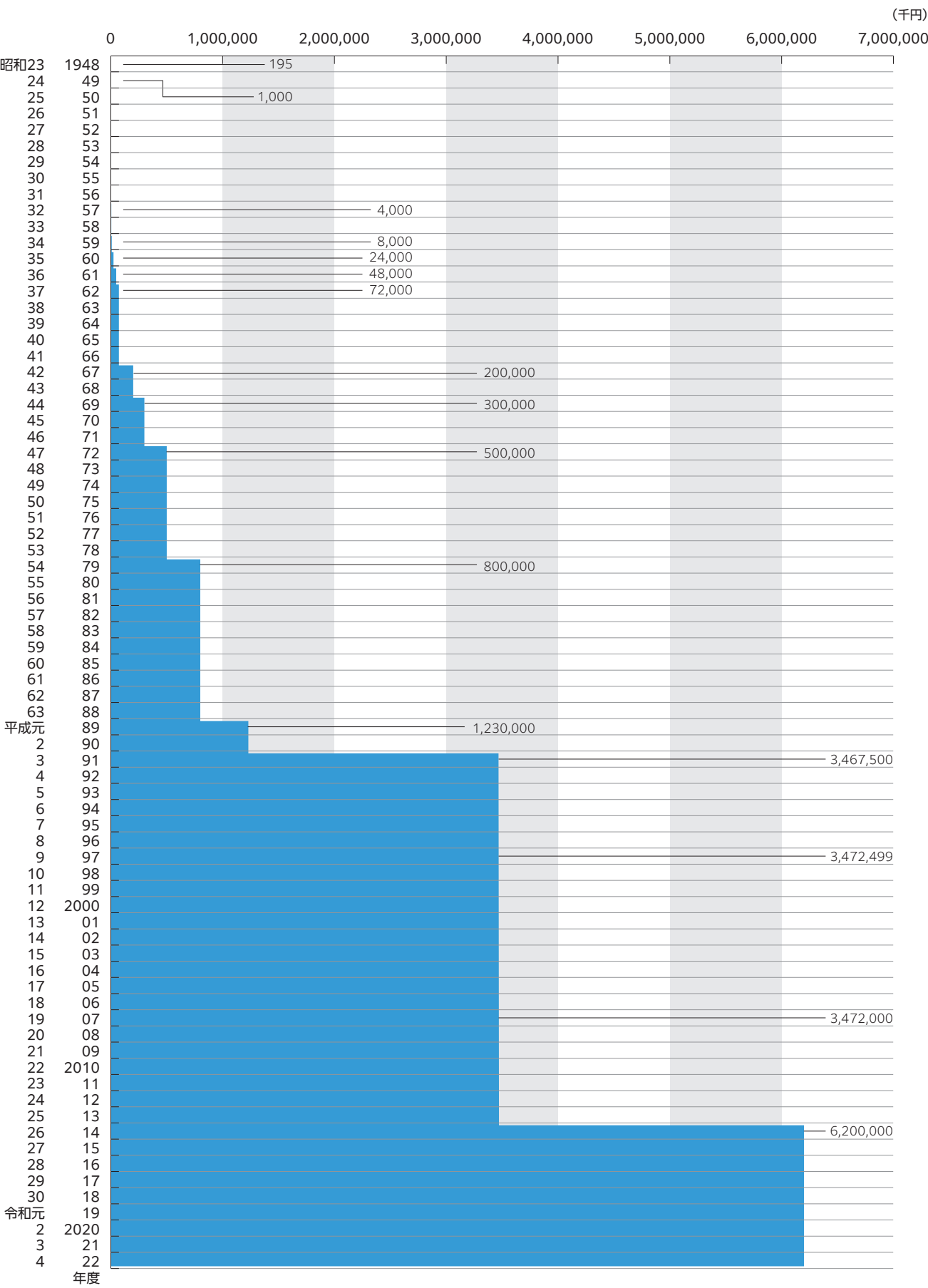
歴代役員・執行役員任期一覧表



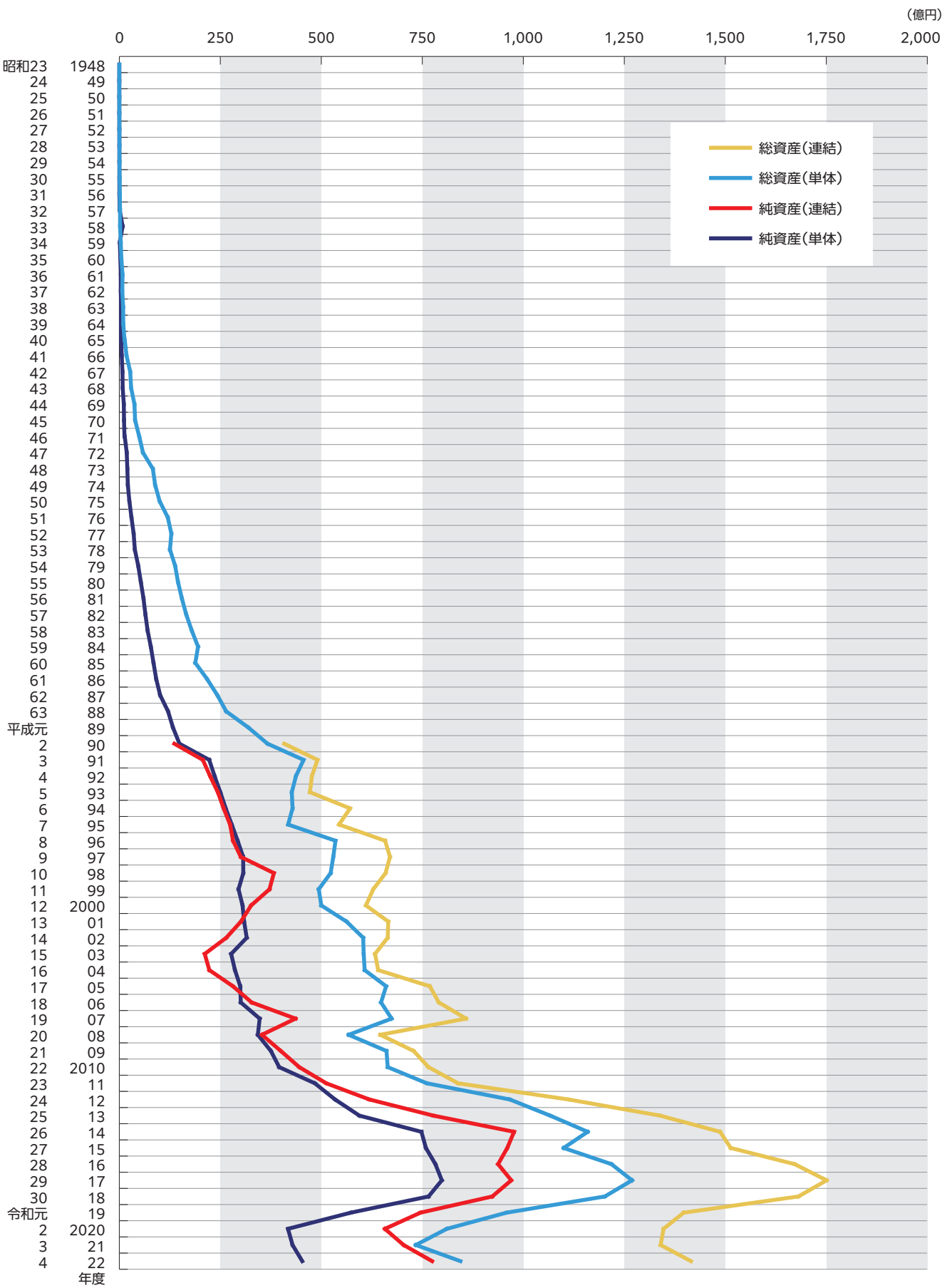
従業員数の推移



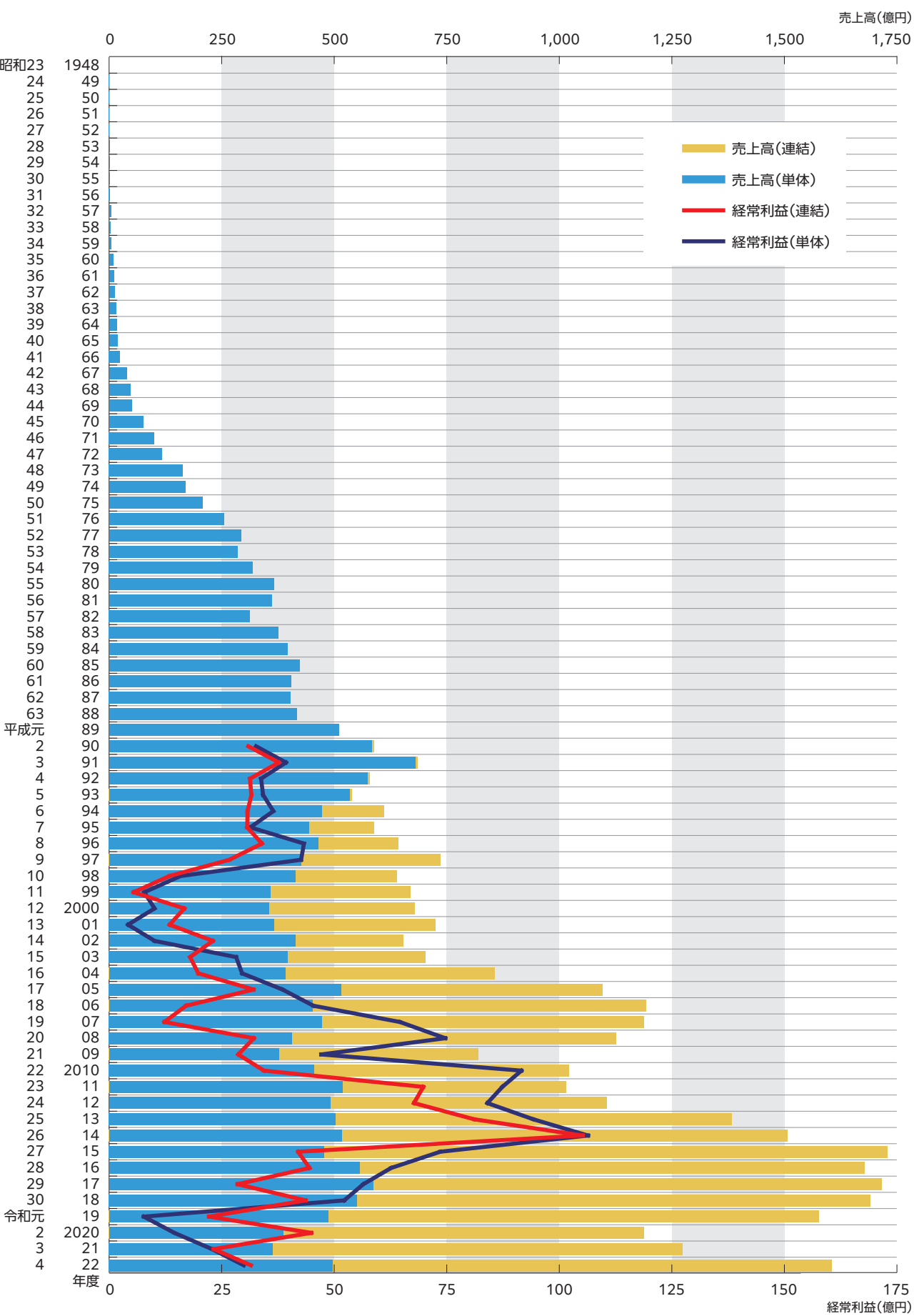
資本金の推移



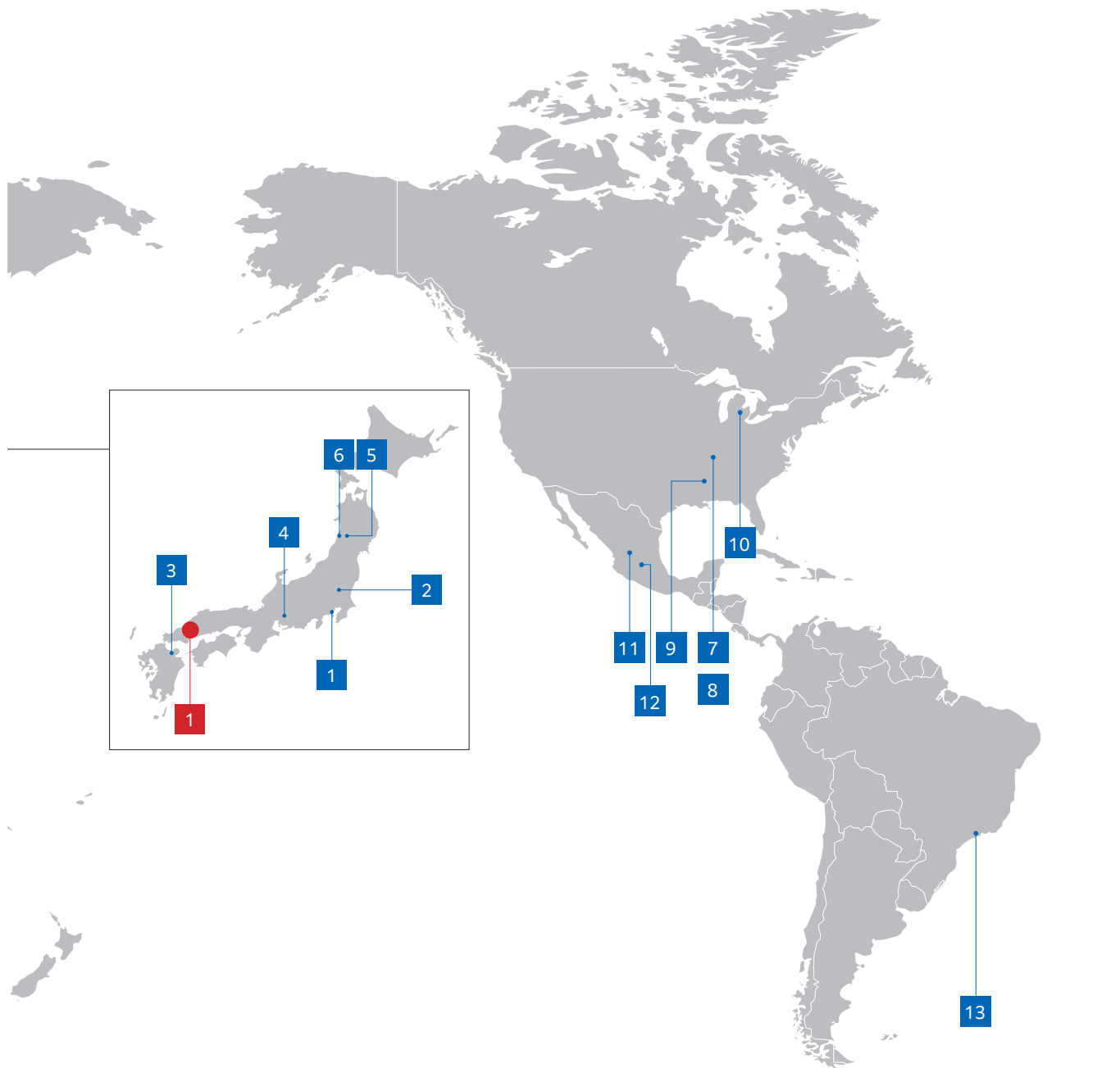
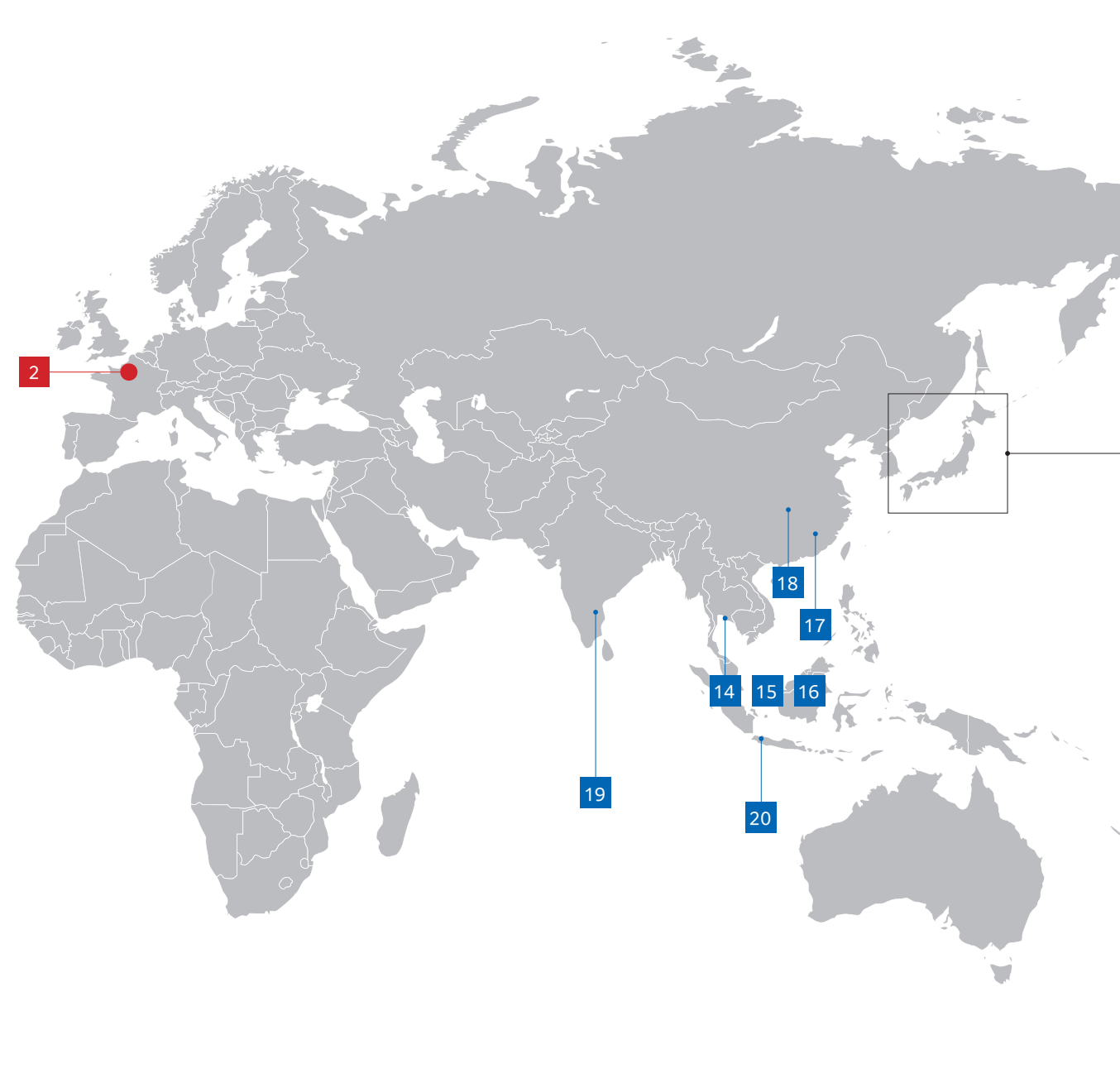
総資産と自己資本(純資産)の推移



連結売上高と連結経常利益推移



ヨロズグローバルネットワーク



	名称	所在地	資本金または出資金	主要事業
1	(株) ヨロズ (本社)	神奈川県横浜市	6,200百万円	自動車部品、農業機械部品、生産設備の開発・設計・製造
	(株) ヨロズサービス	神奈川県横浜市	10百万円	保険業、人材派遣業、業務請負他
2	(株) ヨロズ (グローバルテクニカルセンター)	栃木県小山市	-	自動車部品、農業機械部品、生産設備の開発・設計・製造
	(株) ヨロズ栃木	栃木県小山市	100百万円	自動車部品の製造・販売
3	(株) ヨロズ大分	大分県中津市	100百万円	
4	(株) ヨロズ愛知	愛知県名古屋市	100百万円	
5	(株) 庄内ヨロズ	山形県鶴岡市	100百万円	
6	(株) ヨロズエンジニアリング	山形県東田川郡三川町	100百万円	金型・設備の製造・販売
7	ヨロズアメリカ社	米国 テネシー州モリソン市	192百万米ドル	米国持株会社
8	ヨロズオートモーティブテネシー社	米国 テネシー州モリソン市	95百万米ドル	自動車部品の製造・販売
9	ヨロズオートモーティブアラバマ社	米国 アラバマ州ジャスパー市	100百万米ドル	
10	ヨロズオートモーティブノースアメリカ社	米国 ミシガン州バトルクリーク市	20百万米ドル	
11	ヨロズメヒカーナ社	メキシコ アグアスカリエンテス州 サンフランシスコ・デ・ロス・ロモ市	754百万メキシコペソ	自動車部品の製造・販売

	名称	所在地	資本金または出資金	主要事業
12	ヨロズオートモーティブ グアナファト デ メヒコ社	メキシコ グアナファト州アパセオ・エルグランデ市	1,853百万メキシコペソ	自動車部品の製造・販売
13	ヨロズオートモーティブアド ブラジル社	ブラジル リオデジャネイロ州レゼンデ市	250百万ブラジルレアル	
14	ヨロズタイランド社	タイ ラヨン県	1,800百万タイバーツ	
15	ワイ・オグラオートモーティブタイランド社	タイ ラヨン県	1,383百万タイバーツ	
16	ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド社	タイ ラヨン県	65百万タイバーツ	金型・設備の製造・販売
17	广州萬宝井汽車部件有限公司	中国 広東省広州市	189百万人民元	自動車部品の製造・販売
18	武漢萬宝井汽車部件有限公司	中国 湖北省武漢市	276百万人民元	
19	ヨロズJBMオートモーティブタミルナドゥ社	インド タミル・ナドゥ州	4,000百万インドルピー	
20	ヨロズオートモーティブインドネシア社	インドネシア 西ジャワ州カラワン県	770,000百万インドネシアルピア	

● 営業拠点

1	広島事務所	広島県広島市	-	-
2	欧州事務所	フランス ヴェリジー=ヴィラクブレー	-	-

ヨロズグループ(連結会社)

株式会社ヨロズ栃木(YT)

住所	栃木県小山市横倉新田443
資本金	100百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平田 哉生 社長 及川 隆司
創立日	2004 (平成16) 年3月26日
従業員数	257名(2023年6月30日現在)
敷地面積	64,603㎡
建屋面積	38,056㎡
事業内容	自動車部品、農業機械部品製造



■ 概要紹介

国内生産の基幹工場であり、グループ全体の生産モデル工場

■ 沿革

1968年 6月	一部操業開始	2009年 2月	日野自動車と取引開始
1969年12月	第1期工事完了(圧造、組立)	2011年 4月	豊田鉄工と取引開始
1971年 9月	工機工場増設	2018年 4月	IATF16949認証取得
1979年 3月	第一カチオン塗装プラント完成	2018年 9月	小山市エコ・リサイクル推進事業所認定
1985年 4月	プレス用天吊り型ロボット導入(世界初)	2018年12月	三菱自動車と取引開始
1998年 2月	ISO9002/QS9000認証取得	2020年 1月	2年連続でクボタより調達本部長賞銀賞受賞
2002年 4月	ISO14001認証取得	2021年10月	DGE RR SUSP (総仮/総本付けライン)量産稼働開始
2004年 3月	ヨロズ栃木として独立		

株式会社ヨロズ大分(YO)

住所	大分県中津市大字田尻255
資本金	100百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平田 哉生 社長 惣原 徹
創立日	2003年(平成15)年9月26日
従業員数	498名(2023年6月30日現在)
敷地面積	94,148㎡
建屋面積	36,346㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

西日本の生産拠点

■ 沿革

1977年 1月	操業開始	2003年 9月	ヨロズ大分設立
1981年10月	東洋工業(現・マツダ)と取引開始	2004年10月	ダイハツ工業と取引開始
1995年 7月	大分労働基準局長表彰(安全管理進捗賞)を受賞	2005年 5月	ISO/TS16949認証取得
1997年 1月	ISO9001認証取得	2018年 4月	IATF16949認証取得
1998年 2月	QS9000認証取得	2018年10月	プレス新工場竣工
2001年 6月	ISO14001認証取得	2021年 8月	豊生ブレーキ(トヨタ九州)と取引開始

株式会社ヨロズ愛知(YI)

住所	愛知県名古屋港区当知1-1304
資本金	100百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平田 哉生 社長 伊藤 直明
創立日	2005 (平成17) 年8月4日
従業員数	177名(2023年6月30日現在)
敷地面積	24,514㎡
建屋面積	15,638㎡
事業内容	自動車部品、農業機械部品



■ 概要紹介

中部地区の商圈拡大や販売体制強化を目的に設立

■ 沿革

2005年 8月	会社設立	2016年 6月	豊田鉄工と取引開始
2005年10月	操業開始	2016年12月	愛知CO ₂ 削減マニフェスト宣言事業所に認定
2006年 6月	ISO14001認証取得	2018年 4月	IATF16949認証取得
2012年 4月	クボタと取引開始	2019年 6月	ダイハツ工業と取引開始
2016年 2月	名古屋市優良エコ事業所に認定	2022年 3月	トヨタ自動車と取引開始

株式会社庄内ヨロズ(SY)

住所	山形県鶴岡市宝田三丁目7番30号
資本金	100百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平田 哉生 社長 村上 聡
創立日	1970 (昭和45) 年6月9日
従業員数	124名(2023年6月30日現在)
敷地面積	31,640㎡
建屋面積	18,426㎡
事業内容	自動車部品製造、他



■ 概要紹介

北日本の納入先への生産拠点となるべく、積極的な営業活動を展開。重要保安部品・重要機能部品の集積工場

■ 沿革

1970年 6月	住友商事、今間製作所、萬自動車工業が出資、庄内プレス工業(株)として設立	2016年10月	ヨロズの完全子会社となる
1973年	萬自動車工業の子会社となり事業内容を自動車部品製造へ変更	2018年	IATF16949認証取得
1977年	現本社工場を建設	2018年	豊生ブレーキ工業と取引開始
1989年12月	社名を庄内ヨロズと改称	2019年	シロキ工業と取引開始
1998年	ISO9002認証取得。2003年にISO9001へ移行	2020年	山形県障がい者雇用優良事業主に認定
2002年 4月	ISO14001認証取得	2022年 8月	トヨタ紡織と取引開始
		2022年12月	鶴岡市SDGs推進パートナーに登録

ヨロズグループ(連結会社)

株式会社ヨロズエンジニアリング(YE)

住所	山形県東田川郡三川町大字青山字外川原207-1
資本金	100百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 柳澤 猛 副会長 小山 幸男 社長 田宮 康伸
創立日	1992 (平成4) 年10月22日
従業員数	197名 (2023年6月30日現在)
敷地面積	33,218㎡
建屋面積	16,680㎡
事業内容	プレス金型及び生産設備の開発・設計・製造



■ 概要紹介

主にヨロズグループが使用する金型や生産設備の開発・生産・販売、外販も行う

■ 沿革

1992年10月	会社設立	2002年11月	ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド (YEST) 設立
1997年	第2期工場拡張	2006年 3月	ISO9001 認証取得
1998年 9月	ヨロズ工機部門と庄内ヨロズ技術センター部門をヨロズエンジニアリングに集結しプレス金型の設計製作を開始	2017年	第3期工場拡張
2001年	プレス成形性解析システム (Auto Form) を導入	2022年11月	グリーン電力へ切り替え (CO ₂ フリー電力へ)
2002年 4月	ISO14001 認証取得		

株式会社ヨロズサービス(YS)

住所	神奈川県横浜市港北区樽町3-7-60
資本金	10百万円
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平田 哉生 社長 工藤 玲子
創立日	1976 (昭和51) 年12月15日
従業員数	107名 (2023年6月30日現在)
敷地面積	(ヨロズ本社内)
建屋面積	(ヨロズ本社内)
事業内容	保険業、人材派遣業、業務請負業



■ 概要紹介

損害保険の代理店であり一般契約とグループの保険を担当。また、ヨロズグループの福利厚生と高齢者雇用を担当

■ 沿革

1976年12月	会社設立
2000年10月	一般労働者派遣業の認可取得

ヨロズアメリカ(YA)

住所	395 Mountain View Industrial Drive, Morrison, TN 37357, U.S.A.
資本金	192,840,700ドル
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 西原 園博 社長 木村 洋
創立日	1997 (平成9) 年7月18日
従業員数	2名 (2023年6月30日現在)
敷地面積	－
建屋面積	－
事業内容	北米事業統括(営業、購買、開発)



■ 概要紹介

北米の統括会社

■ 沿革

1997年	事務所開設
2002年	営業、購買機能の追加
2005年	テネシー事務所開設
2008年 8月	YA-TNに実験設備を導入
2012年	デトロイトオフィス閉鎖、テネシーへ移転
2022年 1月	YA従業員を全員YATに移籍しYA業務をYATに移管

ヨロズオートモーティブテネシー(YAT)

住所	395 Mountain View Industrial Drive, Morrison, TN 37357, U.S.A.
資本金	95百万ドル
株主構成	YA：85.01%、住友商事：7.495%、 米国住商：7.495%
代表者	会長 西原 園博 社長 木村 洋
創立日	1986 (昭和61) 年9月4日
従業員数	758名 (2023年6月30日現在)
敷地面積	242,280㎡
建屋面積	52,000㎡
事業内容	北米事業統括および自動車部品製造



■ 概要紹介

海外進出最初の拠点。2008年5月より米国トヨタ向けのサスペンション部品を供給

■ 沿革

1986年	会社設立	2012年	米国日野より品質賞／納入賞受賞
1988年	操業開始	2016年11月	インプレス向け LWR-ARMの納入開始 (スバルから受注した初の足回り部品)
1989年	第二期建屋拡張	2017年 4月	オデッセイ自動化ラインの稼動開始／納入開始 (米国で初めての自動化ラインでの生産開始)
1990年	第三期建屋拡張	2022年10月	910B LEXUS RX 向け NO.1 ARMの生産開始
1996年	第四期建屋拡張 QS9000/ISO9001 認証取得	2022年11月	30A HONDA ACCORD 向け リンク部品の生産開始
2001年	ISO14001 認証取得	2022年12月	T90 HONDA PILOT 向け リンク部品の生産開始
2002年	YATに社名変更		
2012年	米国日産より Quality Finalist に選出		

ヨロズグループ(連結会社)

ヨロズオートモーティブアラバマ(YAA)

住所	3680 Whitehouse Road, Jasper, AL 35501, U.S.A
資本金	100百万ドル
株主構成	YA：93%、住友商事：7%
代表者	会長 西原 國博 副会長 木村 洋 社長 川口 秀一郎
創立日	2015 (平成27) 年10月
従業員数	230名(2023年6月30日現在)
敷地面積	193,833㎡
建屋面積	26,368㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

米国の操業度を向上させるため、YAM (ミシシッピー) を閉鎖し、YANA (ミシガン) を休止し、YAT (テネシー) へ生産集約した。リセッション後の米国の経済回復と共に自動車の生産台数が増加し、YAT への一極集中生産のリスクを避けるためと、各お客様の車両生産の米国南部への移転もあり近くから供給することを考え、アラバマに YAA を設立し 2017 年より稼働を開始した。基本コンセプト：世界 No.1 のサスペンション部品生産工場を実現する

■ 沿革

2015年10月	会社設立	2018年10月	ダイムラー社向け GL (SUV) の納入開始
2016年 2月	建屋建設開始	2019年 3月	トヨタ自動車 (APMM) 向け カローラの納入開始
2017年 2月	3500T/F 稼働開始	2019年 8月	ISO9001 認証取得
2017年 5月	1200BL 稼働開始	2021年 3月	トヨタ自動車品質賞受賞
2017年 7月	塗装設備稼働開始／納入開始	2021年 7月	日産自動車向け フロンティアの納入開始
2018年 3月	YAA 開所式	2021年 3月	トヨタ自動車 (APMM) 向け カローラクロスの納入開始
2018年 8月	日産自動車向け アルティマの納入開始	2021年 9月	ISO14001 認証取得
		2022年11月	本田技研工業向け パイロットの納入開始

ヨロズオートモーティブノースアメリカ(YANA)

住所	166 McQuiston Drive, Battle Creek, MI 49015, U.S.A
資本金	20百万ドル
株主構成	YA：100%
代表者	会長 西原 國博 社長 木村 洋
創立日	2000 (平成12) 年9月7日
従業員数	2名 (2023年6月30日現在)
敷地面積	70,000㎡
建屋面積	11,670㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

GM 向けのモジュールを中心に生産 (～2009 年まで)

■ 沿革

2000年 9月	会社設立	2006年 11月	TS16949 認証取得
2000年 11月	建設開始	2008年 3月	ホンダデリバリー賞受賞
2002年 1月	出荷開始	2009年 12月	操業休止、YAT へ集約
2003年 7月	ISO14001 認証取得	2014年 10月	建屋のリース開始

ヨロズメヒカーナ (YMEX)

住所	Carr. Aguascalientes-Zacatecas KM.18.8 SanFrancisco de Los Romo, Aguascalientes 20300, Mexico
資本金	754百万ペソ
株主構成	ヨロズ：89.4%、メタルワングループ：10.6%
代表者	会長 西原 國博 社長 近藤 史洋
創立日	1993 (平成5) 年2月8日
従業員数	647 名(2023年6月30日現在)
敷地面積	200,000㎡
建屋面積	38,364㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

メキシコは NAFTA (北米自由貿易協定) を背景に自動車産業の集積地として発展し、USMCA 協定に変わった今も依然として自動車産業はメキシコにおける重要産業として位置づけられている。YMEX はアグアスカリエンテス州において事業を開始して以来、高い製品品質を通じてお客様からの期待と信頼に応えてきたが、今後も期待を上回る高品質の製品をお届けしていく

■ 沿革

1993年 2月	会社設立	2012年	メキシコ日産ラインとのシンクロ納入開始
1994年	ツル(日本名：サニー)のフロント・リア部品の生産開始	2017年	組立工場拡張、塗装工場増設
1996年	初代セントラ(日本名：サニー)のフロント・リア部品の生産開始	2017年	Infinity QX50 用部品の生産開始
2001年	QS9001 認証取得	2018年	IATF16949 認証取得
2002年	ISO14001 認証取得	2018年	メルセデスベンツ V177 用部品の生産開始
2004年	TS16949 認証取得	2022年	メキシコ日産より品質賞受賞(連続12回目)
2010年	VDA6.3 認証取得	2022年	北米日産より品質賞受賞(4回目)

ヨロズオートモーティブグアナファト デ メキシコ(YAGM)

住所	Av.Amistad #102 Parques Industriales Amistad Bajio, Apaseo El Grande, Guanajuato 38160, Mexico
資本金	1,853百万ペソ
株主構成	ヨロズ：94.36%、(株)メタルワフ：3.29%、YMEX：2.35%
代表者	会長 西原 國博 副会長 近藤 史洋 社長 田中 裕二
創立日	2012 年(平成24) 年3月9日
従業員数	320 名(2023年6月30日現在)
敷地面積	70,384㎡
建屋面積	42,872㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

急成長するメキシコの自動車需要を受け、ビジネスチャンスを活かすべく、新規納入先を積極的に開拓。メキシコ第二生産拠点として、多くの自動車メーカーと取引を行い、メキシコの自動車産業に貢献している

■ 沿革

2012年 3月	会社設立	2014年10月	マツダと取引開始
2013年10月	日産自動車と取引開始	2015年 9月	ISO14001 認証取得
2014年 1月	VW 社と取引開始	2017年 2月	建屋増築(TF3,500t、BL1,200t 導入)
2014年 2月	本田技研工業と取引開始	2018年 8月	IATF16949 認証取得
2014年 4月	YAGM 開所式	2019年 2月	トヨタ自動車と取引開始

ヨロズグループ(連結会社)

ヨロズオートモーティブド ブラジル(YAB)

住所	Av. Nissan, 1500-C, Portao 06, Polo Industrial, Resende, RJ 27537-800, Brasil
資本金	250,900千レアル
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 西原 國博 社長 田中 淳一
創立日	2012年(平成24)年9月12日
従業員数	246名(2023年6月30日現在)
敷地面積	55,650 m ²
建屋面積	19,164 m ²
事業内容	自動車用サスペンション部品及び関連部品の製造・販売



■ 概要紹介

南米の生産拠点

■ 沿革

2012年 9月 会社設立

2014年10月 生産開始

2015年 2月 日産自動車向け部品の納入開始

2015年 7月 ルノー社向け部品の納入開始

2017年 4月 本田技研工業向け部品の納入開始

2022年 7月 IATF16949認証取得

2022年 8月 ISO14001認証取得

ヨロズタイランド(YTC)

住所	Eastern Seaboard Industrial Estate (Rayong) 58 Moo 4, T.Pluek Daeng, A.Pluek Daeng, Rayong 21140, Thailand
資本金	1,800百万パーツ
株主構成	ヨロズ：90%、ワイテック：10%
代表者	会長 平船 康彦 社長 奥村 直幸
創立日	1996(平成8)年6月5日
従業員数	660名(2023年6月30日現在)
敷地面積	67,200m ²
建屋面積	31,180m ²
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

東南アジアでの車輛生産・輸出拠点となり、「アジアのデトロイト」と呼ばれるタイは、アジア進出の初拠点である。コロナ禍や半導体不足でここ数年業績はやや低迷しているが、タイには強固なサプライチェーンがあり今後緩やかな回復が見込まれる

■ 沿革

1996年 6月 会社設立

1997年 AAT(マツダ)・いすゞ自動車・日産自動車向け納入開始

1998年12月 ISO9001認証取得

2000年 本田技研工業向け部品の納入開始

2001年 トヨタ自動車向け部品の納入開始

2002年 7月 ISO14001 認証取得

2004年 日野自動車向け部品の納入開始

2006年11月 TS16949認証取得

2009年 1月 クボタ向け部品の納入開始

2017年12月 IATF16949認証取得

2018年 3月 スズキ向け部品の納入開始

ワイ・オグラオートモーティブタイランド社(Y-OAT)

住所	WHA Eastern Seaboard Industrial Estate 1, 999/3 Moo 2, Tambol Tasit, Amphur Pluakdaeng, Rayong 21140, Thailand
資本金	1,383百万パーツ
株主構成	ヨロズ：83%、ワイテック：10%、YTC：6%、オグラ金属：1%
代表者	会長 平船 康彦 社長 奥村 直幸
創立日	2012(平成24)年4月2日
従業員数	145名(2023年6月30日現在)
敷地面積	53,000m ²
建屋面積	16,000m ²
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

タイ第2拠点として、YTC向けのプレス単品供給をメインに操業

■ 沿革

2012年 4月 会社設立

2013年 6月 生産開始

2017年 5月 ISO14001認証取得

ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド(YEST)

住所	Eastern Seaboard Industrial Estate (Rayong) 58 Moo 4, T.Pluek Daeng, A.Pluek Daeng, Rayong 21140, Thailand
資本金	65百万パーツ
株主構成	YTC：57.7%、YE：42.3%
代表者	会長 平船 康彦 社長 奥村 直幸
創立日	2002(平成14)年11月22日
従業員数	109名(2023年6月30日現在)
敷地面積	(YTC内)
建屋面積	(YTC内)
事業内容	生産設備製造



■ 概要紹介

YTCの工機部門を増強して独立。金型・治工具・一貫製作体制を確立。Tooling部門としてヨロズグローバル拠点に金型、設備を供給。また、近年はヨロズ圏以外の外販積極的に取り組んでいる

■ 沿革

2002年11月 会社設立

2010年 2月 ISO9001認証取得

2014年 マシニングセンター4台導入(第1期拡張投資)

2018年 マシニングセンター4台導入(第2期拡張投資)

ヨロズグループ(連結会社)

广州萬宝井汽車部件有限公司 (G-YBM)

住所	中国 广东省广州市花都区 新华镇汽车城东风大道28号
資本金	189百万人民元
株主構成	ヨロズ：51%、宝鋼国際経済貿易有限公司：25%、三井物産：24%
代表者	董事長 平船 康彦 総経理 望月 昭男
創立日	2003年(平成15)年11月4日
従業員数	423名(2023年6月30日現在)
敷地面積	64,213㎡
建屋面積	27,405㎡
事業内容	自動車用サスペンション部品のプレス・組立および関連部品の製造・販売



■ 概要紹介

中国攻略の最初の拠点。今後の中国展開のうで、マザー工場となる

■ 沿革

2003年11月	会社設立	2008年 1月	广汽本田、東風本田発動機と取引開始
2005年 3月	量産開始。東風日産と取引開始	2010年 4月	鄭州日産と取引開始
2005年 9月	广汽豊田発動機と取引開始	2011年 5月	广汽豊田と取引開始
2006年 9月	複数得意先に納品開始	2015年 7月	第3期増築完了
2006年12月	TS16949認証取得	2017年 8月	東風日産より NQA 賞(ChinaRegion)受賞(2回目) (FY2016)
2006年12月	第2期増築開始	2018年 9月	IATF16949認証取得
2007年 3月	東風本田と取引開始		
2007年10月	ISO14001認証取得		

武漢萬宝井汽車部件有限公司 (W-YBM)

住所	中国 湖北省武漢市 武漢経済技術開発区全力二路9号
資本金	276百万人民元
株主構成	ヨロズ：51%、宝鋼金属有限公司：25%、三井物産(株)：24%
代表者	董事長 平船 康彦 総経理 安長 秀明
創立日	2010(平成22)年7月19日
従業員数	414名(2023年6月30日現在)
敷地面積	62,200㎡
建屋面積	37,577㎡
事業内容	自動車用サスペンション部品のプレス・組立及び関連部品の製造・販売



■ 概要紹介

総経理方針：安全で快適な職場づくりを追求し、全数品質保証された商品をより安く生産し、お客様の要求する納期通りにお届けする

■ 沿革

2010年 7月	会社設立	2015年12月	東風本田より品質優秀サプライヤー賞受賞
2011年 9月	W-YBM 起工式	2016年 1月	鄭州日産より優秀サプライヤー賞受賞(2015年度)
2011年11月	W-YBM 操業開始、東風日産、鄭州日産と取引開始	2018年 1月	鄭州日産より優秀納入サプライヤー賞受賞(2017年度)
2012年 2月	東風本田と取引開始	2018年 8月	IATF16949認証取得
2012年 3月	W-YBM 開所式/YPW Kick off	2019年 4月	日産中国より「商流切替協力賞」[納入遵守率優秀賞]受賞
2013年11月	TS16949認証取得	2020年 8月	日産中国より「特別貢献賞」受賞
2014年 3月	日産中国より優秀物流改善賞受賞	2021年 3月	NCICより最佳物流貢献賞受賞(2020年度)
2014年 6月	ISO14001認証取得	2022年 1月	鄭州日産より年度優秀納入賞受賞(2021年度)
2015年 3月	日産中国より優秀物流改善賞受賞	2022年 3月	NCICより技術協力賞受賞(2021年度)

ヨロズ JBM オートモーティブタミルナドゥ (YJAT)

住所	Plot No：B5, B6, SIPCOT Industrial Park, Phase-II,Vengadu, Sriperumbudur Taluk, Kancheepuram,Tamil Nadu 602105, India
資本金	4,000百万ルピー
株主構成	ヨロズ：97.50%、JBM：2.50%
代表者	会長 平船 康彦 社長 仲里 秀利
創立日	2011(平成23)年2月10日
従業員数	299名(2023年6月30日現在)
敷地面積	55,615㎡
建屋面積	17,601㎡
事業内容	Automotive Parts Manufacture and Sales



■ 概要紹介

自動車部品の製造・販売

■ 沿革

2010年12月	会社設立	2017年 1月	HCIL(ホンダカーズ)と取引開始
2011年 2月	稼働開始。ルノー日産部品の供給開始	2018年 4月	フォード社と取引開始
2013年 8月	TS16949認証取得	2018年 8月	IATF16949認証取得
2013年12月	ISO14001認証取得	2019年 5月	中国ルノー(e-GT)と取引開始
2016年 4月	TKM(トヨタ キルロスカ モーター)、AKL(アイシン カルナタカ)と取引開始	2022年 7月	JOAI(JBM オギハラオートモーティブインディア)と取引開始

ヨロズオートモーティブインドネシア (YAI)

住所	Kawasan Industri Mitra Karawang Jl.Mitra Barat III Blok L6,7,8 Desa Parungmulya - Kecamatan Ciampel Kabupaten Karawang, Jawa Barat 41361, Indonesia
資本金	770,000 百万ルピア
株主構成	ヨロズ：100%
代表者	会長 平船 康彦 社長 齋藤 建治
創立日	2012(平成24)年1月
従業員数	176名(2023年6月30日現在)
敷地面積	72,000㎡
建屋面積	19,322㎡
事業内容	自動車部品製造



■ 概要紹介

アセアン区域において人口、市場規模、各完成車メーカーの参入から、タイに次ぐ2大市場になると期待される国であり、拠点設立

■ 沿革

2012年 1月	会社設立	2017年 5月	PT. FUJI SEAT INDONESIAと取引開始
2012年 5月	工場建設着工	2017年 8月	PT. KUBOTA INDONESIAと取引開始
2013年 3月	ジャカルタ事務所閉鎖、カラワン工場内事務所にて業務開始	2019年 1月	PT. HIRUTA KOGYO INDONESIAと取引開始
2013年 8月	PT. NISSAN MOTOR INDONESIAと取引開始	2019年 1月	PT. MIWA ASALTA MANUFACTURINGと取引開始
2013年 9月	PT. HONDA PROSPECT MOTORと取引開始	2020年11月	PT. MITSUBISHI MOTOR KRAMA YUDHA INDONESIAと取引開始
2013年 9月	PT. SUZUKI INDOMOBIL MOTORと取引開始	2022年11月	PT. TOYOTA MOTOR MANUFACTURING INDONESIAと取引開始
2014年 2月	オープニングセレモニー開催		
2016年10月	ISO14001認証取得		
2016年10月	IATF16949認証取得		

年表

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1940 昭和15	4	横浜市鶴見区上末吉町に合資会社志藤製作所設立　創業者：志藤六郎		1　米内光政内閣成立
				5　東洋工業が小型四輪乗用車の試作を完了
				9　日独伊3国同盟締結
				10　会社経理統制令・賃金統制令改正各公布
1941 昭和16				1　重要産業統制団体協議会設立
				4　東京・大阪などに米穀配給通帳制実施
				4　日ソ中立条約締結
				4　東京自動車工業がデューゼル自動車工業に改称
				10　乗用自動車のガソリン使用を全面的に禁止
				10　東条英機内閣成立
				12　太平洋戦争始まる
1942 昭和17				4　米空軍が日本本土を初空襲
				5　デューゼル自動車工業から日野製造所が分離独立し、日野重工業が発足
				11　関門海底トンネル開通
				12　日立製作所中央研究所、電子顕微鏡を完成 ＊この年銃鉄生産高425万6,000トン、戦前で最高
1943 昭和18	6	萬製作所を買収し、志藤製作所は株式会社萬製作所として新発足　社長：志藤六郎		8　日産自動車吉原工場が発足
				10　統制会社令公布
				10　軍需会社法公布
				12　学徒出陣始まる ＊この年戦時経済統制、頂点に達する
1944 昭和19	9	三池工業と取引開始		1　自動車製造各社が軍需会社に指定
				6　北海道昭和新山誕生
				7　サイパン島で日本軍全滅
				7　小磯国昭内閣成立
				8　学徒勤労令・女子挺身勤労令公布
				9　日産自動車が日産重工業に改称
				11　B29が初めて東京を爆撃
				12　自動車製造各社、機械設備・資材・部品などの疎開を開始
1945 昭和20	2	新潟県見附町に工場疎開		3　東京大空襲(死傷者12万人)
				4　鈴木貫太郎内閣成立
	3	志藤六郎社長応召		8　広島(6日)・長崎(9日)に原子爆弾投下
				8　太平洋戦争終結
		8　終戦により一時休業状態		8　東久邇宮稔彦内閣成立
				9　日産重工業横浜工場を進駐車が接収
				9　GHQ、トラックの製造を許可
				11　GHQが財閥解体を指令
				11　自動車協議会発足
				12　日産重工業、財閥傘下企業として制限会社に指定
				12　自動車(新車)配給要綱実施
				12　自動車製造工業組合設立
				12　労働組合法公布
1946 昭和21	3	新潟県見附町で玩具・農機具・木工機械などを製造、販売		1　GHQが軍国主義者の公職追放を指令
				1　日産重工業、本社を日本橋から横浜に移転
				1　自動車製造事業法が廃止
				2　金融緊急措置令、日本銀行券預入令公布
				4　経済同友会設立
				5　吉田茂内閣成立
				6　日本自動車会議所発足
				7　日産重工業吉原工場、ダットサントラックの戦後1号車をオフライン
				10　本田技術研究所設立(浜松)
				11　日本国憲法公布 ＊この年発疹チフスが空前の大流行
1947 昭和22	4	工場用地を横浜市鶴見区市場町に取得		1　GHQ、ゼネスト中止を指令
				2　自動車技術会を設立
	12	新工場(660㎡)を建設、自動車関連の修理・再生・整備を開業		4　労働基準法公布(9.1施行)
				4　独占禁止法公布(7.20施行)
		12　シャーリングマシンを導入		5　日本国憲法施行
				6　片山哲内閣成立
		12　建設用鉄骨材のガセットを製造、販売		6　GHQより小型乗用車年間300台生産の許可
				8　日産重工業吉原工場、ダットサン乗用車の戦後1号車をオフライン
				9　キャスリーン台風で関東地区大水害
				＊この年ベビーブーム到来
1948 昭和23	4	萬自動車工業株式会社設立(資本金19万5,000円)		2　日産重工業が過度経済力集中排除法による指定業者に指定
				3　芦田均内閣成立

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1948 昭和23	4	東京高速機関工業・北辰化学工業・帝国自動車工業と取引開始		3　全日本自動車産業労働組合結成
				4　自動車工業会・自動車部品工業会設立
	10	資本金を100万円に増資		4　日本小型自動車工業会設立
				5　日産重工業、新ダットサンデラックスセダン(860cc)試作車完成
	10	細田機械工業と取引開始		7　政府がGHQ勧告の経済安定10原則を発表
				7　国民の祝日に関する法律公布
				9　朝鮮民主主義人民共和国樹立
				9　本田技研工業設立
				11　GHQ、企業合理化3原則を発表
				12　GHQ、経済安定9原則を発表 ＊この年日本脳炎大流行
1949 昭和24	4	横芝電気と取引開始		4　小型乗用車・乗用三輪車などが物品税の課税対象となる
				5　通商産業省発足
	4	エキゾーストチューブ製造用の画期的なパイプベンダーを開発、180型トラック用のエキゾーストチューブ生産を機に日産重工業と取引開始		6　日本工業規格(JIS)制定
				6　日産重工業がダットサン乗用車の輸出向け試作車完成
	11	500トン水圧プレスを自社製作		7　デューゼル自動車工業がいすゞ自動車に改称
				8　日産重工業が日産自動車に改称
				10　中華人民共和国発足
				11　湯川秀樹教授、ノーベル物理学賞受賞 ＊この年ドッジライン実施により不況、物価上昇に歯止め
1950 昭和25	4	自動車の整備業から部品製造に転換		1　民間輸入貿易再開許可
				4　日本製鉄を八幡製鉄・富士製鉄に分割
	4	日産自動車と本格的取引開始		4　トヨタ自動車販売設立
				4　普通自動車の公定価格が廃止
	7	150トンパワープレスを導入		4　資産再評価法公布
				5　民生デイズェル工業(現・UDトラックス)発足
	8	小知和製作所と取引開始		6　朝鮮戦争始まる
				7　日本労働組合総評議会(総評)結成
	8	300トン水圧プレス1台自社製作		7　富士精密工業設立
				7　報道関係でレッドパージが全産業に波及
	8	ナパーム弾の弾体を受注し500トンプレスで生産		7　自動車税創設
				8　日産自動車、制限会社の指定解除
	8	GMC米軍トラックのエキゾーストチューブを受注		8　警察予備隊令公布
1951 昭和26	4	新工場(415.8㎡)の増設		3　日産自動車・トヨタ自動車・いすゞ自動車に対日援助見返り資金融資が決定
				4　GHQが石油行政権を日本政府に移譲、乗用車石油制限が緩和
	4	民生デイズェル工業(現・UDトラックス)と取引開始		4　国電桜木町事件発生(死者106人)
				5　世界保健機構(WHO)、日本の加盟承認
	4	スポット溶接機2台導入(1・2号機)		6　国際労働機構(ILO)、日本の加盟承認
				6　自動車登録令・自動車道路標識令公布
	6	日本内燃機製造(現・日産工機)と取引開始		9　民間ラジオ放送開始
				9　サンフランシスコで対日平和条約調印
				9　日米安全保障条約調印
				12　発動機製造、ダイハツ工業に改称 ＊この年赤痢が大流行。結核が初めて死因の2位に下がる(1位は脳溢血)
1952 昭和27	4	小松製作所と取引開始		4　対日講和条約および日米安全保障条約発効、GHQ廃止
				5　皇居前広場でメーデー事件発生
	4	新工場増設		6　日中貿易協定調印
				8　日本が国際通貨基金(IMF)に加盟
	6	200トン・120トンプレスを導入		10　通産省、「乗用自動車関係提携及び組立て契約に対する取扱方針」を決定
				11　たま電気自動車をプリンス自動車工業に改称
	10	日本航空からタラップ3基受注		12　日産自動車が英オースチン社とA40型乗用車国産化の技術提携契約締結
1953 昭和28	3	年間売上高5,837万円を達成		2　NHK、テレビの本放送開始
				2　日野デューゼル工業が仏ルノー公団と乗用車ルノー4CVの組立製造の技術援助契約に調印
	4	新工場増設		3　ソ連スターリン首相死去
				4　日米友好通商航海条約調印
	4	富士自動車と直接取引開始		7　富士重工業設立
				7　道路整備財源等に関する臨時措置法公布(ガソリン税が道路整備の目的税に)
	4	日本精工と取引開始		7　朝鮮戦争休戦協定調印
				8　日本テレビ、本放送開始(民放初)
	8	300トン・100トンプレスを導入		9　独占禁止法改正公布(不況・合理化カルテルの認可)
				10　ガット第8回総会で日本の準加盟承認
				11　新三菱重工業が戦後初のトランスファーマシンを完成 ＊この年1934年以來の凶作発生。街頭、店頭テレビが大人気
1954 昭和29	3	年間売上高1億円突破		1　ガット加盟21カ国が日本に最恵国待遇を与える協定に調印
				3　「第五福竜丸」が死の灰をかぶる

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1954 昭和29		4 東洋継手を設立(1959年売却) 5 日産宝会に入会		3 日米相互防衛援助協定調印 4 物品税法改正による各社小型乗用車の値下げを発表 4 富士精密工業がプリンス自動車工業を吸収合併 4 第1回全日本自動車ショーを東京・日比谷公園で開催 4 全日本労働組合会議(全労会議)結成 6 鈴木式織機が鈴木自動車工業に改称 7 防衛庁設置、自衛隊発足 9 青函連絡船洞爺丸遭難事故(死者・行方不明者1,155人) 9 日産自動車が吉原工場で新ダットサンの1号車をオフライン 12 鳩山一郎内閣成立 12 日産自動車がオースチンA50第1号車をオフライン ＊この年外為収支6月より黒字。電気洗濯機が急速に普及
1955 昭和30		5 スポット溶接機を導入開始 8 ニッサントラック480型のスプリングブラケットを大量受注(VA1号) 8 交流アーク溶接機を導入開始		2 (財)日本生産性本部設立 5 日中民間貿易協定調印 5 第1回日本国際見本市を東京で開催 5 鈴木自動車工業、軽四輪車スズライト発表 6 日本がガットに正式加盟 6 日産自動車が民生ディゼル工業と折半出資の日産民生ジーゼル販売を設立 7 自動車損害賠償補償法制定(強制保険制度始まる) 8 第1回原水爆禁止世界大会を広島で開催 11 日米原子力協定、ワシントンで調印 ＊この年下期から神武景気始まる。輸出船ブーム、東芝、電気釜発売。家庭電化時代の幕開け
1956 昭和31		4 品質管理に重点的に取り組む 4 プレスと金型部門の強化を図る 5 鶴見工場に2階建て事務所を建設		1 原子力委員会第1回会合 3 道路整備特別措置法公布(有料道路の基本法) 4 軽油取引税創設 5 日本登山隊、マナスル初登頂 5 科学技術庁発足 5 通産省が自動車長期計画案を策定 7 経済企画庁、『経済白書』を発表、「もはや戦後ではない」が流行 8 原子燃料公社発足 8 日産自動車がニッサンジュニア1号車をオフライン 8 日産自動車がオースチン車の完全国産化を達成 9 トヨタ自動車工業が国民車試作第1号を発表 11 南極予備観測隊、観測船「宗谷」で出発 12 国連総会、日本の加盟を承認 12 石橋湛山内閣成立 ＊この年船舶建造高175万総トンで世界1位に。英・コールダーホール原子炉運転開始
1957 昭和32		1 資本金を400万円に増資 3 年間売上高2億5,000万円突破 4 山形県より新入社員40名入社 4 「プレス工業専門用語解説集」を発行 6 200トンクランクプレスを導入 6 75トンクランクプレスを導入 8 第1回暑中休暇を実施 10 500トンダブルクランクプレスブローチ盤(1号機)を導入 11 工場合理化5カ年計画を発表。新工場建設を計画 11 優良診断工場として神奈川県知事から表彰		1 南極に昭和基地設営 2 岸信介内閣成立 3 トヨタ自動車工業が初のディーゼルトラックDA60型(5トン)を発売 4 閣議で国産車愛用を決定 4 高速自動車国道法公布 5 民生ディゼル工業が国産初の空気バネ利用のバス完成 8 原子力研究所、JRR-1に原子の火ともる 10 日本が国連安全保障理事会の非常任理事国に選出 10 ソ連が人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功 10 いすゞ自動車がヒルマンミンクスの完全国産化を完了 11 日産自動車、ダットサン新型車210型、220型を発売 12 日ソ通商条約調印 ＊この年なべ底不況が始まる。「神風タクシー」、「よろめき」などが流行語に
1958 昭和33		3 年間売上高4億5,000万円突破 4 創立10周年記念式典開催、社旗を制定 4 横浜市の工場誘致土地・港北区榑町に新工場建設敷地(1万9,350㎡)入手 6 ラジアルボール盤(第1号機)を導入 12 450トンクランクプレスを導入(第2号機)		1 アメリカが人工衛星エクスプローラ1号の打ち上げに成功 3 富士重工業が国民車構想に基づく軽四輪乗用車スバル360を発売 3 関門国道トンネル開通 3 フルシチョフ氏がソ連首相に就任 5 日産自動車がダットサン乗用車の対米輸出契約を締結 6 トヨタ自動車工業がアメリカ向けにクラウン30台を船積み 7 アラビア石油がクウェート政府と油田開発協定に調印 7 日本貿易振興会(JETRO)設立 9 (社)自動車工業振興会発足 9 狩野川台風で中伊豆に大被害 10 日米安全保障条約改定の交渉開始 12 1万円札発行 12 東京タワー完工式
1959 昭和34		4 横浜市港北区榑町に新工場建設着手 9 伊勢湾台風の影響で鶴見川氾濫、鶴見工場浸水 10 労働組合結成 11 横型中繰り盤を横浜工場に導入 12 資本金を800万円に増資 12 榑町に新工場完成、一部の移転開始 12 本社機能を榑町工場に移転		1 欧州経済共同体(EEC)発足 4 皇太子殿下ご成婚 4 日産自動車、ニッサン680型トラックオフライン 6 日野ディーゼル工業を日野自動車工業に改称 6 本田技研工業がアメリカンホンダモーター設立 7 日産自動車、ブルーバード310型発表 8 トヨタ自動車工業が乗用車専門の元町工場第1期工事を完成

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1959 昭和34				9 大蔵省がドル為替自由化実施 9 伊勢湾台風(死者5,041人) 10 トヨタ自動車工業が日本初のディーゼル乗用車クラウンディーゼルの発表 11 安保阻止闘争のデモ隊国会乱入 12 在日朝鮮人の北朝鮮送還始まる ＊この年岩戸景気が始まる。輸出力、戦前水準を回復
1960 昭和35		2 事務所棟完成 2 パレット用金枠、NES規格に採用 3 新入社員大量採用、従業員300名を超す 3 スチールスラットコンベアを横浜工場に導入 6 組立ラインに流れ作業用のコンベアラインを設置 7 ショットプラストマシンを本社工場に導入 8 250トンダブルクランクプレスを本社工場に導入 8 75kVA スポット溶接機を本社工場に導入 10 QC委員会、総勢13名で発足 11 生産部門を中心に品質管理の勉強会、組織的に始まる		1 貿易・為替自由化の基本方針を決定 1 日米新安全保障条約調印 3 日産自動車が中型乗用車セドリックを発表 3 いすゞ自動車、小型トラック初のディーゼル車を発表 3 三井三池炭鉱争議始まる 7 池田勇人内閣成立 9 小型車の総排気量を1,500CCより2,000CCに引き上げ 9 NHK、日本テレビなどがカラーテレビの本放送開始 9 日産自動車が米国日産自動車会社(NMC)を設立 10 浅沼稻次郎社会党委員長刺殺される 10 トヨタ自動車工業、大衆乗用車を発表(後にパブリカと命名) 11 ケネディ氏、米大統領に当選 12 民生ディゼル工業を日産ディーゼル工業に改称 12 国民所得倍増計画、閣議で決定 ＊この年電気冷蔵庫、電気洗濯機、テレビが普及、三種の神器が流行語
1961 昭和36		1 QC委員会機関誌「よろず」創刊 2 土屋・橋本・大塚・萬の4社QC座談会第1回を当社で開催 4 IBMパンチカードシステム(PCS)を使用開始 5 健康保険を神奈川県鉄工業組合保険に所属変更 10 志藤六郎社長、欧米6カ国の自動車産業視察に参加 11 NHKが「日本の顔」取材で来社		1 裏日本が豪雪でマヒ状態 2 富士精密工業をプリンス自動車工業に改称 3 富士重工業、スバルサンバートラック発売 3 日野自動車工業、乗用車コンテッサ900、小型トラックプリスカを発表 4 物品税法一部改正 4 トラック・バスの完成車および二輪車の貿易自由化実施 4 ソ連宇宙船ボストーク1号(ガガーリン搭乗)地球一周飛行に成功 8 東ドイツ政府、東西ベルリンの壁封鎖 9 日本航空、国内線にジェット機使用開始(東京～札幌間) 9 経済協力開発機構(OECD)発足 10 いすゞ自動車、新乗用車ベレル発表 11 東洋工業、ロータリーエンジン試作第1号完成 ＊この年レジャーブーム強まる
1962 昭和37		2 東京通商産業局長から優良診断工場として表彰 3 横浜市の賓客として来日中のインド、ビルマ、セイロン、イスラエルの方々が工場見学に来社 5 資本金を7,200万円に増資 6 第1回TWI社内講習会を開催 7 日刊工業新聞社主催の「運搬と荷役展」にパレット・金網枠を出展 8 1200トンクランクレスプレスを本社工場に導入 11 1962年度優良企業として中小企業庁長官賞を受賞		1 新日国工業を日産車体工機に改称 2 日米相互関税引下げ協定に調印 2 米国初の人間衛星フレンドシップ7号打ち上げに成功 4 通産省産業構造調査会重工業部会に乗用車小委員会を設置 5 常磐線三河島駅構内で二重衝突事故発生(死者160人) 6 日本、ECC相互関税引下げ協定に調印 8 三宅島、22年ぶりに大噴火 10 日産自動車がフェアレディSP310型発売 10 ケネディ米大統領、キューバ海上封鎖を声明(キューバ危機) 10 日本自動車連盟(JAF)発足 ＊この年東京が世界初の1,000万人都市へ。テレビ受信契約者数1,000万人を突破
1963 昭和38		4 三池工業・大和工業・当社の3社でサンワ工業を設立 4 宝会のプレス金型委託学生として当社より5名が神奈川県総合職業訓練所に入所 7 450kVA プロジェクション溶接機を本社工場に導入(プロジェクション溶接機第1号機) 10 日産自動車の指導により生産同期化実験を開始 11 本社工場に新塗装ライン設置 12 700トンクランクプレスを本社工場に導入		2 日産自動車が自動車生産累計100万台達成 4 いすゞ自動車がディーゼル乗用車ベレルの開発で日本機械学会賞を受賞 6 黒部川第四発電所完成 6 外国為替管理令改正公布(資本取引の自由化) 8 部分的核実験停止条約調印(日・米・英・ソ) 9 日産自動車、戦後10万台目の輸出車を船積み 10 原子力研究所、初の原子力発電試験に成功 11 国鉄鶴見事故発生(死者161人) 11 ケネディ米大統領暗殺される ＊この年火力発電量が水力を上回る発電量(火主水従)
1964 昭和39		1 300トンブランキングプレスを導入 1 700トンクランクプレス稼働開始 1 フラッシュバット溶接機を本社工場に導入 3 ラジアルボール盤を工機工場に導入 6 本社工場内レイアウトの大幅改善を実施 9 塗装装置を設置してプレスから完成品の出庫までを同期化 9 労使懇談会の名称を経営協議会に改称 10 当社ボーイスカウト団、東京オリンピックで国旗掲揚に奉仕		4 日本、IMF8条国に移行 4 一般海外渡航の自由化 4 経済協力開発機構(OECD)に加盟 6 トヨタ自動車・日産自動車・プリンス自動車工業・いすゞ自動車、乗用車を値下げ 6 日産自動車、セドリックディーゼル発売 6 新潟地震(死者26人、全壊・全焼2,250戸) 7 日産自動車が東京オリンピック用に193台を提供(セドリックなど) 7 三菱重工業、デボネア発売 10 国鉄、東海道新幹線開業 10 第18回オリンピック東京大会開催 11 佐藤栄作内閣成立 11 全日本労働総同盟発足 ＊この年第1次マンションブーム。発生働く女性の呼称、BGからOLへ

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1965 昭和40		3 東南アジアから視察団来社 3 全日本部品製造労働組合萬自動車工業支部が誕生 6 多能工教育の一環で技能手帳・技能バッジ制度が発足 12 400トンクランクプレスを本社工場に導入		2 米軍、北ベトナムのドンホイを空爆(北爆開始) 3 山陽特殊製鋼、戦後最大の倒産 3 ソ連宇宙船ボスホート2号でレオノフ飛行士、初の宇宙遊泳に成功 4 各社新車発表、トヨタ自動車S800、日野自動車コンテッサ1300クーペ、日産自動車シルビアCSP311、富士重工業スバル1000(10.21)、三菱自動車工業コルト800(11.1) 5 ILO87号条約承認 5 日産自動車の座間工場完成 6 日韓基本条約調印 7 名神高速道路全線開通 10 朝永振一郎氏、ノーベル物理学賞受賞 10 日産自動車、大型乗用車プレジデント発表 ＊この年運転免許保有者2,000万人を突破、マイカーブーム始まる
	1966 昭和41	1 400トンクランクプレス3台を本社工場に導入 1 プレス同期化ライン設定 3 縦型中繰り盤を工機工場に導入 4 工機工場地鎮祭 9 工機工場落成式 11 神奈川県青少年技能認定に50名が参加、3名が特別優秀者として知事賞受賞 12 フェースカッターを工機工場に導入		1 戦後初の赤字国債発行 2 全日空機、東京湾に墜落(死者133人) 3 BOAC機、富士山麓に墜落(死者124人) 4 日産自動車がサニーB10新発売 5 中国で文化大革命始まる 7 新東京国際空港を成田市三里塚に決定 8 日産自動車がプリンス自動車工業を合併 10 トヨタ自動車工業が日野自動車工業と業務提携を発表 12 国民の祝日に「建国記念の日」を追加公布 12 いすゞ自動車が富士重工業と業務提携を発表 ＊この年日本の人口1億人突破、いざなぎ景気始まる
1967 昭和42		1 本社工場出荷場上棟式 3 栃木県小山市に工場用地(6万5,894㎡)取得 3 400トンクランクレスプレスを試圧 専用プレスとして工機工場に導入 9 資本金を2億円に増資 11 200kVp×5mAX線装置を本社工場に導入		2 日産自動車が天皇陛下御料車ニッサンプリンスロイヤルを宮内庁に納入 4 (社)日本自動車工業会発足 5 ケネディ・ラウンド(関税一括引下げ交渉)が主要国(米・英・日・EEC)間で妥結 5 東洋工業がロータリーエンジン搭載車コスモスポーツを発表 6 第3次中東戦争勃発 6 中国が初の水爆実験に成功 7 ヨーロッパ共同体(EC)発足 8 東南アジア諸国連合(ASEAN)結成 9 本田技研工業がF1イタリアグランプリで優勝 11 トヨタ自動車工業がダイハツ工業と業務提携覚書調印 12 東京都、都電の銀座線など8路線廃止 12 初の日米自動車会談開催 ＊この年自動車保有台数1,000万台突破。ミニスカート大流行
	1968 昭和43	1 小山工場起工式 3 小山工場開設準備室新設 3 創立20周年記念式典 4 プレーナーを工機工場に導入(1号機) 4 小山工場に組立工場完成 4 650kVAプロジェクト溶接機を本社工場に導入(1号機) 7 小山工場に圧造工場完成 8 500トンBLプレスを小山工場に導入 10 電着塗装装置を小山工場に設置		1 日産自動車本社を東京銀座に移転 4 日本初の超高層霞が関ビル完成 5 いすゞ自動車と富士重工業との業務提携解消 6 東大紛争、安田講堂を占拠 6 三菱重工業がいすゞ自動車との業務提携に調印 6 小笠原諸島、日本に正式復帰 7 ケネディ・ラウンドによる第1回関税引下げを実施 10 日産自動車、スカイライン2000GT発売 10 川端康成、ノーベル文学賞受賞 10 日産自動車が富士重工業との業務提携発表 12 トヨタ自動車工業、年産100万台達成 12 東京府中市で3億円強奪事件発生 ＊この年GNP1,428億ドル、アメリカに次ぎ世界第2位に
1969 昭和44		3 8ステーショントランスファーマルチスボット溶接機を自社製作 4 社内報「よろず」通巻100号を発刊 6 資本金を3億円に増資、日産自動車が25%資本参加 7 400トンクランクレスプレス3台を小山工場に導入 9 本社社屋完成 10 組合支部結成10周年記念総会開催 11 日産園経営資料共同処理センターを利用し、在庫把握の実験・訓練を実施 12 700トントランスファープレス2台を小山工場に導入		1 機動隊が東大安田講堂の封鎖を解除 2 閣議で亜硫酸ガスに関する環境基準を決定 2 トヨタ自動車工業、生産累計500万台達成 2 日産自動車、ダットサントラック生産累計100万台達成 3 第2次資本自由化実施 4 海外渡航用の外貨持ち出し制限を緩和 5 いすゞ自動車が三菱重工業との提携を解消 5 日産自動車、生産累計500万台達成 5 リコール車問題がクローズアップ 7 道路運送車両法改正(欠陥車の公表義務づけ) 7 アメリカのアポロ11号月面着陸、月面に人類の第一歩 9 日銀、公定歩合を年利建てに変更 ＊この年商船保有量2,399万総トンで世界第2位に。テレビ受像機生産台数世界第1位に
	1970 昭和45	3 大型電算機HITAC8210を本社に設置 3 完成品倉庫の在庫把握の本番を開始 5 磁気探傷機を本社工場に導入(第1号機) 6 今岡製作所および住友商事との合併会社庄内プレス工業(現・庄内ヨロズ)を設立 7 倣い型彫盤・複合フライス盤(7.31)を工機工場に導入 8 コンデンサースボット溶接機2台を小山工場に導入 10 宝会第3グループQC大会を当社で開催		1 日産自動車、東洋工業および米フォード社が合併で日本自動変速機を設立 2 トヨタ自動車工業、コロナに日本初の電子制御式A/T採用 2 東大宇宙航空研究所、国産初の人工衛星「おおすみ」打ち上げに成功 3 日本万国博覧会、大阪で開幕 3 日産自動車がいすゞ自動車と業務提携協定に調印 3 八幡・富士両製鉄合併、新日本製鉄発足 3 日航機よど号、赤軍派がハイジャック 4 三菱自動車工業設立

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1970 昭和45				5 小型乗用車の関税引き下げ 5 東京牛込柳町で慢性鉛中毒患者を確認 6 政府が日米安全保障条約延長の声明発表 7 中央公害対策本部発足 11 三島由紀夫、陸上自衛隊で割腹自殺 12 アメリカ大気汚染防止法(マスキー法)成立
	1971 昭和46	3 放電加工機を工機工場に導入 3 疲労試験機を本社工場に導入 6 小山工場に福利厚生施設としてプールを新設 7 IEの社内展開を開始 9 小山工場に工機工場を増設 10 社内標準時間を設定		2 本田技研工業が低公害CVCCエンジンを発表 4 自動車資本自由化実施 6 勤労者財産形成促進法公布 6 政府が輸入自由化促進等8項目の総合的対外経済政策決定 6 沖縄返還協定調印 7 環境庁発足 7 自動車騒音規制施行 7 日産自動車といすゞ自動車の業務提携を解消 7 いすゞ自動車が米GM社と資本提携協定に調印 8 ニクソン米大統領がドル防衛措置を発表(ドル・ショック) 8 円、変動相場制に移行 9 両陛下、戦後初のヨーロッパご訪問 12 自動車重量税新設 ＊この年ボーリング人口1,000万人。ソ連の金星7号、金星に軟着陸
1972 昭和47		2 700トントランスファープレスを工機工場に導入 2 マルチプロジェクト溶接機を小山工場に導入 3 社内にモデルショップを設置、IE導入後の能率管理を開始 3 インデックスマシンを本社工場に導入 3 年間売上高100億円を突破 6 50トンダイスボッティングプレスを工機工場および小山工場に各1台導入 7 小山工場でプール開き 9 小山工場のレイアウトを大幅変更 10 オートアーク溶接装置2台を小山工場に導入		2 横井庄一さん、グアム島から帰還 2 第11回冬季オリンピック札幌大会開催 2 連合赤軍、浅間山荘事件発生 3 通産省がPCBの生産および使用禁止 5 沖縄の施政権返還、沖縄県が発足 6 田中通産相が「日本列島改造論」を発表 7 田中角栄内閣成立 9 中国自動車視察団来日 9 日産自動車、生産累計1,000万台を達成 9 日中共同声明に調印、国交正常化 11 上野動物園、ジャイアントパンダ公開で大人気 12 環境庁が1973年実施の自動車排ガス規制基準値を告示 12 本田技研工業CVCCエンジンがマスキー法1975年規制値に合格 ＊この年郵便貯金残高10兆円を超える。パンダブーム
	1973 昭和48	3 資本金を5億円に増資、日産自動車が35%資本参加 5 雨ヶ谷独身寮完成 6 工業用ロボット第1号機を本社工場に導入 9 400トンBLプレスの小山工場導入およびディッピング塗装装置が小山工場で稼働開始 10 庄内プレス工業を子会社化(出資比率75%) 11 第8回自動車労連体育祭全国大会で女子バレーボールチーム優勝 12 電算機HITAC8250、本社に設置 12 1000トントランスファープレス2台、500トントランスファープレス3台を小山工場に導入		1 低公害車優遇税制を創設決定 1 ベトナム和平協定パリで調印。米軍撤退決定 2 円、変動相場制へ移行(変動幅制限を停止) 4 運転免許証の誕生日更新制度がスタート 4 米・環境保護庁(EPA)の燃費テストで日産サニー1200が第1位 5 第5次資本自由化(100%自由化) 5 使用過程車の排出ガス規制スタート 6 第7次道路整備5カ年計画決定 7 日航機がアムステルダムでハイジャック 7 資源エネルギー庁発足 8 金大中が東京のホテルで誘拐 9 日産自動車とトヨタ自動車工業、ESV(実験安全車)1号車政府に納入 10 第4次中東戦争勃発 10 江崎玲於奈氏、ノーベル物理学賞受賞 ＊この年オイルショックにより、ガソリン価格大幅値上げ
1974 昭和49		2 久保田鉄工(現・クボタ)と本格取引開始 5 トランスファーマルチ溶接機・多軸インデックスボール盤(6.24)を小山工場に導入 11 産業医による健康・衛生管理の指導開始 11 第9回自動車労連体育祭全国大会で女子バレーボールチーム連続優勝		1 日中貿易協定調印 1 環境庁、自動車排ガスの1975年規制を告示 2 日本初の誘導制御ロケット打ち上げに成功 2 通産省、大蔵省、米フォード社の100%出資会社の設立認可 3 フィリピンルバング島から小野田元陸軍少尉生還 6 国土庁発足 8 三菱重工業本社ビル爆破事件 10 前首相佐藤栄作氏、ノーベル平和賞受賞 10 田中角栄の金脈事件が問題化 10 いすゞ自動車、GM社と共同開発の小型乗用車ジェミニを発表 12 三木武夫内閣成立 － オイルショックで東京モーターショー中止 ＊この年卸売物価指数31.3%上昇(狂乱物価)
	1975 昭和50	1 アムスラー万能試験機を更新 2 小山工場で産業医による健康・衛生管理の指導開始 2 1000トンプレスと400トン油圧プレスを小山工場に、500トンプレスを本社工場に導入 2 オートアーク溶接装置を本社工場に導入 3 工業用ロボットを小山工場に導入 5 社内報「よろず」隔月刊行となる		1 本田技研工業、日本安全車計画に基づく試作車ホンダESVを完成 2 ガソリン無鉛化スタート 2 環境庁、1978年排ガス規制値告示 3 山陽新幹線、岡山～博多間開通 4 ベトナム戦争終結 6 スエズ運河、8年ぶりに開通 6 日産自動車九州工場竣工式 8 運輸省、軽自動車の規格拡大(排気量550cc、全長3,200mmなど)

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1975 昭和50	10	第10回自動車労連体育祭全国大会で女子バレーボールチーム連続3回目の優勝	9	米FEA・EPA1976年型燃費試験結果発表、スバルが第1位
			9	天皇・皇后両陛下、初の訪米
			11	第1回主要先進国首脳会議(サミット)開催
			12	鉄鋼大手6社にEC向け輸出数量のカルテル結成を認可 ＊この年鋁工業生産指数、前年比11％下落企業の一時帰休・倒産相次ぐ
1976 昭和51	3	小山工場に排水処理装置設置	1	周恩来中国首相死去
	3	年間売上高200億円を突破	1	排出ガス規制適合車の燃費公表制度開始
	4	中津工場建設起工式	1	日本で初の五つ子、鹿児島で誕生
	10	神奈川労働基準局長から労働衛生管理努力賞を受賞	2	トヨタ自動車工業、触媒方式による1976年度排出ガスエンジン適合車発表
	10	文部大臣から社会体育優良職域団体賞を受賞	2	米上院外交委多国籍企業小委員会公聴会でロッキード事件判明
	12	塗装プラントを中津工場に新設	5	日産自動車、1978年排ガス規制に対応したNAPS-Z開発を発表
	12	ヨロズサービス(YS)を設立	7	トヨタ自動車工業、生産累計2,000万台達成
	12	第11回自動車労連体育祭全国大会で女子バレーボールチーム優勝(4回目)	7	前首相田中角栄、ロッキード事件で逮捕
			7	アメリカのバイキング1号、火星の着陸に成功
			9	毛沢東中国共産党主席死去
			12	日産自動車の九州工場第1号車生産オフライン
			12	福田赳夫内閣成立 ＊この年戦後生まれ、総人口の半数を超える
1977 昭和52	1	中津工場稼働開始	1	輸入車の1978年排ガス規制の3年間延期決定
	10	P3運動が実施時期に入る	4	日銀、公定歩合を6%から5%に引き下げる
	10	第7回国際ロボットシンポジウムの一環で欧米12カ国65名が本社工場のロボットラインを視察	4	高速増殖実験炉「常陽」臨界点に到達
	10	庄内プレス工業のオンライン端末機稼働開始	7	宇宙開発事業団、初の静止気象衛星「ひまわり」を打ち上げ
	11	第12回自動車労連体育祭全国大会で女子バレーボールチーム優勝(5回目)	7	日産自動車、生産累計2,000万台達成
	12	中津工場のオンライン端末機稼働開始	8	北海道の有珠山、32年ぶりに噴火
	12	小山工場の工機工場増設工事竣工	8	三菱自動車岡崎工場完成
			9	王貞治、国民栄誉賞を受賞(第1号)
			9	日航機、ボンベイで日本赤軍によりハイジャック
			12	北陸自動車道開通
			12	東京外為市場、1ドル238円に ＊この年平均寿命、男72.69歳でスウェーデンを抜き世界第1位、200カイリ問題発生戦後最大の不況で企業の倒産続出、倒産件数1万8,471件
1978 昭和53	2	500トン3次元トランスファープレスを中津工場に導入	1	伊豆大島近海地震(死者25人)
	3	中津工場の第2工場増設決定	1	環境庁が大型車排ガスおよび自動車騒音の1979年規制値を告示
	4	創立30周年記念式典	3	本田技研工業がホンダオブアメリカ社を発足
	5	P3生産改善班発足	3	日銀、公定歩合を3.5%に引き下げる
	7	本社技術センター地鎮祭	3	転換炉「ふげん」臨界点に到達
	12	『萬自動車工業30年史』発行	4	自動車輸入関税撤廃
			5	新東京国際空港開港(成田)
			6	宮城県沖地震(死者27人)
			7	沖縄県、交通方法切り替え(車は左、人は右)
			8	日中平和友好条約調印
			10	外為市場円が急騰、1ドル175円
			11	大型トラックの巻き込み事故防止規制実施(サイドミラー等)
			12	大平正芳内閣成立 ＊この年カーエアコンが爆発的人気、AIDS患者、米国で発見
1979 昭和54	1	本社技術センター落成、執務開始。日産自動車の金尾専務を招聘し記念講演会を開催	1	環境庁、初の『交通公害白書』を発表
	4	カチオン塗装プラントが小山工場に完成	1	国公立大学入試、初の共通1次学力試験実施
	5	管理・事務部門の活性化をはかるためVIP活動を展開	1	カルテックス社、対日原油供給の削減を通告(第2次オイルショック)
	8	3トン油圧疲労試験機2台を実験室に導入	5	イギリス、サッチャー政権誕生
	11	倅いフライス盤を工機工場に導入	6	東京で第5回先進国首脳会議開催
		第16回全日本社会人ウエイトリフティング大会で団体2位入賞	7	東名高速日本坂トンネルで車両170余台玉突き炎上事故
	12	志藤記念体育館、小山工場に落成	8	小型車両振興協会発足
			10	第35回衆議院選挙で自民党が過半数割れ
			10	韓国朴正熙大統領暗殺される
			10	木曾御岳山、有史以来初めて噴火
			11	東洋工業が米フォード社と資本提携
			11	シートベルト国際シンポジウム開催
			12	本田技研工業が英BL社と小型乗用車の技術提携契約に調印
			12	ソ連軍、アフガニスタンへの侵攻開始
1980 昭和55	1	3次元測定機を工機工場に導入	1	本田技研工業がアメリカに乗用車生産工場の建設を発表
	3	年間売上高300億円を突破	4	三菱自動車工業と三菱商事がクライスラーオーストラリアの株式の99%を取得
	6	久保田鉄工の90周年記念式典で創意工夫・改善が認められ特別賞を受賞	6	いすゞ自動車がアメリカン・いすゞ・モーターズ設立
	8	小山工場で品質向上プロジェクトチームが発足	6	衆参両院選挙(初のダブル選挙)で自民党圧勝
	8	プレスロボットを中津工場に導入	7	鈴木善幸内閣成立
	9	中津工場第3期工場増設工事が完了	7	日産自動車が米国日産自動車製造会社(NMMC)設立
	10	神奈川県労働基準局長から「衛生優秀賞」を受賞	8	東京で平均気温19.5度、78年ぶりの冷夏
	12	HITAC M150型コンピュータ導入	8	韓国大統領に全斗煥を選出
			9	イラン・イラク戦争勃発
			9	中国の華国鋒首相辞任、後任首相に趙紫陽副首相が昇格

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1980 昭和55			11	米大統領にレーガンを選出 ＊この年自動車生産台数1,104万台、世界第1位
1981 昭和56	1	250トンプレス3台を小山工場に導入	1	外国為替相場、1ドル200円台を突破
	4	3やる運動、全社一斉にキックオフ	2	ローマ法王ヨハネ・パウロ2世来日
	10	東洋工業(現・マツダ)と取引開始	3	中国残留孤児、初の正式来日
	10	カチオン塗装プラントが横浜工場に完成	3	国鉄赤字ローカル線77線の廃止を決定
	12	1500トン3次元トランスファープレスを小山工場に導入	4	アメリカがスペースシャトル・コロンビアの打ち上げに成功
			5	政府が対米自動車輸出自粛措置を発表、初年度168万台
			5	フランス大統領にミッテラン当選
			8	いすゞ自動車・鈴木自動車工業・米GM社の3社業務資本提携で調印
			9	日産自動車、独VW社と協力契約条約締結
			10	福井謙一、ノーベル化学賞受賞 ＊この年がんが死因の第1位に
1982 昭和57	3	サンワ工業解散式	1	ロッキード裁判全日空ルートで有罪判決
	3	オートミラーフライス盤を工機工場に導入	2	ホテル・ニュージャパンで火災発生
	4	志藤六郎社長がTQCの導入を宣言	2	日航機、羽田沖で墜落、機長の異常操縦が原因
	5	500トンプランキングプレスを小山工場に導入	3	トヨタ自動車工業と米GM社、提携交渉開始
	7	中央労働衛生基準審議会が横浜工場を見学	3	通産省が1982年度対米乗用車輸出 を168万台に決定
	10	800トン3次元トランスファープレスを小山工場に導入	4	500円硬貨発行
	11	第10回全日本実業団ウエイトリフティング選手権大会で団体優勝	4	日産自動車がサファリラリーで4年連続総合優勝
	11	中津工場の第4期増設工事了	4	ミッテラン仏大統領来日
	12	カチオン塗装プラントが中津工場に完成	5	大型バス・トラックの騒音規制強化決定
			5	趙紫陽中国首相来日
			6	東北新幹線開業
			7	トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売 が合併し、トヨタ自動車発足
			7	国際捕鯨委員会、1985年以降の商業捕鯨全面禁止を可決
			9	新車車検3年に延長決定
			10	日産自動車がマーチ発表、リッターカー ー時代の幕開け
			11	上越新幹線開業
			11	中曽根康弘内閣成立
1983 昭和58	1	第2カチオン塗装プラントが小山工場に完成	1	中曽根首相、レーガン米大統領と会談
	2	宝会TQCトップセミナーに社長・副社長・専務が参加	1	青函トンネル、先進導坑貫通
	8	横浜地区第1回職制TQC研修会	2	日本初の実用通信衛星「さくら2号α」
	8	安全衛生中央審議会発足	2	乗用車対米輸出自主規制、3年度目も168万台に決定
	8	HITAC M240D コンピュータ本社導入	3	中国自動車道全線開通
	9	インド溶接学会が小山工場見学	4	東京ディズニーランド開園
	11	横浜地区第2回職制TQC研修会	5	日本海中部地震(死者104人)
			7	本田技研工業、15年ぶりにF1レースに復帰
			8	フィリピンのアキノ元上院議員暗殺される
			9	ソ連空軍機が領空侵犯した大韓航空機を撃墜(死者269人)
			11	米GM社、サターンプロジェクト発表
			11	レーガン米大統領来日 ＊この年おしんブーム、忍耐・辛抱の代名詞
1984 昭和59	1	小山工場で第一線監督者研修(Z研)始まる	3	江崎グリコ社長脅迫事件発生
	1	久保田鉄工の協力会社表彰で総合賞を受賞	5	東洋工業がマツダに改称
	5	日産品質管理賞調査チーム指導会開始	6	平均寿命、男女とも世界第1位に
	6	『日産品質管理賞』挑戦決起大会を各事業所で開催	9	全斗煥韓国大統領来日
	7	TQC推進シンボルマークと標語を決定	10	ガンジー印首相暗殺される
	10	富士重工業(現・SUBARU)と取引開始	11	日電公社、キャプテンシステム営業開始
	11	日科技連倉原先生指導会を開始	11	マツダ、アメリカに乗用車工場建設を発表
	12	中津工場に特別高圧受電設備完成	12	日米政府間鉄鋼交渉、米国市場での日本のシェア5.8%で合意
			12	サッチャー英首相と趙紫陽中国首相、香港返還合意文書に調印 ＊この年自動車関連産業の総就業人口559万人(全就業人口の10%)
1985 昭和60	1	APM水準向上活動の一環(3日間改善活動)が各工場で始まる	1	ロサンゼルスで日米首脳会談
	2	協力メーカー経営者TQC研修会開催	3	ソ連共産党書記長にゴルバチョフ就任
	3	射出成形機J200SAを横浜工場に導入	3	科学万博－つくば’85開幕
	3	全自動振動解析装置を実験室に導入	3	通産省、1985年度対米乗用車輸出230万台で規制継続を発表
	4	日科技連倉原先生第3回、第4回指導会(6.24)実施	4	日本電信電話と日本たばこ産業が発足
	8	日産自動車の遠藤専務来社、金尾副会長来社(9.10)	8	日航ジャンボ機群馬県御巣鷹山中墜落(死者520人、生存4人)
	9	精密冷間鍛造プレスを技術部に導入	9	道路交通法改正公布、ドライバー同乗者にシートベルト着用義務
	10	中津工場第5期増設工事了	9	ロス疑惑の三浦和義逮捕
	12	日産品質管理賞本審査会を小山工場で開催	9	メキシコでM8.1の大地震(死者8,000人)
			11	コロンビアの休火山ネバドデルルイス大噴火(死者2万4,740人)
1986 昭和61	1	第1回自主講座「機械図面の正確な読み方」を開講	1	アメリカのスペースシャトル、チャレンジャー打ち上げ、72秒後に爆発炎上
	3	日産品質管理賞(NQC賞)を受賞	2	通産省が対米自動車輸出自主規制を1年延長することを発表
	3	年間売上高400億円を突破	2	アキノ女史、フィリピン大統領就任を宣誓
	6	米国AOスミス社、工場見学に来社	3	本田技研工業がアメリカ第2販売網スタート
	6	志藤六郎社長が会長に、三浦昭副社長が社長に就任	4	男女雇用機会均等法施行
	8	日科技連倉原先生指導会を中津工場で開催	4	ソ連チェルノブイリで原発事故

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1986 昭和61	9	日本ラヂエーターおよび子会社カルソニックインターナショナル社との合併でカルソニック・ヨロズ・コーポレーション(CYC)を設立(現・YAT)	5	第12回主要先進国首脳会議を東京で開催
	11	全社職制改善事例発表会を開催	5	富士重工業といすゞ自動車がアメリカ現地生産基本協定に調印
	12	いすゞ自動車と取引開始	8	鈴木自動車工業が米GM社とカナダで合併生産を発表
			9	社会党委員長に土井たか子選出(初の女性党首)
1987 昭和62	1	CYCのRoy Evers工場長が研修に来社	11	伊豆大島の三原山大噴火、全島民が避難
	2	小山工場で日産宝会3G部長長改善事例発表会を開催		
	3	NMMC ラニオン社長が小山工場を視察	1	大蔵省がNTTの株式売り出し開始
	5	メキシコの自動車部品会社ESA社が工場見学に来社	1	通産省が1987年度対米乗用車輸出自主規制230万台で延長を発表
	6	日産品質管理賞フォロー会を小山工場で開催	3	日本、南極海の商業捕鯨の幕閉じる
	8	新コーポレートマーク「YOROZU」を制定	4	国鉄分割・民営化、JR7社発足
	10	第27回東京モーターショーに当社製作のアルミ製サスペンションを組み付けたMID-4ベアシャーシーを出展	4	警視庁が東芝機械をココム規制違反で特別捜査
			6	トヨタ自動車が独VW社と西ドイツで共同生産を発表
			7	AT車事故が社会問題化、自動車工業会が本格調査へ
			9	三菱自動車工業がベンツ車の販売を発表
			9	いすゞ自動車と米GM社がイギリスに合併会社設立を調印
			10	利根川進、ノーベル医学生理学賞受賞
			10	ニューヨーク株式市場で大暴落(ブラック・マンデー)
			10	東証平均株価3,836円の大暴落
			11	竹下登内閣成立
			12	トヨタ自動車と米GM社がオーストラリアに合併会社設立を発表 ＊この年日米経済摩擦深刻化、円高、年末に1ドル123円50銭、世界の人口50億人を突破
1988 昭和63	1	ネームプレートなどに新コーポレートマーク採用	1	通産省が対米乗用車輸出自主規制を230万台で継続を発表
	2	広島事務所を開設(2023年閉鎖)	1	東京外国為替市場で1ドル120円45銭を記録
	3	IBM4381(製品設計CADシステム)導入	3	青函トンネル開通
	3	自動測定ビジョンシステムを中津工場と小山工場に導入	3	東京ドーム落成
	4	創立40周年記念式典	6	1991年以降のスパイクタイヤ製造中止
	5	チョモランマ交差登頂成功、業務部の長沼茂が参加	6	リクルート事件発覚
	6	本社にショールームオープン	7	潜水艦「なだしお」と大型釣り船「第一富士丸」衝突(死者30人)
	7	福島ヨロズ設立	9	日産自動車、米フォード社と多目的車の開発生産で合意
	8	高澤製作所を子会社化(出資比率75.5%)	9	第24回オリンピックソウル大会開催
	10	CYCから実習生3名来社	11	米大統領選挙、共和党のブッシュ当選 ＊この年4月から1989年末まで株式市場が空前の活況、外貨準備高976億ドル、対外資産残高1兆4,693億ドルで世界第1位に
	12	HITAC M640コンピュータ導入		
1989 昭和64 平成元	1	3方向複合加振耐久試験機を研究開発部に導入	1	昭和天皇崩御、皇太子が即位、平成と改元(1.8)
	5	複合腐食試験機を研究開発部に導入	1	通産省が対米乗用車輸出自主規制を230万台で継続を発表
	6	日産自動車から優秀企業賞原価賞を受賞	1	運輸省が軽自動車の新規格発表(サイズなど)
	7	福島ヨロズ操業開始	4	消費税実施(3%)
	7	英・タレント社と技術提携に調印	4	自動車物品税廃止
	10	第28回東京モーターショーに初出展(幕張メッセ)	6	宇野宗佑内閣成立
	11	マイレージマラソンに初参加	6	北京、天安門事件
	12	庄内プレス工業を庄内ヨロズ(SY)に社名変更	8	海部俊樹内閣成立
			9	富士重工業といすゞ自動車の米国合併会社SIAが生産開始
			9	横綱千代の富士、国民栄誉賞を受賞
			11	ベルリンの壁崩壊
			12	東証平均株価、3万8,915円の史上最高値 ＊この年四輪車生産、1,302万台で10年連続世界1位に、バブル経済の頂点
1990 平成2	1	体質改善運動中間発表会を実施	1	通産省が対米乗用車輸出自主規制を230万台で継続を発表
	3	小山工場、いすゞ自動車の直納工場に認定	3	ソ連初代大統領にゴルバチョフを選出
	6	日産自動車から優秀企業賞開発賞を受賞	4	久保田鉄工がクボタと社名変更
	6	三浦昭社長が日産宝会会長に就任	6	ペルー大統領にアルベルト・フジモリ当選
	6	アルミ溶湯鍛造機を福島ヨロズ構内に設置	6	礼宮様ご成婚
	6	株式会社ヨロズに社名変更	6	モンテリオール会議、2000年までのフロン全廃を決議
	8	田尻ファミリー公園の開園で中津市長から感謝状	10	鈴木自動車工業がスズキと改称
	10	GM社がCYC製サスペンションを搭載した「サターン」を発表	10	東西ドイツ統一
	10	トランスファーシミュレーションマシンを工機部に導入	11	天皇即位の礼
			12	秋山豊寛、日本人初の宇宙飛行体験(ソ連・ソユーズ11号) ＊この年バブル経済崩壊
1991 平成3	6	三浦昭社長が日翔会初代会長に就任	1	多国籍軍がイラクを攻撃開始(湾岸戦争)
	7	小山工場の冷暖房設備および局所排煙設備が稼働開始	2	皇太子徳仁親王、立太子の礼
	7	樹脂製プーリーを実用化	3	新宿に新都庁舎完成
	8	タイ王国政府金型研修員20名が本社を見学	4	海上自衛隊掃海艇ベルシャ湾派遣
	10	第29回東京モーターショーにコンセプトカーGIG出品(幕張メッセ)	5	アメリカのビッグ3が日本製ミニバンをダンピングでITCと商務省に提訴
	11	株式を店頭登録銘柄として公開		
			6	雲仙普賢岳大火砕流発生(死者37人)
			6	日産自動車、協力を再編成し、日翔会を設立
			6	ソ連ロシア共和国大統領にエリツィン就任
			6	南アフリカがアパルトヘイト撤廃
			9	トヨタ自動車、米GM社との合併会社NUMMIで小型トラック生産開始
			11	宮沢喜一内閣成立
			12	ソ連邦解体、独立国家共同体発足

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1992 平成4	4	米フォード社と取引開始	1	ブッシュ米大統領来日
	5	日産ディーゼルから優秀企業賞開発賞を受賞	3	東海道新幹線「のぞみ」運転開始
	7	日産自動車から優秀企業賞原価賞を受賞	4	日産自動車と米フォード社、アメリカでミニバン「クエスト」を生産
	8	日本証券アナリスト協会が小山工場を視察	6	国連平和維持活動(PKO)協力法成立
	8	IBM9121-210(製品設計CADシステム)導入	6	トヨタ自動車、GM社とのアメリカでの合併事業継続で合意
	9	第12回ホンダエコノパワー燃費競技 全国大会で583km/ℓ達成	7	山形新幹線「つばさ」開業
	10	ヨロズエンジニアリング(YE)を設立	8	東証平均株価1万4,000円台へ
	12	いすゞ自動車から優良企業賞を受賞	8	中国・韓国国交樹立
	12	UNISYS 2200/320を工機部に導入	9	毛利衛、スペースシャトルで宇宙へ
			9	自衛隊PKO部隊カンボジアへ派遣
			11	米大統領にクリントンを選出
			12	いすゞ自動車、ジェミニの後継車開発を断念、乗用車事業より事実上の撤退
1993 平成5	1	マツダから取引成績優秀で感謝状	3	日産自動車が中国の東風グループと商用車の合併会社を設立
	2	日産メヒカーナ社および日商岩井との合併会社、ヨロズメヒカーナ(YMEX)設立	5	サッカー、Jリーグ開幕
	3	CYCがフォード社からQ1賞を受賞	6	皇太子ご成婚
	3	福島ヨロズのオープニングセレモニー開催	7	三菱自動車工業、米クライスラー社との資本提携を解消
	4	志藤六郎名誉会長、紺綬褒章受章	7	第19回主要先進国首脳会議開催(東京サミット)、G7の対ロシア支援を決定
	5	YEのオープニングセレモニー開催	7	北海道南西沖地震(死者・不明者230人余)
	7	クボタ宇都宮工場から品質努力賞を受賞	7	横浜に日本最高層のランドマークタワーオープン
	7	三浦昭社長が日翔会会長に再任	8	細川護熙内閣成立
	8	HITAC M-860コンピュータ導入	8	円高更新、1ドル100円40銭
	10	第30回東京モーターショー出展(幕張メッセ)	10	日産自動車とマツダが商用車のOEM相互供給で合意
			12	ガットのウルグアイラウンド、最終合意文書を採択 ＊この年冷夏で米の緊急輸入、偽1万円札大量発見
1994 平成6	2	YMEX建屋完成	1	北米自由貿易協定発効
	3	株式を東証第二部へ上場	1	政治改革関連法案成立
	3	日産自動車から安全成績優良事業場賞を受賞	3	自動車工業会と自動車部品工業会が雇用調整助成金の業種指定1年延長を申請
	5	CYCの過半数の株式を取得し、子会社化	3	通産省が対米乗用車輸出自主規制撤廃案を発表
	5	YMEX、11億円の増資を決定	4	羽田孜内閣成立
	7	日産自動車から優秀企業賞開発賞を受賞	5	通産省が軽四輪自動車部品共通化の指針を作成
	8	マクミンビル市から中学生11名来日	6	村山富市内閣成立
	8	横浜地区無災害590万時間達成	9	アメリカのビッグ3がQS9000を発表
	8	台湾の部品メーカー元華興業と技術支援契約締結	9	関西国際空港開港
	11	子会社高澤製作所を清算	10	北海道東方沖地震(M7.9)
			10	大江健三郎、ノーベル文学賞受賞
1995 平成7	1	三浦昭社長が三川町合併40周年記念式典で表彰を受ける	1	阪神・淡路大震災(死者6,432人)
	2	北米の小型プレス部品をYMEXへ集約する方針を決定	3	東京地下鉄サリン事件発生
	4	CYCが米GM社から「サプライヤーオブザイヤー1994」を受賞	3	日産自動車座間工場の組立生産終了(工場廃止)
	7	本社新社屋の地鎮祭	4	青島幸男東京都知事、横山ノック大阪府知事誕生
	7	三浦昭社長、日翔会会長を退任	4	東京外為市場、円最高値更新1ドル79円75銭
	7	株式を東証第一部銘柄に指定替え	5	オウム真理教麻原教祖逮捕
	10	第31回東京モーターショー出展(幕張メッセ)	7	製造物責任法(PL法)施行
	12	駐日メキシコ大使が本社を表敬訪問	7	第3回日中自動車産業発展交流会を北京で開催
	12	韓国の東光精機と技術援助契約調印	9	日銀、公定歩合を戦後最低の0.5%へ引き下げ
			11	APEC大阪会議開催
			11	マツダ、米フォード社とタイに合併会社設立を発表
1996 平成8	1	三浦昭社長が年頭の挨拶で「第2の創業精神」を強調	1	橋本龍太郎内閣成立
	1	ヨロズタイランド(YTC)構想を発表	2	北海道でトンネル落盤事故
	3	本社新社屋営業開始	4	沖縄普天間基地全面返還で日米合意
	3	本社に試作工場建設	4	クリントン米大統領来日、首脳会談で同盟強化を合意
	4	CYCが米GM社から「サプライヤーオブザイヤー1995」を受賞	5	自動車工業会会長に日産自動車社長辻義文就任
	5	CYCがQS9000とISO9001の認証取得	5	W杯サッカー、日韓共同開催が決定
	6	タイ商務省からYTCの設立認可	7	O-157大量感染(6,000人を超す)
	6	BBT 合併契約調印	12	武装ゲリラ、ペルーの日本大使公邸を占拠 ＊この年エイズ問題で厚生省が謝罪
	6	本社ビルのオープニングセレモニー開催		
	9	社内報「ヨロズ」通巻300号を発刊		
1997 平成9	1	本社と中津工場がISO9001の認証取得	1	日本海でロシアタンカーの重油流出事故
	7	福島ヨロズが福島労働基準局長から進歩賞を受賞	3	野村證券不正事件発生
	7	アメリカのミシガン州にヨロズアメリカ(YA)を設立	3	動燃東海事業所核燃料再処理工場で爆発事故
	7	金型用CADのソリッド化に着手	3	秋田新幹線「こまち」営業開始
	9	小山工場に5000トンハイドロフォーム設備を導入	4	消費税5%に引き上げ実施
	10	中津工場が大大労働基準局長から労働基準局長衛生努力賞を受賞	4	米GM社がサターンの日本発売を開始
	10	業務用全自動モップ洗浄機 Washman-Pro を発売	4	ペルー日本大使公邸占拠事件解決
	10	第32回東京モーターショー出展(幕張メッセ)	7	香港が中国に返還
	12	YTC開所式	8	イギリスのダイアナ元皇太子妃が交通事故死
			9	トヨタ自動車、日野自動車工業の持株比率20.1%
			10	富士重工業、リコールの未届け問題が発覚
			11	山一證券、自主廃業決定

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
1997 平成9			12	地球温暖化防止京都会議始まる
			12	東京湾アクアラインが開通
1998 平成10		1 全社電子メールシステム導入	2	第18回冬季オリンピック長野大会開幕（～22日）
		2 本社・小山・中津工場がQS9000の認証取得	4	金融ビッグバンスタート
		2 小山工場がクボタから「改善コンクール優良賞」と「クボタ自動販売機拡販賞」を受賞	4	明石海峡大橋開通
		2 YMEXが日産自動車からNissanQuality Awardを受賞	5	独ダイムラーベンツ社と米クライスラー社が合併を発表
		2 SY、「スキーフット」事業化	5	スズキ、欧州での小型車共同開発で米GM社と合意したと発表
		4 YMEXがGM社から「サプライヤーオブザイヤー1997」を受賞	5	トヨタ自動車、ダイハツ工業と日野自動車工業へ出資比率を過半数に拡大へ
		5 クボタから優秀協力会社総合賞を受賞	6	金融監督庁発足
		5 本社「安全衛生優良事業所」として表彰を受ける	7	自動車工業会、1997年度アメリカ製自動車部品購入実績が250億ドルを超えた
		6 小山工場に3000トントランスファープレス稼働開始	7	日産自動車、日産ディーゼル、独ダイムラーベンツ社が小型キャブオーバートラックの共同開発を基本合意
		6 三浦昭社長が会長に、志藤昭彦副社長が社長に就任	7	和歌山カレー事件（4人死亡、63人が中毒）
		9 YEと庄内ヨロズ技術センターとの金型部門の集結終了	7	小渕恵三内閣成立
		12 YMEXがメキシコ日産社から品質賞受賞	8	トヨタ自動車がダイハツ工業への出資率を51.2%にかさあげ
		12 SYがISO9002の認証取得	9	いすゞ自動車と米GM社が北米で新型ディーゼルエンジン生産を発表
		12 YTCがQS9000の認証取得	9	労働基準法改正案成立
			10	地球温暖化対策推進法成立
1999 平成11		2 クボタ悠久会宇都宮支部改善事例発表会で優秀賞受賞	10	金融再生関連法案成立
		2 クボタから1998年度特別協力賞受賞	10	日本長期信用銀行が金融再生法に基づく特別公的管理を申請、国有化
		5 SYが日産自動車から紹介成約活動への感謝状授与	10	日本長期信用銀行が金融再生法に基づく特別公的管理を申請、国有化
		5 YMEXが米フォード社からQ1賞を受賞	11	政府は過去最大規模の総額1 7 兆9,000億円の緊急経済対策
		5 元華興業と技術援助契約調印	11	独ダイムラーベンツ社と米クライスラー社が合併、世界3位に
		7 小山工場が栃木県労働基準局長から安全進歩賞を受賞	12	部品メーカー1998年度決算で3分の1が赤字、80%が減収減益決算
		7 YMEXを日産自動車カルロス・ゴーンCOOが訪問		
		7 メキシコよりアグアス州知事一行来社		
		10 第33回東京モーターショー出展（幕張メッセ）		
		11 三浦昭前社長死去		
		11 クボタからフレーム部品生産ラインの改善で優秀賞受賞		
		12 全社QCチーム、サークル改善事例発表会を開催		
2000 平成12		2 クボタから改善コンクール優秀賞を受賞	1	欧州連合（EU）の単一通貨「ユーロ」誕生
		2 YSP（ヨロズサバイバルプラン）キックオフ大会開催	1	自動車工業会、MT車の急発進防止装置を今後発売する車に搭載
		5 梅津幹夫（本社技術部試作課）が科学技術庁長官賞（創意工夫功労）を受賞	3	金融再生委員会、大手銀行など15行に7兆4,592億円の公的資金を投入
		6 SY創立30周年記念式典開催	3	日産自動車が仏ルノー社との資本提携を発表
		7 職制異文化講座第1回目開催	4	改正男女雇用機会均等法施行。事業主にセクシャル・ハラスメント防止を義務づけ
		8 日立MP5400コンピュータ導入	4	東京都知事に石原慎太郎が当選
		9 ヨロズオートモーティブノースアメリカ（YANA）を設立（資本100%）	4	トヨタ自動車、米GM社と環境先進技術の共同研究・開発で合意
		9 タワーオートモーティブ社と包括的戦略的提携契約締結	4	チャイルドシート着用・携帯電話禁止を盛り込んだ法が成立
		10 環境管理計画書に基づき、環境マネジメントシステム構築開始	5	本田技研工業、北米3番目の工場をアラバマに建設する計画を発表
		11 YANA地鎮祭	7	省庁改革・地方分権一括法成立
		12 福島ヨロズ閉鎖	8	国旗・国歌法公布・施行
2001 平成13		1 体質改革推進室を設置	9	東海村のウラン加工施設JCOで、国内初の臨界事故発生
		6 執行役員制度導入	10	日産自動車、経営再建へ「日産リバイバルプラン」を発表
		9 ヨロズオートモーティブミシシッピ社（YAM）を設立	10	日産自動車5工場を閉鎖、従業員2万1,000人削減の計画発表
		9 トヨタ自動車と取引開始（タイYTC）、ハイラックス・カローラ・カムリ・Fortuner向けのサスペンションアームを受注	12	米GM社が富士重工業の株式20%取得を発表
		10 CYCがISO14001の認証取得	12	東証、ベンチャー向け新市場「マザーズ」開始
		10 米国のルノー社と取引開始（YMEX）	＊	＊この年携帯・PHSの加入台数5,000万台突破、世界の人口、60億人突破
		10 第35回東京モーターショー出展（幕張メッセ）		
		12 YAM地鎮祭	3	日産自動車社長に仏ルノー社のカルロス・ゴーン就任
			3	大口需要家向け電力小売り自由化
			3	三菱自動車工業、ダイムラークライスラー社の資本受け入れ決定、傘下に
			3	北海道有珠山、23年ぶりに噴火
			4	介護保険制度スタート
			4	森喜朗内閣成立
			6	ナスタック・ジャパン取引開始
			7	金融庁発足
2002 平成14			7	三菱自動車工業がリコールにつながる欠陥情報の無届を認める
			7	九州・沖縄サミット開催
			8	日銀、ゼロ金利政策解除
			10	白川英樹、ノーベル化学賞受賞
			12	BS（放送衛星）デジタル放送スタート
			＊	＊この年企業倒産負債総額、戦後最悪に
2003 平成15			3	日産自動車社長に仏ルノー社のカルロス・ゴーン就任
			3	大口需要家向け電力小売り自由化
			3	三菱自動車工業、ダイムラークライスラー社の資本受け入れ決定、傘下に
			3	北海道有珠山、23年ぶりに噴火
			4	介護保険制度スタート
			4	森喜朗内閣成立
			6	ナスタック・ジャパン取引開始
			7	金融庁発足
			7	三菱自動車工業がリコールにつながる欠陥情報の無届を認める
			7	九州・沖縄サミット開催
			8	日銀、ゼロ金利政策解除
			10	白川英樹、ノーベル化学賞受賞
			12	BS（放送衛星）デジタル放送スタート
			＊	＊この年企業倒産負債総額、戦後最悪に
2004 平成16			3	日産自動車社長に仏ルノー社のカルロス・ゴーン就任
			3	大口需要家向け電力小売り自由化
			3	三菱自動車工業、ダイムラークライスラー社の資本受け入れ決定、傘下に
			3	北海道有珠山、23年ぶりに噴火
			4	介護保険制度スタート
			4	森喜朗内閣成立
			6	ナスタック・ジャパン取引開始
			7	金融庁発足
			7	三菱自動車工業がリコールにつながる欠陥情報の無届を認める
			7	九州・沖縄サミット開催
			8	日銀、ゼロ金利政策解除
			10	白川英樹、ノーベル化学賞受賞
			12	BS（放送衛星）デジタル放送スタート
			＊	＊この年企業倒産負債総額、戦後最悪に
2005 平成17			3	日産自動車社長に仏ルノー社のカルロス・ゴーン就任
			3	大口需要家向け電力小売り自由化
			3	三菱自動車工業、ダイムラークライスラー社の資本受け入れ決定、傘下に
			3	北海道有珠山、23年ぶりに噴火
			4	介護保険制度スタート
			4	森喜朗内閣成立
			6	ナスタック・ジャパン取引開始
			7	金融庁発足
			7	三菱自動車工業がリコールにつながる欠陥情報の無届を認める
			7	九州・沖縄サミット開催
			8	日銀、ゼロ金利政策解除
			10	白川英樹、ノーベル化学賞受賞
			12	BS（放送衛星）デジタル放送スタート
			＊	＊この年企業倒産負債総額、戦後最悪に

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2002 平成14		4 YANA開所式	1	ヨーロッパ12カ国で単一通貨ユーロの流通始まる
		4 CYCをヨロズオートモーティブテネシー（YAT）に変更	1	アメリカの新車販売、日本車シェアが過去最高の26%に。10年ぶりに更新
		4 YTCが米GM社からWorld Wide Supplier Of The Yearを受賞	1	米フォード社、北米5工場を閉鎖へ
		5 クボタから拡販の感謝状を受賞	2	環境省、ディーゼル対象の自動車NOx・PM法の政令・国土交通省令発表
		5 日産車体から開発優良賞を受賞	5	日産自動車が3年間の「日産180」計画を発表
		5 クボタから事業部長賞（優秀協力会社）を受賞	5	日韓共催サッカーWCを開催
		6 YMEXがISO14001の認証取得	5	いすゞ自動車、乗用車生産・販売から撤退
		6 TQM・YPWの研修会開催	7	自動車リサイクル法成立
		7 YTCがISO14001の認証取得	8	住民基本台帳ネットワーク稼働
		7 CTF第1回集合会開催	9	東証第一部日経平均株価9,000円割れ、戦後の最安値
		11 ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド（YEST）を設立	10	小柴昌俊、ノーベル物理学賞受賞
		12 三菱自動車工業と取引開始	10	田中耕一、ノーベル化学賞受賞
			10	北朝鮮から拉致家族5名帰国
			＊	＊この年倒産件数多数、失業率急上昇
2003 平成15		1 YMEX、創立10周年記念式典開催	1	完全失業率5.5%台と過去最悪に
		1 YE、新厚生棟完成	1	本田技研工業、中国合併で新型アコードの生産開始
		4 生産手配書、図面の電子手配システム化（ペーパーレス化）	3	東証日経平均株価、バブル後最安値7,807円39銭
		4 小山工場、YPW 活動の進化に向けた決意表明	3	米・英軍がイラク攻撃を開始（4月14日、イラク全土を掌握）
		5 YAM操業開始、グラントオープニング式典開催	4	日本郵政公社発足
		5 庄内ヨロズ、アイシン東北とのQC交流会参加	5	個人情報保護関連5法成立
		7 志藤昭彦社長、（社）日本自動車部品工業会副会長に就任	6	日産自動車と東風自動車が合併会社「東風汽车有限公司」を設立
		7 日翔会の総会にて2003年度総合賞を受賞	6	日産自動車とスズキが日産CARWINGをスズキに提供・販売することで合意
		9 中津工場をヨロズ大分（YO）として設立	7	本田技研工業と東風汽車で「東風本田汽車（武漢）有限公司」を設立
		9 YTC、本田技研工業向けCR-V車のTrailing Armの現調化	8	アメリカ東部の大停電で生産設備・操業拠点の一部が停止
		10 YO営業開始	9	ブリヂストン栃木工場で火災事故発生
		10 第37回東京モーターショー出展（幕張メッセ）	9	トヨタ自動車と日野自動車が小型トラックで世界初のハイブリッド車を共同開発すると発表
		11 广州萬宝井汽車部件有限公司（YBM）設立（現・G-YBM）	12	関東・中京・近畿3大都市圏の一部で地上波デジタル放送開始
		11 日産優秀企業賞の総合賞を日産自動車から受賞	12	空自先遣隊に派遣命令（イラクへ）
		11 献血推進功労賞受賞		
2004 平成16		12 当社、日立製作所、日立ハイシステム21による情報システム部のアウトソーシング契約調印		
		12 小山工場、自家発電装置発電開始		
		12 本田技研工業から本田技研工業品質優良賞を受賞		
2005 平成17		1 庄内ヨロズ、自家発電装置稼働	2	陸上自衛隊本隊、イラク・サマウ入り
		3 タワーオートモーティブ社保有の当社株式を全取得	3	三菱ふそう、大型車のタイヤ脱落問題で設計上の欠陥を認める
		3 小山工場を株式会社ヨロズ栃木（YT）として設立	3	メキシコとFTAで合意（経済連携協定の合意）
		4 ヨロズグローバルヘッドオフィス（YGHO）発足	3	九州新幹線開業（新八代～鹿児島中央間）
		4 YO、「ゼロエミッション達成」を宣言	4	資本金1億円以上の企業対象に外形標準課税導入
		4 中国・広州市花都区汽車城内、YBM 工場建設用地で起工式開催	4	本田技研工業が世界初の四輪駆動力自在制御システム開発を発表
		5 日産車体から品質優良賞を受賞	4	WTO（世界貿易機関）年次報告で中国が世界第3位の輸入国に
		5 YMEX、ISO/TS16949：2002を取得	5	日産自動車が中国東風汽車（広州）の新乗用車生産工場の操業を開始
		8 SY、総合事務所完成	6	三菱自動車工業で乗用車ででも「欠陥隠し」が発覚
		9 YE、2004年度鶴岡地区産業安全衛生大会で、労働基準協会より表彰状授与	6	年金制度改革関連法成立
		9 SY労働組合の別企業分会であるヨロズエンジニアリング分会の労組化	6	日産自動車 でトヨタ自動車から技術供与を受けたハイブリッド乗用車を開発
		10 ダイハツ工業と取引開始	10	新潟県中越地震（死者41人）
			11	新札発行（1万円、5,000円、1,000円）
			11	米大統領選挙、ブッシュ大統領再選
			11	運転中の携帯電話使用に罰則を設ける改正道路交通法施行
2006 平成18			12	国産牛肉の個体識別番号表示スタート
			12	ダイハツ車体、大分中津工場本格操業
			12	国内で鳥インフルエンザの感染が公式に確認される
			12	スマトラ沖地震（死者30万人超）
			＊	＊この年消費者物価、5年連続下落、台風多発

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2006 平成18	1	「ヨロズホットライン」制度導入	2	神戸空港開港
	2	横浜地区、電気使用合理化優秀受賞	3	日銀、量的緩和政策解除
	3	YE、ISO9001：2000の認証取得	3	第1回WBC（野球）で日本優勝
	4	ワイジーエス事業協同組合設立	3	地価公示価格の全国平均変動率、16年ぶりに上昇
	5	内部監査室設置	5	新会社法施行
	5	日産車体から開発優良賞を受賞	5	2005年度に初めて自動車の海外生産台数が、国内生産台数を上回る
	5	YATがHonda Quality And Delivery Performance Awardを受賞	6	村上ファンド事件
	6	ダイハツ工業から品質改良賞を受賞	6	イラク・サマワの陸上自衛隊撤退決定
	6	新中期経営計画「新ヨロズサクセスプラン」発表	7	日銀、ゼロ金利政策解除
	6	YI、ISO14001の認証取得	7	日産自動車、世界生産累計1億台に
	7	YMEXが北米日産会社から3賞を受賞	8	飲酒運転の悲惨な事故が多発し厳罰化の動き
	8	日立AP7000コンピュータ導入	9	秋篠宮妃、悠仁親王ご誕生
	8	YTC創立10周年記念式典	9	3大都市圏の地価16年ぶりに上昇
	9	初代社長志藤六郎死去、10.2社葬(横浜・大本山總持寺)	9	安倍晋三内閣成立
	11	YANA、ISO/TS16949：2002の認証取得	10	日本の総人口、戦後初めて前年割れ
	11	YTC、ISO/TS16949：2002の認証取得	11	日本とインドネシア、EPAで大筋合意
2007 平成19	12	グローバルQC改善事例発表会（第1回）	12	改正教育基本法成立
	12	YBM、ISO/TS16949：2002の認証取得	12	携帯電話の加入台数が12月末で9,493万台に
	2	本田技研工業から本田品質優良感謝賞を受賞	1	防衛省発足(庁から省へ昇格)
	3	YI、「ゼロエミッション達成」を宣言	2	世界同時株安、27日の上海市場の急落が波及
	4	YAT創立20周年記念式典	3	タクシー値上げ、初乗りを60円引き上げ690円に
	7	YMEXが日産自動車からNissanSupplier Quality Awardを受賞	5	ガソリンの小売価格、全国的に値上がりへ
	8	YTCの株式の一部をワイテックに譲渡することを決定	5	トヨタ自動車、世界一の利益会社に
	9	初代社長志藤六郎を偲ぶ会開催（横浜ベイシェラトンホテル）	5	自動車NOx・PM法改正、翌年1月1日より施行。大気の汚染が特に著しい地区の対策強化が目的
	10	第40回東京モーターショー出展(幕張メッセ)	5	国民投票法成立
	10	YBM、ISO14001の認証取得	6	年金不明問題発生
	11	横浜市から「分別三つ星事業所」の認定	6	ダイムラククライスラー社分離、フォード社切り売り
	12	グローバルQC改善事例発表会（第2回）	6	社会保険庁改革関連法・公務員制度改革関連法成立
			6	中型免許新設。車両総重量5トン以上11トン未満、最大積載量3トン以上6.5トン未満、または乗車定員11人以上30人未満
			9	福田康夫内閣成立
			10	郵便事業が民営・分社化、日本郵政グループ発足
			11	原油高に起因する灯油、ガソリンなどの値上げラッシュ
			12	米政府、サブプライム問題で金利水準凍結を発表
2008 平成20	1	YMEX、ホンダメキシコ社（HDM）からExcellence in Developmentを受賞	1	自動車NOx・PM法の一部を改正する法律施行
	2	YANA、スバルインディアナオートモーティブ社（SIA）から2007年品質・納入賞を受賞	1	自動車NOx・PM法適合車ステッカー制度施行
	2	（社）日本経済団体連合会に加盟	1	中国製冷凍ギョーザに殺虫剤成分混入が明らかに
	3	YANA、本田技研工業から2007年度納入賞を受賞	2	ゆとり教育転換へ
	3	第三者割当による自己株式処分	2	南房総沖でイージス艦が漁船と衝突
	4	創立60周年記念式典	4	後期高齢者医療制度が開始
	4	YMEXはRenault Argentina、Colombia向け Clioのサスペンション部品生産・納入開始	4	上場企業の内部統制報告制度導入
	5	ヨロズ技術発表会	4	上場企業の四半期財務報告の義務化
	6	YMEX、デンソーメキシコ社から「品質賞」、「デリバリー賞」を受賞	5	中国四川省で大規模地震（M8）
	6	志藤昭彦社長が会長に、佐藤和己常務が社長に就任	5	日産自動車新中期経営計画「日産GT2012」発表
	6	開発・生産技術本部から開発部へ組織変更	6	東シナ海ガス田の共同開発で日中が合意
	7	SY/YE、豊田鉄工・カローラルミオン部品 納入開始	7	北海道洞爺湖サミットが開催
	10	YAT、北米中計でYANA休止発表	8	第29回オリンピック北京大会開催
	12	YAM操業休止、YATへ生産集約	9	米投資銀行リーマン・ブラザーズが破綻し世界同時株安に
	12	YT、工場屋根大規模修理	9	麻生太郎氏、自民党総裁選で圧勝し、麻生内閣が発足
	12	第3回グローバルQC大会開催（2006年、第1回大会、場所：横浜本社）	11	パナソニック、三洋電機を子会社化
2009 平成21	—	財務報告に係る内部統制監査（J-SOX監査）開始	11	世界的な金融危機の影響から、国内自動車メーカー各社が減産計画。非正規社員の削減を発表
	1	YTC、SIAM KUBOTAへの納入開始	11	静岡、山梨両県で富士山ナンパーの交付始まる
	2	YT、日野自動車と取引開始	12	本田技研工業、F1を撤退
	3	WS-J会議開催（毎週水曜日と土曜日開催：社長、役員メンバー）	12	プッシュ米大統領、GM社とクライスラー社に約174億ドルの金融融資
	4	米GM社破綻（6月1日）に備えて、米国ヨロズが支援プログラムに参加	12	日銀、政策金利を0.3%から0.1%に引き下げ
	4	一般経費大幅削減に伴う、残業の制限と出張削減		
	5	YI、休業実施 2011年度まで上期3〜4か月/毎年		
	6	J-SOX内部統制報告書を開示開始		
	6	定款一部変更（株券・株主名簿に関する文言削除等）買取防衛策対応方針承認の件		
	7	中期経営計画新聞記事（5か年中計、2014年度業績目標）		
			1	大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条により、ディーゼルトラック・バスの流入車NOx・PM規制開始
			1	08年の新車販売台数が34年ぶりの低水準に
			1	バラク・オバマ氏が第44代大統領に就任。米史上初のアフリカ系
			3	損害保険ジャパンと日本興亜損害保険が経営統合に基本合意
			3	ルノー・日産アライアンス締結10周年
			4	3年間限定で環境対応車を対象とする「エコカー減税」スタート
			4	北朝鮮、6者協議離脱表明
			4	新型インフルエンザが拡大。WHOが警戒レベルをフェーズ5に引き上げ
			4	米自動車大手クライスラー社が経営破綻
			5	入江陵介、競泳男子200m背泳ぎで世界新記録
			5	省エネ家電のエコポイント制度の適用開始

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2009 平成21	10	YT、日産リーフ/ジューク向けリアビームでフルカルル工法が初採用	6	改正事業法が施行
	10	YANA、操業休止、YATへ集約	6	米自動車最大手ゼネラルモーターズ(GM)社が経営破綻
	11	ISO14001国内ヨロズグループ統一認証取得	6	全盲のピアニスト辻井伸行さんが米バンクライバーン国際ピアノコンクールで日本人初優勝
	12	广汽本田、東風本田発動機より優秀サプライヤー賞を受賞	6	期間限定の「エコカー補助金」スタート
	12	第4回グローバルQC大会	6	トヨタ自動車、副社長の豊田章男氏が社長に就任
	12	YAM、閉鎖	7	国際宇宙ステーションの日本実験棟きぼうが完成
			8	日産自動車、新グローバル本社屋が横浜市に完成
			8	全国初の裁判員裁判が東京地裁で開廷
			8	世界陸上100mでウサインボルトが9秒58の世界新記録
			9	消費者庁が発足
			9	特別国会で第93代首相に鳩山代表が選出され鳩山内閣が発足
			10	オバマ米大統領にノーベル平和賞
			10	第41回東京モーターショーは会期、会場ともに縮小(海外メーカーの出展は独アルピナ、英ロータス、韓国ヒュンダイのみ)
			11	トヨタ自動車、F1からの撤退を発表
			11	大学生の就職内定率が就職氷河期並みの62.5%
			11	14年4カ月ぶりに1ドル＝84円台の円高に
			12	スズキ、独VW社と資本業務提携
2010 平成22	1	TS16949 本社定期審査受審（認証登録）	1	日本航空、会社更生法の適用を申請
	4	YO、インフィニティQX80、日産セレナの部品を生産開始	2	第21回冬季オリンピック・バンクーバー大会開催（～2.28）
	4	G-YBM、鄭州日産との取引開始	3	日産自動車、タイで新型グローバルコンパクトカー「マーチ」を生産開始
	5	本社実験・試作機能を栃木へ移転しYTと一体活動開始	3	ルノー・日産自動車、アライアンスとして手掛けた初の工場となるインド　チェンナイ工場（RNAIPL）の竣工式を挙行
	5	FY2009決算発表	4	ルノー・日産自動車、独ダイムラー社と資本業務提携で合意
	5	アイシン東北より初の部品受注が決定。カローラ・ドア部品の受注	4	山崎直子さんが米スペースシャトルで宇宙に出発し国際宇宙ステーションに滞在
	6	定款一部変更(取締役13名へ変更)	4	米メキシコ湾沖で原油流出事故
	6	SY、創立40周年	4	経産省「次世代自動車戦略2010」を公表
	6	ヨロズJBM オートモーティブタミルナドゥ社（YJAT）設立に伴い、インドのサプライヤー調査を現地で実施（～7月）	6	鳩山由紀夫首相、辞任。菅直人氏が第94代首相に就任し菅内閣が発足
	7	武漢萬宝井汽車部件有限公司（W-YBM）設立	7	参院選挙で民主党が敗北。与党が過半数割れに
	8	ヨロズアメリカ社（YA）、事務所を2Fから現場に移転、休業実施	9	尖閣諸島で中国の漁船が海上保安庁の巡視船と衝突
	11	YO、日産エルグランド、日産クレスト部品の生産開始	9	中国、事実上日本へのレアアース輸出禁止
	11	YE、関東自動車工業（現 TMEJ）、ラクティス部品納入開始	9	トヨタ自動車、ダイハツ工業と軽自動車のOEM 供給合意を発表
	11	志藤会長の遺言「庄内で日産のサスペンション部品が受注に至った経緯について」展開	10	日銀、ゼロ金利政策を復活
	11	YTC、TCC（トヨタグループ）のQA改善活動（Division3）で優勝	10	日産自動車、追浜工場で電気自動車（EV）「日産リーフ」の生産開始
	12	本田技研工業N－BOX用サスペンション新規受注、780級ハイテンアームの採用	12	東北新幹線が全線開業
2011 平成23	12	第5回グローバルQC大会	12	日産自動車が世界に先駆けて米国で電気自動車「日産リーフ」を発表
	12	YJAT 設立	12	日産自動車と三菱自動車工業が事業協力関係強化を発表。軽自動車を共同開発
	—	YMEX、ホンダメキシコ品質・納期優秀賞受賞		
	—	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	—	YAT、三菱自動車工業品質賞受賞		
	1	TS16949 本社更新審査受審（認証登録）	1	中国のGDPが日本を抜き世界2位に
	1	開発部・技術部・品質保証部他、横浜本社からYTへ移転	1	H2Bロケットの打ち上げに成功。国際宇宙ステーション（ISS）への無人補給機こうのとりの（HTV）を軌道に投入
	1	ヨロズ、クボタ機械事業本部 事業本部長賞受賞	1	世界新車販売台数、トヨタ自動車が3年連続の首位
	1	YI、収益向上のためエーケートランスポート（ATS）に工場の一部を賃借、オリエントalandより制作依頼（遊具の安全バー）180セット	3	東日本大震災が発生、福島第一原発の半径20km圏内を警戒区域に。圏外の5市町村を計画的避難区域に指定
	2	YJAT、稼働開始 ルノー日産向けマイクラ、サニーのサスペンション部品生産開始	5	パキスタン北部でオサマビンラディン氏を米軍などが殺害
	3	東日本大震災による計画停電への対応（～4月）	6	日産自動車と三菱自動車工業、軽自動車事業に関わる合弁会社（NMKV）を設立
	4	YT、豊田鉄工と取引開始	6	オバマ米大統領、アフガニスタンからの米軍の一部撤退を表明
	5	G-YBM、广汽豊田との取引開始	6	小笠原諸島の世界自然遺産登録が決定
	9	W-YBM、竣工式	6	平泉の世界文化遺産登録決定
	10	インドネシア生産拠点（YAI）の設立決定	6	日産自動車新中期経営計画「日産パワ－88」発表
	11	W-YBM、東風日産 C-PF取引開始、鄭州日産 NV200取引開始	7	伊フィアット社が米クライスラー社の経営権取得
	11	横浜地区 横浜市より3R活動優良事業所認定	7	中国の高速鉄道で列車衝突事故。一部車両が高架橋から転落
	11	YO、マツダCX-5生産開始	8	被災3県を除き地上デジタル放送に完全移行
	11	YI、Nシリーズ量産開始	8	日産自動車九州株式会社の設立
	11	YO、工場区画賃貸	8	サッカー女子W杯ドイツ大会で優勝したなでしこジャパンに国民栄誉賞受賞が決定
	12	第42回東京モーターショー出展（東京ビッグサイト）	8	民主党の野田佳彦氏が新首相に選出
	12	本田技研工業「N-BOX」RR AXLE BEAMとFR LWR ARMの生産開始、世界初テラードプランク工法採用	10	タイの大洪水の影響で4日から日系大手企業（本田技研工業・トヨタ自動車・三菱自動車工業等）で操業停止などの影響が出始める
	12	第6回グローバルQC大会	10	日系企業100社が入居するタイのナフナコン工業団地が洪水で浸水
	—	W-YBM/YJAT、J-SOX 内部統制構築開始	10	経済産業省・国土交通省が乗用車の新燃費基準を発表。2020年度までに1台当たりの平均燃費をガソリン1リットルにつき20.3kmとする
	—	関東自動車工業 組立設備初受注	10	政府と日銀が8兆円規模の為替介入を実施。為替相場1ドル＝75円32銭の戦後最高値を更新
			12	横浜DeNAベイスターズ誕生
			12	北朝鮮の金正日総書記が死亡、後継が金正恩氏と発表

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2011 平成23			12	新「エコカー補助金」スタート
2012 平成24	1	TS16949 定期審査受審(認証登録)	1	東京電力、企業向け電気料金を32年ぶりに値上げ発表、実施は4月
	1	YT、クボタ機械事業本部長賞受賞	1	米GM社が2011（平成23）年の世界新車販売台数を発表。4年ぶりに世界第1位となる。
	1	ヨロズオート モーティブインドネシア社 (YAI) 設立。 PT.YOROZU AUTOMOTIVE INDONESIA BKPM 投資許可取得、ジャカルタ事務所にて業務開始	1	トヨタ自動車が家庭用電源で充電可能なプラグインハイブリッド車「プリウスPHV」を発売
	2	VW向け初受注 スプラッシュガード生産	2	日産自動車、新世代車両設計技術である「日産CMF（コモン・モジュール・ファミリー）」導入を発表
	2	ワイ・オグラオートモーティブタイランド社 (Y-OAT) 設立決定	3	国内初の格安航空会社 (LCC) のピーチ・アビエーションが就航
	2	W-YBM、東風日産とD-PF取引開始、東風本田とCR-V取引開始	3	ギリシャ政府が債務不履行に
			4	36年ぶりに国内自然界でトキのひなが誕生
	2	メキシコ第2拠点 ヨロズオートモーティブグアナファトデメヒコ社 (YAGM) 設立決定	5	東京スカイツリーが開業
	3	ヨロズ、本田技研工業の開発賞受賞 N シリーズテラードビーム	5	日野自動車、茨城県 古河工場が操業開始
	3	SY/YE、アイシン東北にカラーラ・ドア部品、FTSにカラーラ部品納入開始	7	国土交通省、自動車「ご当地ナンバー」を拡大する方針を決定。2014（平成26）年度からの交付を目指す
	3	YTC、SUZUKI MOTOR THILAND への納入開始	7	東京電力、家庭向け電力料金を32年ぶりに値上げ
	3	YAGM 設立 日産メキシコへの部品納入開始	7	第30回オリンピック・ロンドン大会開催
	3	G-YBM、广汽豊田発動機より原価協力賞を受賞	7	トヨタ自動車東日本誕生（関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北の3社が結集）
	3	本田技研工業 CR-V'06MY リコール対応	8	独VW 社がボルシェ社の持株比率を100%に引上げて完全子会社化
	4	タイ第3拠点 Y-OAT 設立	8	消費税関連法案が成立
	4	サスペンションアームのカラーレス/フェイルセーフ構造への取組み開始	10	野田第三改造内閣が発足
	4	YO、日車九州 NV350 キャラバン生産開始	10	米軍、オスプレイ12機を配備
	4	ISO14001 更新審査	10	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞受賞（12月受賞式出席）
	4	YI、クボタ 取引開始	11	中国で習近平氏が総書記に就任し、習近平体制が発足
	4	YI、新人採用を開始（以降人員構成是正のため毎年採用、2012年度4名）	12	特別国会で自民党の安倍晋三総裁が首相に選出され、安倍内閣が発足
	5	YAI、地鎮祭開催、工場建設着工開始		
	6	ルノープロジェクト インドでダスターの生産開始		
	6	定款一部変更（取締役21名以内へ変更）。買収防衛策継続		
	6	YAI 設立に伴いインドネシアのサプライヤー調査を現地で実施		
	6	SY/YE、豊田鉄工にトヨタ FJ クルーザー部品納入開始		
	8	YO、マツダ・アテンザ生産開始		
	8	本田技研工業 アメ리카でアコード FR LWR ARM RR UPR ARM 生産開始		
	8	YI、近隣小中学校に朝日学生新聞を寄贈。以後毎年実施		
	9	ブラジル生産拠点 ヨロズオートモーティブアドブラジル社 (YAB) 設立		
	9	日産自動車工順再編（日産自動車とヨロズの生産分担大幅見直し）によるライン移管、YT の売上減少		
	11	YJAT、開所式開催		
	11	YEST 創立10周年		
	11	YO、日産自動車ノート生産開始		
	12	第7回グローバルQC大会		
		－ YMEX、ホンダメキシコ品質賞受賞		
		－ YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
		－ YAT、HMMU 日野品質賞／納入賞受賞		
		－ YAT、北米 日産品質賞ファイナリスト		
		－ YA、デトロイトオフィス閉鎖、テネシーへ移転		
2013 平成25	1	TS16949 本社定期審査受審(認証登録)	1	アルジェリアでプラントメーカー日揮の日本人を含む社員が武装勢力に襲われ日本人10人が死亡
	1	クボタ機械事業本部長賞受賞(銅賞)	3	日銀総裁に黒田東彦氏が就任
	1	YAB 設立に伴い、ブラジルのサプライヤー調査を現地で実施	4	米ボストンマラソンで爆弾テロ
	3	エクストレイル全自動ライン導入	4	国内乗用車主要8社、2012（平成24）年度の国内生産台数の合計を発表。900万台の万台を回復
	3	YAI、ジャカルタ事務所の閉鎖及びカラワン工場内事務所にて業務開始	5	日産自動車、三菱自動車工業との合併会社である NMMKV、新型軽自動車のオフライン式を実施
	3	SY/YE、KYB トロンデュール スカイライン部品納入開始	6	国土交通省、全国15の地方自治体や企業などを対象に、軽自動車より小さい超小型車の公道走行を認めると発表
	4	志藤会長 旭日小綬章受章	6	日本ハムで投打二刀流に挑む大谷翔平選手が中日戦に先発
	4	SY/YE、トヨタ東日本学園へ1名入学（一期生）	6	富士山が世界文化遺産に登録
	4	Renault KWID 用サスペンションを初受注	6	国内二輪車メーカー4社が7月から順次、製品カタログ等に「WMTC モード値」の燃費値を記載することを決定
	4	Y-OAT 操業開始	6	ダイハツ工業、副社長の三井正則氏が社長に就任
	6	YMEX、英国日産向けノート サスペンション部品生産・納入開始	7	国会事故調査委員会が福島第一原発事故を人災と認定
	7	ヨロズ、日産グローバル品質賞受賞	7	本田技研工業、寄居完成車工場稼動開始
	7	YT、本田技研工業 FIT/VEZEL 向け部品にサーボトーチ使用開始	7	ソウル高裁、新日鉄住金（現・日本製鉄）に対し元徴用工の賠償命令
	7	YT、本田技研工業 フィット部品納入開始	7	米GM 社が本社を置く米デトロイト市が連邦破産法第9条の適用を申請して財政破綻
	8	本田技研工業 中国でアコード FR SUB FRAME、FR LWR ARM 生産開始	7	参院選で自公が圧勝し3年ぶりに過半数を回復
	8	機能軸とYT 合同で夏祭り開催		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2013 平成25	8	YO、日産横浜工場より移管したエクストレイル溶接ラインでの生産を開始	8	スズキ、日産自動車と三菱自動車工業への軽商用車のOEM 供給に基本合意
	8	G-YBM、東風日産より「NQA 賞」受賞	9	2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定
	8	YAI、PT.NISSAN MOTOR INDONESIA 社と取引開始	10	台風26号による記録的大雨
	9	YAI、PT. ホンダ PROSPECT MOTOR 社、PT.SUZUKI INDOMOBIL MOTOR 社と取引開始	11	自動車運転死傷行為処罰法が成立。危険運転致死傷罪の適用対象を広げて酒や薬物などの影響で交通事故を起こした場合の罰則を強化
	9	YAT、Rogue の米国日産生産開始による納入開始	11	欧米など6カ国はイランが核開発縮小をする見返りに経済制裁の一部緩和で合意
	11	第43回東京モーターショー出展(東京ビッグサイト)	12	米国財務省が保有するGM 社の株式をすべて売却し、GM 社の国有化終了
	11	トヨタ東日本自動車向け車体機能部品を初受注		
	11	庄内第2工業閉鎖		
	11	YMEX、メキシコ アグアスカリエンテス第二工場稼働に伴う、組立ライン増強完了		
	12	YI、分煙開始(喫煙室)屋外設置		
	12	YJAT、ISO14001 認証取得		
	12	G-YBM、東風日産より「最優秀協力賞」受賞		
	12	第8回グローバルQC大会		
		－ YAI、Y-OAT J-SOX 内部統制構築開始		
		－ GLT (Global Launching Team) 発足、YAI、Y-OAT、YAGM の立上げを支援		
		－ 3D プリンター活用による小物検査治具の樹脂化開始		
		－ 中国 第3拠点FS (武漢、広州、既存2拠点の増強決定)		
2014 平成26	1	TS16949 国内全拠点合同更新審査受審(認証登録)	1	伊フィアット社が傘下のクライスラー社を完全子会社化すると発表。世界第7位の自動車メーカーとなる
	1	YMEX、VW GOLF A 7 向けサスペンション部品生産・納入開始	1	軽自動車の国内新車販売数が2年連続過去最高、比率は4割に
	1	本田技研工業 メキシコでFIT FR SUB FRAME、FR LWR ARM、RR BEAM 生産開始	2	第22回冬季オリンピック・ソチ大会、フィギアスケート男子で羽生結弦選手が金メダル
	2	トヨタ自動車IMV 用部品初受注	2	本田技研工業、メキシコセラヤ工場稼動開始
	2	YAI、開所式開催	3	ロシア、クリミアを併合
	2	YT、大雪の為、プレス工場南側屋根の梁が変形	4	消費税が5%から8%に引き上げ
	3	国内電子メールシステムをクラウドへ移行 (Office365)	4	小保方晴子氏、STAP 細胞論文で捏造があったとの認定を受けて記者会見
	3	W-YBM、日産中国より「物流改善賞」受賞	5	国内自動車の主要メーカー8社と日本自動車研究所が共同で新エンジンを開発する「AICE」（自動車用内燃機関技術研究組合）を設立
	3	ヨロズ、マツダ納入品質改善賞受賞	6	男子ゴルフの松山英樹が米ツアーで初優勝
	3	YMEX、スペイン日産向け NV 200 電気自動車サスペンション部品生産・納入開始	7	安倍首相、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定
	3	SY、第二工場での生産終了	7	錦織圭選手、日本人として初の全米オープンテニス決勝に進出
	4	環境業務推進部署がCSR 推進室から内部監査室に変更	9	長野・岐阜県境の御嶽山が噴火
	4	中国、インドに開発駐在員を配員	10	青色LED の発明で赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏がノーベル物理学賞受賞
	4	ヨロズ、いすゞ自動車2013年度品質達成賞受賞	10	世界保健機構 (WHO) がエボラ出血熱の感染者が1万人超と発表
	4	ヨロズ、マツダ納入不良ゼロ努力賞受賞	12	トヨタ自動車、量産型として世界初のセダンタイプの新型燃料電池自動車「MIRAI」発売
	5	ヨロズ、日産車体品質貢献賞受賞		
	5	YO、日産横浜工場より移管したセレナ溶接ラインでの生産を開始		
	5	YT、AGV を導入し、無人運搬開始		
	5	QC マスタートレーナー養成講座(初級、中級、認定)開催		
	5	YOROZU グローバルテクニカルセンター (YGTC) 開設 屋上に太陽光発電パネルを設置		
	5	ルノー向けビジネス拡大、部品受注		
	6	ISO14001 認証取得		
	6	YI、トヨタ車のミライ タンクフレーム、バンド生産開始		
	6	YI、ホンダ車のN-BOX スラッシュ生産開始		
	6	YAT、日野USA より日野優秀賞受賞		
	7	ヨロズ、日産グローバル品質賞受賞		
	7	ヨロズ、グローバルテクニカルセンター設立		
	7	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	8	Y-OAT、日野自動車品質改善賞受賞		
	9	富士重工業向けサスペンションアームを初受注		
	10	トヨタ自動車 ミライ生産開始。車体部品を受注		
	10	YAT、Murano の米国日産生産開始による納入開始		
	10	YAB、Nissan・March/Versa 生産開始		
	10	YANA、建屋のリース開始		
	11	G-YBM、創立10周年		
	11	Y-OAT、開所式		
	11	YO、マツダより「納入12か月不良ゼロ」努力賞受賞		
	12	G-YBM、東風日産より「優秀サプライヤー賞」受賞		
	12	第9回グローバルQC大会、新設YGTC で開催		
		－ YAGM、YAB、J-SOX 内部統制構築開始		
		－ YEST、五面加工機2台、立機型マシニング各1台導入		
		－ 志藤会長遺言 COMPANY VIDEO および日産自動車のサスペンション受注経緯 資料展開		
2015 平成27	1	TS16949 国内全拠点合同定期審査受審(認証登録)	1	箱根駅伝で青山学院大学が初の総合優勝
	1	W-YBM、ダイムラーPA 監査受審		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2015 平成27	1	SY/YE、TBKにバックプレートM/C加工納入開始	1	日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会が、2014（平成26）年の国内新車販売台数に占める軽自動車の割合が初めて4割を突破し、40.8%になったと発表
	1	本田技研工業 メキシコでVEZEL（HR-V）のFR SUB、FR LWR ARM、RR BEAM生産開始	1	欧州中央銀行（ECB）が初の量的緩和を決定
	1	G-YBM、第三期拡張工事完了	1	ルノー・日産自動車アライアンスとアフトワズの購買を統合した、アフトワズ・ルノー・ニッサン パーチェシングオーガニゼーション（ARNPO）を設立
	3	YGTC、実験エリア拡張	2	簡易国勢調査の速報値で、日本の総人口が初の減少
	3	株主優待制度の拡充	3	テニスの錦織圭選手、自己最高の世界ランキング4位に
	3	新中期経営計画発表	3	北陸新幹線の長野―金沢間が開業
	3	ヨロズ、トヨタ自動車東日本 平成26年度品質賞受賞	3	日中韓外相会談が3年ぶりに開催
	3	W-YBM、日産中国より「物流改善賞」受賞	4	天皇・皇后両陛下、パラオ訪問
	3	YO、ヨロズ、マツダ納入品質改善賞受賞	4	軽自動車の自動車税増徴
	4	ISO14001更新審査	5	ユネスコ、軍艦島など「明治日本の産業革命遺産」23施設を世界文化遺産へ登録を勧告
	4	YPW 統括部を新設	5	トヨタ自動車とマツダ、業務提携に向け基本合意
	4	試作課をYTの組織にし、新車開発の充実（生技性織り込み）をはかる	5	日産自動車、米テネシー州のスマーナ工場で新型「アルティマ」の生産開始
	4	YABでルノー向けKWIDのサスペンション部品を初受注	6	いすゞ自動車、副社長片山正則氏が代表取締役社長に就任。取締役社長細井行氏は取締役会長に就任
	4	SY/YE、アイシン東北 アクア輸出車部品納入開始	6	選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立
	4	SY/YE、TBK 平成26年度業務改善優良賞受賞	6	本田技研工業、八郷隆弘氏が代表取締役社長に就任
	5	ルノー向けにパイプビームを初採用	6	スズキ、鈴木修氏が代表取締役会長に、副社長社長補佐兼海外営業担当、鈴木俊宏氏が代表取締役社長に就任
	5	SY/YE、日野自動車へ大中型トラック部品納入開始	7	米とキューバが54年ぶりに国交を回復
	6	W-YBM、第二期拡張工事完了	7	明治日本の産業革命遺産が世界遺産に
	6	YAB開所式	8	スズキ、独VW社と資本・業務提携を解消発表
	6	YI、名古屋市一斉クリーンキャンペーン参加開始（以降毎年参加）	9	独VW社の排気ガス規制偽装問題発覚
	6	グローバルYPWの庄内地区開催	9	米フォード社がマツダの全株式を売却し資本提携関係を解消
	6	定款一部変更 買収防衛策継続	9	EPAからの通知によって独VW社の排気ガス試験不正が判明
	6	監査等委員会設置会社に移行	10	中国、一人っ子政策を廃止
	6	トヨタ自動車東日本 シエンタ（福祉車）機構部品（テールゲート）の生産開始	11	韓ソウルで日韓首脳会談
	7	ヨロズ、日産グローバル品質賞受賞	11	仏パリで同時多発テロ
	7	ヨロズ、日産リージョナル品質賞受賞	12	COP21でパリ協定が採択
	7	SY/YE、アイシン東北 シエンタ部品納入開始	12	米、ゼロ金利解除決定。9年半ぶりに政策金利引き上げ
	7	スズキ、タイでシアズ FR LWR ARMの生産開始		
	7	YI、名古屋市より「エコ事業所」認定		
	8	YI、創立10周年 記念式典、植樹（式）挙行。はなの木		
	8	YE、トヨタ自動車元町工場向け金型受注		
	8	W-YBM、振り子搬送置導入		
	8	ルノープロジェクト ブラジルでダスターオロチを生産開始		
	9	SY/YE、小島プレス工業 シエンタ部品納入開始		
	9	YAGM、ISO14001認証取得		
	10	基幹LNシステム稼働開始（YC/YT/YO/YS）		
	10	超ハイテン材採用 2割以上の軽量化技術開発		
	10	第44回東京モーターショー出展（東京ビッグサイト）		
	10	ヨロズオートモーティブアラバマ社（YAA）設立		
	10	SY/YE、アイシン東北からC-HR ドア部品の受注決定		
	10	米第2生産拠点FS（役員会でYAA設立決定）		
	10	YT、日野自動車古河工場向けレンジャー部品初受注		
	10	YO、中津市消防団協力事業所に認定		
	11	独ダイムラー社から初受注		
	11	メキシコに開発駐在員を配員		
	11	YI、港区民まつり協賛を開始（以降毎年開催）		
	12	第10回グローバルQC大会		
	12	YTC、TCC（トヨタグループ）のTPS活動（Advance）で優勝		
	－	全社リスク・コンプライアンス監査を本格的に開始		
	－	YAT、米国日野より品質賞、納入賞受賞		
	－	YMEX、北米日産リージョナル品質賞受賞		
	－	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	－	G-YBM、東風日産 中国リージョナル品質賞受賞		
	－	W-YBM、鄭州日産品質優秀サプライヤー賞受賞		
	－	G-YBM、本田技研工業品質優秀サプライヤー賞受賞		
	－	W-YBM、東風本田品質優秀サプライヤー賞受賞		
2016 平成28	1	TS16949 国内全拠点合同定期審査受審（認証登録）	1	米欧など6カ国、イランに対する制裁を解除
	1	G-YBM、广汽本田、東風本田発動機より優秀サプライヤー賞受賞	1	日銀、マイナス金利政策を導入
	1	基幹LNシステム稼働開始（YE）	3	オバマ米大統領、現職大統領として88年ぶりにキューバを訪問
	1	W-YBM、鄭州日産より優秀サプライヤー賞受賞	4	電力小売りの全面自由化がスタート
	1	YI、名古屋市より「優良工コ事業所」認定	4	熊本で震度7の地震
	1	W-YBM、東風ルノーとカジャール、コレオス車向けサスペンション部品の取引開始	4	三菱自動車工業が軽自動車4車種で燃費を良く見せる不正を行っていたことを公表
	1	クボタ調達本部長賞 銀賞受賞	4	COP21パリ協定に175カ国が署名
	1	ルノープロジェクト中国でカジャールの生産開始	5	2015年の合計特殊出生率が2年ぶりに上昇
	1	YAA、地鎮祭（2月建屋建築開始、9月仮事務所開設）	5	G7伊勢志摩サミットが開幕
			5	オバマ米大統領、広島を訪問
			5	スズキが国内販売車の燃費データを国が定める規定と異なる方法で測定していたことを発表

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2016 平成28	2	YOでマツダCX-9生産開始	6	安倍首相、消費税10％への引き上げ延期を表明
	3	ヨロズ、トヨタ自動車東日本 品質感謝状受領（2度目）	7	東京上野の国立西洋美術館本館がユネスコ世界文化遺産に
	3	ヨロズ、いすゞ自動車 2015年度品質達成賞受賞	8	トヨタ自動車がダイハツ工業を完全子会社化
	3	山形鶴岡高専と産学協同	8	第31回オリンピック・リオデジャネイロ大会開催（～8.21）
	4	YO、生産エリア・出荷場・事務所の一部に熊本地震にて被災したアイシン九州の設備等を4カ月間受入。設備移設設置、生産支援をヨロズグループで対応	8	大リーグマーリンズのイチロー選手が米MLB 通算3000安打達成
	5	過去最高売上高172,797百万円、過去最高営業利益10,015百万円で2015年度決算を発表	9	米フォード社が日本での事業から完全撤退し、約90年の歴史に幕を閉じる
	5	志藤会長 自動車部品工業会会長就任	10	三菱自動車工業、日産自動車が単独筆頭株主となり、ルノー・日産アライアンスの一員に加わる
	5	ヨロズ、日産車体 平成28年度品質貢献賞受賞	10	2016年の訪日外国人が初めて2000万人を超えたと観光庁が発表
	6	YO、日産アルマーダ生産開始	11	パリ協定が発効
	6	YTC、創立20周年	11	米大統領選で共和党のドナルド・トランプ氏が勝利
	6	YAGM、拡張工事完了、トヨタカローラ用部品受注		
	6	YE、第3期工場拡張工事開始		
	6	志藤健代表取締役社長就任		
	6	佐藤和己取締役副会長就任		
	6	YS、本店がYC本社内へ移転（横浜市鶴見区市場富士見町1番1号→港北区樽町3-7-60）		
	7	生産管理システム LN（BAAN）を全拠点に導入完了。全拠点で標準化されたシステムを使用する事によりグローバルに対応		
	7	YT、富士重工業からサスペンション部品初受注（インプレッサ部品）		
	7	YO、日産セレナC27をヨロズ初の組立自動化ラインで生産開始		
	7	YMEX、北米日産リージョナル品質賞受賞		
	7	ヨロズ、日産自動車グローバル品質賞受賞		
	8	日産自動車ノートの部品生産がYOから日産P工場内製化的のため追浜へ移管。ノート移管に伴い一部の設備/金型はYTへ移管		
	8	YI、ランドクルーザー70のクロスメンバー他5部品生産開始		
	8	YT、700/400トンタンデムラインにアイロボットを採用し、無人化生産開始		
	9	YAT 創立30周年		
	9	米国TMM実施		
	9	SY、ヨロズの100%子会社へ移行		
	10	SY、アイシン東北へC-HR ドア部品の納入開始		
	10	YO、日車九州増産に伴う3班3交代生産開始、2ライン目の組立自動化ライン生産開始（キャッシュカイ）		
	10	W-YBMがダイムラーVDA 監査合格正式受注決定		
	10	YAI、ISO14001認証取得		
	10	レクサス生産開始。バッテリーケース受注		
	11	トヨタ自動車元町工場向けレクサス用金型受注		
	11	YAT、インプレッサ向けLWR-ARM 納入開始（富士重工業から受注した初の足回り部品）		
	12	YMEX、Renault Le Mans向け マイクラ サスペンション部品生産・納入開始（期間限定応援生産）		
	12	スズキ、スイフト（4WD）生産開始。RR AXLEを受注		
	12	からくり改善コンクール開催（YPW）		
	12	YI、愛知県より「あいちCO2削減マニフェスト2020」宣言認定		
	12	第11回グローバルQC大会		
	－	品質非常事態宣言発令（品証部）		
	－	YMEX、日産自動車より品質賞受賞		
	－	YMEX、メキシコ日産 品質賞受賞		
	－	YAT、日野USA 品質優良賞受賞		
2017 平成29	1	TS16949 国内全拠点合同定期審査受審（認証登録）	1	EPAがフィアット・クライスラー・オートモービルズ社に対して排ガス不正の疑いを指摘し、大気浄化法違反を通知
	1	基幹LNシステム稼働開始（SY/YI）	1	メイ英首相、EUからの完全離脱を表明
	1	YAA、工場建屋での営業開始	1	共和党のドナルド・トランプ氏、米大統領に就任
	1	YAGM、拡張完了	2	トヨタ自動車とスズキ、業務提携に向けた覚書を締結
	1	IATF16949移行審査	2	消費喚起などを目的としたプレミアムフライデー開始
	2	YI、65歳以上の雇用を開始	3	自動車区分に「準中型自動車」が追加され、これに対応する免許として「準中型免許」および「準中型仮免許」が新設。車両総重量3.5トン以上7.5トン未満等の自動車を準中型車とする軽自動車に白ナンバーをつけることが可能に。東京オリンピックなどの国民的イベントに関連する特別仕様のナンバープレートからスタート。全国41地域の地方版図柄入りナンバープレートも2018（平成30）年10月ごろより公布開始
	2	YAB、本田技研工業 WR-V 生産開始	4	日産自動車、社長兼最高経営責任者に代表取締役 CCOの西川 廣氏が就任
	3	YAB、本田技研工業 CITY/FIT 生産開始	4	富士重工業が株式会社SUBARUへ社名変更
	3	ヨロズ、トヨタ自動車東日本 品質感謝状3年連続受領	4	トランプ米大統領、中国の習近平国家主席と初会談
	3	ヨロズ、いすゞ自動車2016年度品質達成賞受賞	6	トランプ米大統領、パリ協定からの離脱を表明
	3	YAT、収益改善活動のため、YPW 統括部は全員YATに駐在（～8月）		
	3	W-YBM、ダイムラーライン設置開始		
	4	ISO14001:2015年版への移行審査		
	4	W-YBM、独ダイムラー 社OTS品（製品設計検証品）初納入		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2017 平成29	4	YAT、本田技研工業 オデッセイ自動化ライン稼動開始・納入開始(米国で始めての自動化ラインによる生産の開始)	6	ダイハツ工業、トヨタ自動車専務役員の奥平総一郎氏が社長に就任
	4	Renault KWID用にカラーレスのフェイルセーフアームを初採用	6	タカタ、民事再生法の適用を申請
	4	YAB、本田技研工業より新車開発優秀賞受賞	6	日野自動車、トヨタ自動車常務役員の下義生氏が社長に就任
	4	YAB、NISSAN・KICKS生産開始	7	フランス政府が2040年までにガソリン車、ディーゼル車を販売禁止にする方針を発表。英国政府も、ガソリン車とディーゼル車の販売を2040年以降に禁止すると発表
	5	YAB、Renault・Duster/Captur生産開始	7	福岡県の宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録決定
	5	YAI、PT.FUJI SEAT INDONESIAと取引開始	8	トヨタ自動車とマツダ、業務資本提携を発表
	5	YE、拡張完了	11	安倍晋三氏が特別国会で第98代首相に選出され第4次安倍内閣が発足
	5	部品工業会の取引適正化の自主行動計画として、取引先への支払条件の見直しを実施	12	東京・上野動物園でジャイアントパンダのシャンシャンの一般公開が開始
	5	Y-OAT、ISO14001新規取得		
	5	普通配当11期連続増配を公表		
	5	ヨロズ、日産車体 開発貢献賞受賞		
	6	クボタより機械機器コミュニティー銀賞受賞		
	6	YO、プレス増強 第七期建屋拡張建設工事開始		
	6	ダイハツ工業向け軽自動車用サスペンションを初受注		
	6	YAB、Renault・KWID生産開始		
	6	品質ルール再徹底の通達(品証部)(品質コール・標準作業順守・異常処理ルールの徹底)		
	7	Smart Work Committee (通称スワーク) 立上げ		
	7	YMEX、拡張完了		
	7	YAI、PT.KUBOTA INDONESIAと取引開始		
	7	G-YBM、東風日産リージョナル品質賞受賞		
	7	YMEX、北米日産リージョナル品質賞受賞		
	7	YI、献血運動推進により厚生労働大臣より感謝状受領		
	8	G-YBM、東風日産よりNQA賞受賞		
	10	YO、ダイハツ工業品質活動優秀職場賞受賞		
	10	第45回東京モーターショー出展(東京ビッグサイト)		
	11	クボタより機械機器コミュニティー銅賞受賞		
	12	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	12	ストックオプション(新株予約権)の発行内容確定		
	12	第12回グローバルQC大会		
	-	YAB、ホンダブラジル新車開発優秀賞受賞		
2018 平成30	1	トヨタ自動車 河合副社長YEに来場し講演	1	仮想通貨交換業者コインチェックから580億円分の仮想通貨が流出
	1	YMEX、大型ブランキング機の1200BLを導入	2	第23回冬季オリンピック平昌大会開催
	1	YAGM、JICAプロジェクト参加(通年)	3	米国を除く環太平洋パートナーシップ(TPP)協定参加、11国が新協定TPP11に署名
	1	G-YBM 广汽本田 コスト優秀サプライヤー賞受賞(2017年度)	3	マツダとトヨタ自動車が米国合併新会社「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」を設立
	1	W-YBM、鄭州日産優秀サプライヤー賞受賞(2017年度)	4	北朝鮮・金正恩氏が訪韓し11年ぶりに南北首脳会談
	2	YAGM、VW・ティグアンの部品納入開始(980材をTF3500で量産)	4	マツダ 代表取締役社長の小飼雅道氏が表取締役会長へ、代表取締役副社長執行役員の丸本明氏が代表取締役社長に就任
	3	YAGM、VW・ティグアン・ジェッタ 3次ライン設置。	5	2018(平成30)年10月ごろから交付開始となる図柄入りナンバープレート(ご当地ナンバー)、全国41地域のデザインが発表される
	3	YAGM、日産NP300のペダル生産開始	5	トランプ米大統領が輸入自動車および自動車部品に対して、最大25%の新たな関税を課す方針を発表
	3	YAA、開所式(住友商事がYAAに15%資本出資)	6	SUBARUは専務執行役員の中村知美氏が代表取締役社長に就任。代表取締役社長の吉永泰之氏は取締役会長に就任
	3	会社状況説明会開催	6	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産がユネスコの世界文化遺産に登録決定
	3	ヨロズ、いすゞ自動車2017年度品質達成賞受賞	7	西日本豪雨による死者が150人以上に
	3	ヨロズ、トヨタ自動車東日本 平成30年度品質感謝状受領	7	日本とEUが経済連携協定(EPA)に署名
	4	YAB、ホンダブラジル2017年度品質・納入優秀賞受賞	9	台風21号が猛威。関西空港の連絡橋にタンカーが衝突
	4	YCのYAIへの出資比率増加により100%子会社へ(丸紅オートモーティブより現金出資での買戻し)	11	三菱自動車工業は益子修氏が取締役会長に就任
	4	W-YBM、東風日産大連工場向けインフィニティQX50量産開始	11	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催が決定
	4	YJAT、米フォード社との取引開始。エンジン用部品の生産開始	11	EUが英国の離脱協定で合意
	4	創立70周年記念式典	11	男鹿のナマハゲなど来訪神がユネスコ無形文化遺産に登録決定
	4	Smart Work Committee of Factoryを工場スワークとして開始	11	韓国大法院、三菱重工業に元徴用工への賠償を命じる判決
	4	ISO14001更新審査	12	新4K8K衛星放送がNHKと民放で開始
	5	YAT、日野USA品質優秀賞受賞		
	5	YAA、SUBARU・ASCENT向けLwr Arm生産開始		
	5	YT、小山市長より「渡良瀬遊水地湿地地保全サポート団体」として感謝状受領		
	5	YAT、使用見込みのないハイドロフォーム2機を廃却		
	6	サンクスカードの導入		
	6	国内取引先管理の強化に向けサプライチェーンのデータベース化(Access)とBCP作成支援の開始		
	6	YAB、日産アルゼンチンへFRONTIER生産開始		
	7	YI、本田技研工業 N-VAN PLATE 生産開始		
	7	YTC、タイ日産リージョナル品質賞ファイナリスト		
	7	Y-OAT、日野自動車より品質賞受賞		
	7	YMEX、北米日産リージョナル品質賞ファイナリスト		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2018 平成30	7	YAGM、新マイクロスコープ、3Dスキャン(ZEISS T-SCAN) 設備導入		
	8	生産管理部からAPQPグループがAPQPとして独立。その後プロジェクト管理部へ統合		
	8	YMEX、増資(現金出資)		
	8	YAA、新型アルティマ向けサスペンション部品生産開始(自動化ライン)		
	8	YMEX、独ダイムラー社向けGLBのAXLE SUBFRAMEの部品生産・納入開始		
	8	W-YBM、独ベンデラー社向け(ダイムラー) GLA, GLB車量産開始		
	8	W-YBM、東風本田向けインスパイア量産開始		
	9	小山市エコ・リサイクル推進事業所認定		
	9	YO、マツダアクセラ(Mazda3)生産開始		
	9	YTC、TBKKへの納入開始		
	10	YO、プレス新工場竣工、3500トンサーボモジュールトランスファプレス設置、コマツ・ヨロズ共同開発 ビジョンシステムによる材料自動投入装置、1200トンブランキングプレス設置、レペラフィード導入稼働開始		
	10	W-YBM、東風日産襄陽工場向けアルティマ量産開始		
	10	VW メキシコよりTAOSのRR LINK3種を受注		
	10	研究開発部発足		
	10	YE、研究開発エリア設置。交流溶接電源開発、オフラインティーチング技術開発、高耐久溶接チップ開発、低スパッタ溶接技術開発等の先進生産技術開発業務を研究開発エリアに集約		
	10	内部監査業務及び環境業務の推進部署名を内部監査室から内部監査・環境経営室に変更		
	10	YAA、独ダイムラー社GLE 向けサスペンション生産開始		
	11	トヨタ自動車 渡辺捷昭元社長がYEに来場し講演		
	11	YTC、トヨタ自動車TPS活動INTER MEDIATEクラスで優勝		
	12	YT、三菱自動車工業向け取引開始		
	12	YI、ベトナム技能実習生6名受入れ		
	12	えるぼし認定取得		
	12	社内申請・承認フローのシステム化着手		
	12	第13回グローバルQC大会、YGTCで開催		
	12	YMEX、メキシコ日産品質賞		
	12	「指名委員会」及び「報酬委員会」の設置。社外取締役1名追加による監督機能の強化		
	-	YAA、J-SOX内部統制構築開始		
	-	ダイムラーのAクラスセダンのサスペンション自動化ラインがメキシコで生産開始		
	-	作業着リニューアル		
2019 平成31 令和元	1	IATF16949 定期審査	2	米、露との中距離核戦力(INF)全廃条約から離脱を正式表明
	1	ヨロズ、クボタ調達部門長賞銀賞受賞	2	探査機はやぶさ2が小惑星リュウグウでのサンプル採取に成功
	1	YAI、PT HIRUTA KOGYO INDONESIAと取引開始	3	政府、景気の判断を3年ぶりに引き下げ
	1	YAI、PT.MIWA ASALTA MANUFACTURINGと取引開始	4	菅義偉官房長官が新元号「令和」を発表
	1	オートモーティブワールド2019出展	4	東京電力福島第一原発3号機の使用済み燃料プールで、核燃料の取り出しを開始
	2	トヨタ自動車でのヨロズ単独製品展示会開催	5	皇太子徳仁親王が即位。新元号「令和」がスタート
	2	YAGM、トヨタ自動車との取引開始	6	トヨタ自動車とSUBARUが、中・大型乗用車向けのEV専用プラットフォーム、およびCセグメントクラスのSUVモデルのEVを共同で開発することに合意
	2	給与明細Web化	6	G20各国が、海洋プラスチックごみ削減の国際的な枠組みで合意
	3	会社状況説明会 開催	6	三菱自動車工業 代表執行役社長兼CEOに加藤隆雄氏が就任
	3	SY、鶴岡市「環境にやさしい店」認定	6	トランプ米大統領と中国の習近平国家主席が首脳会談
	3	YAA、トヨタ自動車カローラ向けコンポーネントパーツ生産開始	6	トランプ米大統領、板門店で北朝鮮の金正恩氏と会談
	3	ヨロズ、いすゞ自動車2018年度品質達成賞受賞	7	九州南部で記録的な大雨
	3	ヨロズ、トヨタ自動車東日本 平成30年度品質感謝状受領	8	米連邦準備制度理事会(FRB)が10年半ぶりの利下げを決定
	3	YTC、日野タイランド品質ブロンズ賞受賞	8	米露の中距離核戦力(INF)全廃条約が失効
	4	W-YBM、NCIC 物量物流切替合作賞受賞(2018年度)	8	香港の逃亡犯条例改正問題で各地で抗議デモ
	4	ヨロズ、SUBARU 2018年度品質優秀賞受賞	8	政府、輸出手続きを簡略化できる優遇国リストから韓国を除外
	4	YMEX、日産自動車向けバーサ(セダン)のサスペンションの部品生産・納入開始	8	トヨタ自動車とスズキが資本提携に関する合意書を締結
	4	YI、ダイハツ工業タント2WD ARM ASSY RR SUSP生産開始	9	日産自動車 代表執行役 山内 康裕氏がCEO 代行
	4	労働時間法制度対応：時間外労働の上限規制、年5日間の年次有休休暇取得・労働時間の客観的把握の義務付け	10	消費税率が10%に引き上げ
	4	在宅勤務の制度化	10	台風19号が上陸し東日本で甚大な被害
	4	YT、渡良瀬遊水地クリーン作戦参加	10	ラグビーW杯で日本がスコットランドを破り決勝トーナメントに初進出
	4	環境省 COOL CHOICE への賛同表明(国内各拠点)	10	天皇陛下が即位を宣言する即位礼正殿の儀が行われる
	5	ヨロズ株主による仮処分命令申立ての却下決定、及び抗告に対する棄却決定	10	日立オートモティブシステムズ、ケーヒン、ショーワ及び日信工業が経営統合を発表
	5	ハラスメント撲滅宣言(志藤会長・志藤社長連名)	11	米、パリ協定からの脱退を通告
			11	ダイムラー社は持ち株会社のもとにメルセデス・ベンツ部門とトラック／バス部門、そしてモビリティサービス部門を分社化した新体制へ移行

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2019 令和元	5	YJAT、中国ルノー(eGT)向け中国仕様 電気自動車 K-ZEのシャシー部品 生産開始		
	5	YAB、ホンダブラジル 2018年度品質・納入優秀賞受賞		
	6	YJAT、ルノー日産 トライパーの生産開始		
	6	YJAT、2018-2019年度 アイシン カルナタカ(AKL)より Delivery Awards受賞		
	6	財務部原価企画グループを原価企画部として新設、理事職を新たに設け、執行役員制の更なる強化を図る		
	6	総仮付け、総本付け試作溶接セル運用開始(試作溶接工程を量産溶接工程と等質化)		
	6	YIからダイハツ工業滋賀工場へタント部品の納入開始		
		空調服の導入(暑さ対策)		
	7	本田技研工業より次期 VEZEL のFR SUB を継続受注(日本、タイ、インドネシア、ブラジル、中国)		
	7	初のベトナム現地採用者2名入社		
	7	YTC、AAT 品質賞 Quality Award 受賞		
	8	YMEX、北米日産リージョナル品質賞受賞		
	8	W-YBM、第2工場生産開始		
	9	YO、プレス新工場に AGV 導入		
	9	YAT、SUBARU レガシー/アウトバック向け部品生産開始		
	9	YAGM、VW TAREK 納入開始		
	10	第46回東京モーターショー2019出展(東京ビッグサイト)		
	10	YI、ダイハツ工業ロッキー、トヨタライズ 4WD ARM ASSY RR SUSP 生産開始		
	10	「健康で働きがいのある職場」の実現を目指し、「健康経営宣言」発表		
	10	ロスコスト管理(生産拠点の改善の目の付け所を提示する活動)を開始		
	10	下請法対象取引先への支払いを現金化、自動車産業適正取引ガイドライン説明会の実施		
	11	日産自動車、仏ルノー社、YEへ来場。仏ルノー社、日産自動車、三菱自動車工業3社でアライアンストップテクノロジーミーティング開催		
	11	YMEX、日産自動車向けセントラ(セダン)のサスペンションの部品生産・納入開始		
	11	クボタより機械機器コミュニティ銅賞受賞		
	12	W-YBM、商流切替協力賞受賞		
	12	W-YBM、納入順守率優秀賞受賞		
	12	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	12	W-YBM、NCIC 優秀サプライヤー受賞(2019年度)		
	12	トヨタインドネシアより次期イノーバFR SUSPを受注。トヨタインドネシアとの取引開始		
	12	企業力の充実のために統合報告書を発行		
	12	グローバルQC大会中止		
	12	YI、「あいちCO2削減マニフェスト」2030認定証を大村知事より授与		
	12	第2回からくり改善コンクール開催		
2020 令和2	1	IATF16949定期審査	1	ダイハツ工業 会長に松林淳氏が就任
	1	YAGM、JICA プロジェクトに ZOOM にて参加(通年)	1	クボタ代表取締役会長に木股昌俊氏、代表取締役社長に北尾裕一氏が就任
	1	Y-OAT、500kwの太陽光発電設備を設置し稼働開始	1	中国、武漢市で発生している肺炎の原因を新型コロナウイルスと発表
	1	YAB、250トンブランキングプレス稼働開始	1	千葉の地層「チバニアン」が地質時代名に正式決定
	1	新型コロナウイルス感染症発生により中国・武漢閉鎖(1/23～4/8)により W-YBM の部品生産は他拠点で代替生産、G-YBM へ設備移管検討	1	最後の大学入試センター試験が実施
	1	YJAT 増資(現金出資)	1	マツダ創立100周年を迎える
	1	YAI、PT.NISSAN MOTOR INDONESIA 車両生産終了	1	英、EU 離脱
	1	YTC、GM 品質優秀賞 (Supplier Quality Excellence Award) 受賞	2	政府、新型コロナウイルスによる感染症を「指定感染症」に指定
	1	2年連続でクボタより調達本部長賞銀賞受賞	2	クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」、新型コロナウイルス集団感染により横浜港に停泊
	1	G-YBM、2019年度「汽本田 コスト優秀サプライヤー」賞受賞	2	米GM社はタイからの年内での撤退を発表
	1	ヨロズ、トヨタ自動車東日本令和元年度品質感謝状受領	3	春休みまで全国の小中高校が臨時休校を開始
	2	ヨロズ、日野自動車品質管理優良賞受賞	3	WHO が新型コロナウイルスの「パンデミック」を宣言
	3	武漢閉鎖緩和により W-YBM 再稼働(3/11～)	3	JR山手線、49年ぶりの新駅である高輪ゲートウェイ駅開業
	3	得意先の生産停止に合わせて各工場の休業を実施	3	日本政府とIOC、東京オリンピックの延期を決定
	3	インド全土でロックダウン(～8月末)、新型コロナウイルス蔓延による政府指示により YJAT は稼働を停止し収益大幅悪化	3	第5世代移動通信システム(5G)がサービス開始
	3	佐藤和己取締役副会長辞任	3	羽田空港の新飛行経路が運用開始
	3	新型コロナウイルス感染症の影響で5月までの2カ月間、YAT、YAA の客先操業停止。YMEX、YAGM は政府より業務停止命令により2カ月間操業停止	4	「同一労働同一賃金」が大企業に対して義務化
			4	政府、7都府県で緊急事態宣言を発令
			4	国民一人あたり 10万円の特別定額給付金支給が閣議決定
			4	中国・東風ルノーの経営から仏ルノー社が撤退
			5	日本高野連、夏の甲子園中止を発表
			5	全米で黒人差別に対するデモが拡大
			6	都道府県をまたぐ移動の自粛が解除
			6	スーパーコンピュータ「富岳」が性能ランキング4部門で1位を獲得

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2020 令和2	4	在宅テレワーク勤務体制の環境構築し、横浜本社において原則在宅勤務を実施。国内外の出張自粛、国内全拠点(横浜、栃木、庄内、大分、愛知)を対象に不要・不急の外出を禁止、手洗い・手指消毒の励行	7	スーパーコンピュータ「富岳」が性能ランキング4部門で1位を獲得
	4	3つの機能軸グループの新設(ものづくり機能、財務・プロジェクトマネージメント機能、営業・管理機能)	8	九州・中部地方で集中豪雨「令和2年7月豪雨」が発生
	4	生産機器外販部の新設、営業部を第1営業部と第2営業部に分割	9	三菱自動車工業 取締役会長執行役 益子修氏が会長職を退任、特別顧問に就任
	4	APQP室と原価企画部を統合しプロジェクト管理部の新設(2部署を統合し、コストとスケジュールの整合がとれた情報発信による円滑な立上げとコスト低減を狙う。さらに収益管理活動の開始時期をコスト低減策の自由度が大きいお客様引き合いの段階に早めていくことで大きな収益増を狙うことを目的とする)	10	菅義偉内閣が発足
	4	社外取締役の増員、女性管理職比率10.5%達成	12	東京証券取引所でシステム障害が発生。全銘柄の株式の売買が終日中止に
	4	YE、外販活動開始(初年度売上目標1.5億円に対し 1.57億円達成)	12	小惑星探査機「はやぶさ2」の回収カプセルが地球に帰還
	4	時間単位年休導入		上野動物園のジャイアントパンダ・シャンシャンの返還延期が決定し、2023年2月21日に
	4	調達部、初の新人外国人受入	12	返還
	5	新型コロナウイルスの影響で得意先の非稼働に合わせて職場別に休業の実施	12	米大統領、民主党のジョー・バイデン氏で確定
	5	ダイハツ工業ロッキー/ライズ(4WD)中間ビーム「VE活動賞」受賞		「Go To トラベルキャンペーン」の全国一斉停止
	5	日産車体より QX80・アルマーダ向け部品の日本工順化(YAT⇒YC)により「2019年度開発賞」受賞		
	5	ヨロズ、日産車体より開発貢献の感謝状受領		
	6	大雨や洪水により取引先への被害状況調査		
	6	YAGM、IATF 更新審査		
	6	YO、エクストレイル生産開始		
	6	交流溶接電源、低スパッタ溶接技術を量産適用		
	6	「人事の窓」を社内イントラに掲載し各種問合せ業務の削減		
	6	譲渡制限付株式報酬制度の導入		
	6	YTC、特別配当(2,355百万円)		
	7	ヨロズ、「総仮付け、総本付け溶接ライン」が日産自動車の「Nissan Global Innovation Award」受賞		
	7	ヨロズ、日産自動車の「Nissan Global Supplier Award」受賞		
	7	ヨロズ、日産自動車栃木工場サプライヤーアワード受賞		
	7	YAT、日野USA 品質管理優良賞受賞		
	7	YAB、本田技研工業より 2019年度品質・納入優秀賞受賞		
	7	YAB、増資(現金出資)		
	7	帳票自動作成支援ソフト「Minuteintence」開発完了。生産技術部にて運用開始		
	7	USMCA 発効による購入部品・材料の影響調査実施		
	7	YE、MMK より外販案件を受注(やまびこ向クランク加工設備製作・設置)		
	8	YE、TMEJ より外販案件を受注(Vitz用センターパン金型の製作)		
	8	YAT、Acura TLX RR サブフレーム生産開始		
	8	YAGM、北米トヨタより次期タコマ部品 全11部品を受注		
	8	YOROZU 社内報・夏号から社内イントラへ掲載開始。YC、YGTC、海外拠点への冊子配付を廃止		
	8	W-YBM、NCIC より特別貢献賞受賞(2019年度)		
	9	株主工場見学会中止		
	9	YE、クレーム「0」化への取り組みを開始		
	9	YAT、ローグ向けサスペンション生産開始		
	9	マツダ第7世代の大型車のRR LINK2種を受注		
	9	日産自動車横浜工場より外販案件を受注(TOE・CAM測定機製作・設置)		
	10	エイチワンより外販案件を受注(CIVIC用部品金型製作)		
	10	展開バーリング工法特許採用部品量産開始(2020年2月に展開バーリング工法特許出願)		
	10	フレックスタイム制度のコアタイムを廃止(スーパーフレックス)		
	10	YMEX、在レオン日本国総領事館 板垣総領事ご来訪		
	10	「令和元年度小山市渡良瀬遊水地湿地保全サポート団体」表彰		
	11	W-YBM、北京ベント特別貢献サプライヤー表彰		
	11	YMEX、メキシコ日産品質賞受賞		
	11	寮・社宅規程改訂(横浜独身寮整備)		
	11	YAA、出資比率変更(商社持分5%の株式譲渡)		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2020 令和2	11	YAI、PT.MITSUBISHI MOTOR KRAMA YUDHA INDONESIA社と取引開始		
	12	日産自動車向け980材適用に向けた高炉メーカーとの連携開始(調達部)		
	12	W-YBM、BBACより 特別貢献賞受賞(2020年度)		
	12	グローバルQC大会中止(代表チームの報告書配信に変更)		
	12	「からくり改善」活動推進し、第3回からくり改善コンクール開催		
	12	三菱自動車工業岡崎製作所へアウトランダー部品の納入開始(加工区：YT・YO・ヒルタ工業・美和製作所)		
	12	客先システムの三菱EDIシステムを導入		
	12	YI、トヨタ自動車向けEV車対応 トヨタスベック指定の塗装膜厚(45μ)を確保するため隔膜電極増設工事		
	12	YAGM、本田技研工業 HR-V4WD高負荷に伴い2次ライン生産開始		
	12	YJAT、ルノー日産マグナイト・キガーのシャシー部品生産開始		
	－	北米寒波、中国大雨、メキシコ大雨(洪水)、日本大雨・台風など、世界的に気候変動が多く発生(ヨロズでの直接的被害は無いが、客先のオーダー減などはありません)		
2021 令和3	1	臨時株主総会	1	民主党のジョー・バイデン氏、米大統領就任
	1	IATF16949更新審査	1	初の大学入学共通テスト実施
	1	トヨタ自動車向けフロントサブフレームを初受注、アジアではトヨタカラークロスのサスペンション部品を市場投入	1	JR 東日本や大手私鉄、終電の繰り上げを実施
	1	YQ、三菱自動車工業アウトランダー生産開始	2	国内で新型コロナウイルスのワクチン接種開始
	3	YQ、マツダCX-60 生産開始	3	春の甲子園、2年ぶり開催
	3	G-YBM、半導体供給不足により減産が始まる	3	いすゞ自動車・トヨタ自動車が資本提携に関する合意書を締結
	3	経団連の「チャレンジ・ゼロ」宣言に賛同表明	3	いすゞ自動車、日野自動車、トヨタ自動車が商用事業において新たな協業に取り組むことに合意。「CJPT(コマーシャルジャパン パートナーシップ・テクノロジーズ)」を設立
	3	ヨロズ、「健康経営優良法人2021」認定取得	4	本田技研工業 三部敏宏氏が代表取締役社長に。就任会見で「2040年までに100%EV化に取り組む」と発表
	3	YEからYI、増産対応への人員派遣	4	東京電力福島第一原子力発電所の敷地内にたまる「処理水」を海洋放出する方針を決定
	3	ヨロズ、いすゞ自動車2020年度品質達成賞受賞	4	東京モーターショー2021の開催中止を発表(67年の歴史で初めて)
	3	W-YBM、NCIC 最佳物流貢献賞受賞(2020年度)	4	スズキ、SUBARU、ダイハツ工業、トヨタ自動車、マツダが、次世代の車載通信機の技術仕様を共同で開発し、通信システムの共通化を推進することに合意
	4	YI、豊田鉄工向け ランドクルーザー300CAB MOUNT 生産開始	5	マツダ 代表取締役会長の小飼雅道氏が退任し、取締役専務執行役員の菖蒲田清孝氏が代表取締役会長に就任
	4	YJAT、中国ルノー(eGT)向け Euro仕様 電気自動車 DACIA SPRINGのシャシー部品生産開始	5	改正少年法公布
	4	YE、AIDAとの技術交流会開催。カーボンニュートラルへの取り組みを開始	6	日野自動車、トヨタ自動車執行役員の小木曾聡氏が社長に就任、下義生氏は会長に就任
	4	平中勉代表取締役社長就任	6	スズキ 代表取締役会長の鈴木修氏が相談役へ
	4	ESG推進室・経費購買部・秘書グループを新設、内部監査・環境経営室を廃止し内部監査グループを内部監査室に昇格	6	育児・介護休業法改正(「男性産休」を新設
	4	在宅勤務制度をテレワーク勤務制度に改訂し、どこでもオフィスを目指す	7	スズキ、ダイハツ工業も新会社「CJPT」に参画
	4	会議体制の刷新により、20年間続けていたグローバル会議と業計ヒアリングを廃止	7	東京2020 オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催(～9.5)
	4	YAA、TMNA品質賞受賞	10	岸田文雄内閣が発足
	4	ISO14001更新審査	10	コロナ対応の緊急事態宣言と「まん延防止等重点措置」が解除
	4	YJAT、TKM(トヨタ キルロスカ モーター)より Delivery Awards受賞(2020-2021)	10	ノーベル物理学賞に眞鍋淑郎氏
	5	YJAT、TIEI(トヨタ インダストリアル エンジン インディア)より Delivery Awards受賞(2020-2021)	11	レギュラーガソリン価格、7年ぶりの高騰、資源エネルギー庁が全国平均小売り価格1L当たり168円台を記録と発表
	5	ヨロズ、日産車体 FY21湘和会品質感謝状受領	11	大谷翔平選手が大リーグのMVP'最優秀選手'を満票で受賞
	5	関東甲信越地区危険物保安協会連合会会長賞受賞		
	5	YAB、ホンダブラジル2020年度品質・納入優秀賞受賞		
	5	新中期経営計画(Yorozu Sustainability Plan 2023)を発表。業務目標、売上高1,500億円、営業利益率5.0%、ROE8.0%、DXへの取り組み		
	5	カーボンニュートラルに向けた取り組み「2040年 カーボンニュートラルへのチャレンジ」、「2030年 CO2排出量▲50%(2013年度比)」を公表		
	5	YC本社オフィス4階をリノベーション、新運用基準展開		
	6	YE奥村社長が鶴岡高専客員教授の称号授与		
	6	YT、クボタ フレキシブルライン設置/稼働開始		
	6	W-YBM 東風日産鄭州工場向けエクストレール量産開始		
	6	YTC、IEMT FY20品質・供給目標達成認定書		
	6	ヨロズ、ダイハツ工業2020年度品質優秀賞受賞		
	7	YJAT、TMEI Best Quality Supplier Award受賞		
	8	ヨロズグローバル環境ビジョン2040策定を公表		
	8	情報セキュリティ委員会設立		
	8	YQ、豊生ブレーキ(トヨタ九州)立上げ、取引開始		
	8	武漢一部地域での新型コロナウイルス感染症発生		
	8	W-YBM、eGT 向け東風納米exlのTV-LINK新規受注		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2021 令和3	8	社内報「YOROZU」通巻400号を発行		
	9	TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同表明		
	9	東京証券取引所プライム市場への移行を選択		
	9	鉄鋼市況大幅変動による値上げ交渉		
	9	YA、ホンダゲストエンジニア帰任		
	9	W-YBM、ベンテラー向け(ダイムラー社)GLA、GLB2 BEV車量産開始		
	9	YMEX、北米日産2020年度のリージョナル品質賞ファイナリスト		
	9	YAT、品質マスター証明書		
	9	YAT/YA/YAA、ものづくりスピリット賞受賞		
	10	DX委員会設立		
	10	日産の新型クロスオーバーEV「日産アリア」のSUSP部品の生産開始		
	10	アウトランダーPHEVリアサスペンション(総仮/総本付けライン)生産開始		
	11	ルノー 日産、三菱自動車工業アライアンスストップテクノロジーミーティング開催。日産自動車、ヨロズグローバルテクニカルセンター来場		
	11	YQ、ダイハツ ハイゼットトラック生産開始		
	11	W-YBM、東風日産襄陽工場向けインフィニティ QX60 量産開始		
	11	「ブラチナえるぼし」認定取得		
	12	YC、年末調整電子化		
	12	第4回からくり改善コンクール開催		
	12	グローバルQC大会中止(代表チーム報告書配信に変更)		
	12	YMEX、メキシコ日産2021品質賞(BEST OF THE BEST SUPPLIER AWARD)受賞		
	12	ヨロズグローバルサプライヤーBCP作成		
	12	YI、豊田鉄工向けランドクルーザー70CAB MOUNT 生産開始		
	12	YE、江崎工業より外販案件を受注(自動洗浄装置製作・設置)		
	－	世界的な物流の混乱が発生(コロナの影響等で人手不足によるコンテナの水揚げ遅れやコンテナ不足など)		
2022 令和4	1	IATF16949 定期審査	1	山形県 まん延防止等重点措置(1.27～2.20)
	1	DX・省エネ提案選考	2	独ダイムラー社が社名をメルセデス・ベンツグループに変更
	1	新社内イントラの運用開始	2	ロシア軍、ウクライナ侵攻
	1	YA、従業員をYATに移籍し、業務移管	3	日野自動車 中型トラックのエンジン品質不具合 (対象計46,746台)
	1	大雪による影響調査、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入や BCP策定の助言等の支援を進める	3	「電力需給ひっ迫警報」発令
	1	W-YBM、鄭州日産 優秀納入賞受賞	4	北海道知床半島沖で観光船が沈没
	2	YTC、IMCT 年間表彰QCD改善サプライヤー賞受賞	4	円急落、一時131円台は20年ぶり
	2	YA、NTCNAゲストエンジニア帰任	5	日産自動車、三菱自動車工業は、新型軽電気自動車のオフライン式を生産工場である三菱の水島工場で行い、日産自動車は「日産サクラ」、三菱自動車工業は「eKクロスEV」を2022年夏より販売することを発表
	2	東海地区プロジェクト準備室発足、東海地区連結子会社新設の開示。新工場建設決定、2024年1月竣工予定(YIの生産を集約し移転する)	5	ウクライナ追加支援2.5兆円を決定
	2	外部コンサルタントによる第1回「高橋塾」開催	5	大谷翔平選手、メジャー通算100号本塁打を達成
	2	GLTD制度の導入	6	本田技研工業とソニーグループがモビリティ向けサービスの提供を行う新会社を設立 社名はソニー・ホンダモビリティ (Sony Honda Mobility Inc.)
	2	社員持株会の奨励金を30%に変更	6	日野自動車 下義生氏が代表取締役会長を退任
	2	マツダCX-60のRR ARMの生産開始	6	仏独伊首脳がウクライナ・キーウ訪問
	3	トヨタ自動車とSUBARUの共同開発によるトヨタEV車(bZ4X：クロスオーバーSUV型の二次電池式電気自動車)のRR SUSP MBR 立ち上げ、量産開始	7	スズキ、ダイハツ工業、トヨタ自動車、CJPTは、カーボンニュートラルの実現に貢献するために、2023年度に商用軽バン電気自動車(BEV商用軽バン)の導入を目指して取り組むことに合意
	3	トヨタ自動車との国内初の取引開始	7	安倍元首相、選挙応援演説中に銃撃され死亡
	3	YI、トヨタ自動車元町工場へbZ4X部品納入開始し、客先システムのトヨタ共通EDIを導入	8	タイ国内のコロナ感染者数の累計が460万人突破
	3	中国ロックダウンによる部品供給不足による、得意先各社非稼働や減産の影響で、操計に対し実績台数減	8	日野自動車エンジン不正(小型)により日野デュトロ国内向け2トン減産
	3	ヨロズ、「健康経営優良法人2022」2年連続認定取得	9	日野自動車 大型トラック・バスのエンジン品質不具合(対象計 21,100台)
	3	YI、東海PJ 労働条件、社宅・寮、その他の項目を展開し個別面談を実施	9	トヨタ自動車、ロシア事業からの撤退を発表。サンクトペテルブルク工場は閉鎖して生産事業を終了、輸入による新車販売も行わない。アフターサービスは継続
	3	ヨロズ、「健康経営優良法人2022」2年連続認定取得	9	エリザベス英女王国葬
	3	YI、東海PJ 労働条件、社宅・寮、その他の項目を展開し個別面談を実施	9	西九州新幹線が開業
	3	YQ、CO ₂ 排出ゼロのグリーン電力へ切り替え、受電開始	9	台風11号により韓国POSCO浦項(ポハン)製鉄所浸水被害
	3	カメラ式非接触3次元測定機「ATOSS」導入	10	韓国ソウルでハロウィーン雑踏事故
	3	G-YBM、NCIC より物流貢献賞受賞(2021年度)	11	パリでG20サミット開催
	3	W-YBM、NCIC 技術協力賞(原低)受賞(2021年度)	11	日中首脳、岸田首相初の対面会談
	4	Y-OAT 日野自動車より品質賞受賞	11	サッカーW杯で日本がドイツに歴史的勝利、優勝はアルゼンチン
	4	日産自動車、三菱自動車工業の新型軽電気自動車「日産サクラ」、「ekクロスEV」のSUSP部品生産開始	12	ゼレンスキークウクライナ大統領が訪米
	4	YQ、エクストレールe-Power向けサスペンション生産開始		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2022 令和4	4	YAGM、本田技研工業 HR-V 量産開始		
	4	W-YBM、eGT 向け 東風納米 ex1 量産開始		
	4	プライム市場へ変更		
	4	経営企画室を廃止し社長室の設置、財務部を経理部に名称変更、研究開発部から先行開発部へ名称変更、開発部から設計部に名称変更		
	4	連結納税からグループ通算制度へ移行		
	4	電子帳票保存法への対応、ペーパーレス、キャッシュレスに向けた経費旅費システム「楽楽精算」を国内拠点へ導入		
	4	内部通報外部窓口設置		
	4	江崎工業取引開始、洗浄機自動化設備納入		
	5	塗装プラント熱源、ボイラー燃料CN化検討開始(CN=カーボンニュートラル)。新拠点は電気ボイラー導入決定		
	5	W-YBM、東風日産武漢工場向け エクストレール量産開始		
	5	ダイハツ工業より 2021 年安全活動優良賞受賞。活動内容は「標準化と Y-CCCF による安全活動」		
	5	YJAT、TIEI (トヨタ インダストリアル エンジン インディア) より Quality Awards 及び Delivery Awards 受賞 (2020-2021)		
	6	一部三県の電力逼迫メッセージを受け、ヨロズグループで省エネ・節電活動開始		
	6	YAGM、太陽光発電キックオフミーティング		
	6	東海地区新工場誘致協定等締結式		
	6	YTC、湘南ユニテックへの納入開始		
	6	日産車体より 2021 年度品質感謝状受領		
	7	超ハイテン材対応のためプレス成形シミュレーションソフト「Autoform」を強化、ライセンス数が倍増		
	7	トヨタ自動車bZ4Xリコールによりオーダー無し(～10月)		
	7	YC横浜、CO ₂ 排出ゼロのグリーン電力に切り替え、受電開始		
	7	遠隔地勤務制度制定		
	7	YI、液化アルゴンCE 設置		
	8	YO、3500 トンTFプレス ビジョンシステム量産検証終了。ビジョンシステムを撤去、ROB 搬送タイプのディスタック装置に置換		
	8	YO、セレナ生産開始		
	8	トヨタ自動車 新型シエンタの車いす用スロープ部品生産開始		
	8	SY、トヨタ紡織と取引開始		
	8	YAB、本田技研工業の HR-V 生産開始		
	8	W-YBM、東風日産武漢工場向け アリア 量産開始		
	8	YJAT、JOAI (JBM オギハラオートモーティブインディア) へ スズキ グランドビターラ、トヨタアーバンクルーザー ハイライダーのプレス単品を納入開始(プレス部品受注)		
	8	調達部が横浜へ勤務地変更		
	8	YC横浜、4階・5階、フロアー入口に電子錠設置		
	9	YC横浜、昼休みに週2日、障害者就労支援作業所のお弁当販売(6月トライ開始)とキッチンカー導入		
	9	YI「なごやSDGsグリーンパートナーズ認定優良エコ事業所」の更新認定		
	9	YAB、ISO14001 認証取得		
	10	岐阜県 輪之内ふれあいフェスタへ初参加		
	10	YAT、LEXUS RX 向け NO.1 ARM 生産開始		
	11	YAT、本田技研工業 ACCORD 向け リンク部品 生産開始		
	11	YE/SY、CO ₂ 排出ゼロのグリーン電力に切替え、受電開始		
	11	トヨタ自動車インドネシア部門のイノーバのフロントサスペンションメンバー部品生産開始		
	11	YAI、PT TOYOTA MOTOR MANUFACTURING INDONESIA 社と取引開始		
	11	YEST、創立20周年		
	11	東海地区新工場地鎮祭(鉄入れ式)		
	11	YAA、本田技研工業向け PILOT 車 生産開始		
	11	YAA、トヨタ自動車向け カローラ車 生産開始		
	12	YAT、本田技研工業 PILOT 向け リンク部品生産開始		
	12	トヨタ自動車の新型プリウスのリアサスペンションアーム部品生産開始		
	12	Ogaki Mini Maker Faire 2022 への協賛(東海地区PJ)		
	12	YI、「あいちCO ₂ 削減マニフェスト2030」の更新認定(ランク：ダブルスター)		
	12	SY、つるおかSDGs 推進パートナー登録(鶴岡市)		
	12	SY、山形県地球温暖化対策推進事業所登録		
	12	SY、鶴岡市環境課「エコ通信」掲載		

年	月	主な出来事	月	業界・一般の出来事
2022 令和4	12	グローバルQC大会中止(代表チーム報告書配信に変更)		
	12	からくり改善コンクール中止 - YEST、トヨタ自動車へのツーリング納入開始 - YMEX、北米日産より品質賞受賞		
2023 令和5	1	IATF16949定期審査	1	ソニー・ホンダモビリティが新型 BEV をワールドプレミアで公開。BEV の新ブランドは「AFEELA (アフィーラ)」
	2	三菱自動車工業の新型デリカミニのサスペンション部品生産開始	2	2030 年に向けて日産自動車はルノーグループが設立する EV& ソフトウエア子会社「アンペア」に最大 15 % を出資する意向を示し、三菱自動車工業もアンペアへの参画を検討していることを発表
	2	本田技研工業より原価部門優良感謝賞受賞	2	トヨタ自動車が4月1日付けで豊田章男社長の会長就任と、佐藤恒治執行役員の社長就任を発表
	3	ヨロズグループとして「健康経営優良法人2023」に認定	2	パンダ・シャンシャン(5歳)を上野動物園から中国に返還
	3	第15回 高橋塾開催	3	SUBARUは大崎篤 現専務執行役員の社長就任を発表
	3	会社状況説明会を3年ぶりに横浜ベイホテル東急で開催	3	マスク着用の考え方が見直され、マスク着用は個人の判断が基準となる
	4	ヨロズ創立75周年	3	WBC野球日本代表、侍 JAPAN がアメリカを下し3回目の世界一
	4	新工場仮設事務所開所式と準備室新体制キックオフ(東海地区PJ)	3	岸田首相、ウクライナ・キーウを訪問
	5	カオナビの導入	3	電力カルテル、関電など5社に業務改善命令
	6	YAI、PT. TOYOTA BOSHOKU INDONESIA 社と取引開始	4	いすゞ自動車 片山正則社長は代表権のある会長に就任、南真介取締役専務執行役員は社長に昇格
	10	JAPAN MOBILITY SHOW 2023 に出展(東京ビッグサイト全館)	5	新型コロナウイルス感染症を「5 類感染症」に移行
			5	G7サミット、広島で開催